

ゆうでんかい、 大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学同窓会組織

YUDENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University



友電会50周年記念

技術者の養成は
要するに人回りの
育成である

初代学長 道田貞治先生筆

特集

大阪電気通信大学
大阪電気通信大学高等学校
学部・学科紹介

No.120

2014/5

大阪電気通信大学
入学式

4/4
Fri.



入学式が行われたコナミホール
桜が満開



コナミホール前の
立て看板は
人気スポット

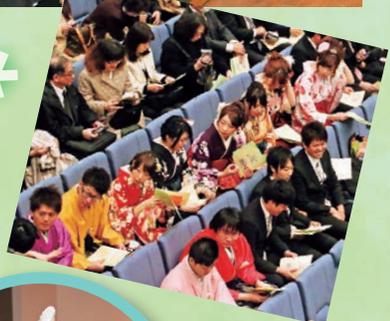
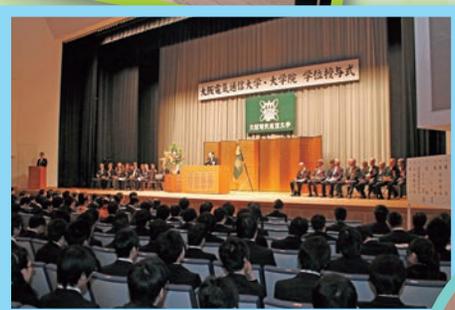


大阪電気通信大学・大学院
学位授与式

3/22
Sat.



全員起立して大学歌を斉唱



大阪電気通信大学・大学院 学位授与式



学位を受ける
学科代表の
パフォーマンス





ゆうでんかい

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

大学学章・スクールカラー紹介	03
編集室より／友電会ホームページに掲示板	
座談会「友電会の未来を語る」～友電会50周年を記念して～	04
第4回 企業家交流会を開催	07
平成26年度 大阪電気通信大学 友電会 通常総会・合同懇親会開催	09
記念講演会／会員の動向 第1～8号議案／大阪電気通信大学 友電会 定款	
平成26年度 大阪電気通信大学 募集案内	21
入試日程／卒業生・在学生の親族優遇入学制度 入学試験成績優秀者奨学制度について／学部・学科紹介	
平成26年度 大阪電気通信大学高等学校 学科・コース紹介	40
電通高校同窓会 コーナー	45
「大阪電気通信大学 クラブ同窓会」平成26年度 通常総会 議案	46
平成25年度 大阪電気通信大学友電会 支部だより	48
■奈良支部 20周年記念総会・講演・研修旅行 ◆第23回 友電会びわこ支部総会のご案内 ■東海総支部 新春ボウリング大会・新年会 ◆平成26年度 神戸支部総会・懇親会の開催案内	
友電会主催「カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)海外教育研修」報告	50
最終講義	52
■工学部 電気電子工学科 橘 邦英 教授 ■工学部 電気電子工学科 越川孝範 教授 ■工学部 電子機械工学科 木村一郎 教授 ■人間科学研究センター 小田康徳 教授	
友電会50年の歩み	54
歴代会長／年表	
TOPIX トピックス	59
■高校教員交流会並びに大学教育等に関する意見交換会 ■母校卒業生、東証一部上場企業の社長に就任 ■学位授与式 ～電通大生の誇りを胸に1,146人が巣立つ父母や友達、後輩らと喜びを分かち合う～ ■入学式 ～満開の桜が新入生1,500人を歓迎～ ■6人に博士学位 ◆母校への本返し「OECU古本募金」 ◆平成26年度 大阪電気通信大学ホームカミングデー開催のご案内	
2013年度 退職者送別会	62

■ 会誌への投稿や事務局への連絡等は E-mail か FAXで
友電会事務局 FAX:072-824-1197
E-mail:yudenkai@yudenkai.org

2014年5月10日 第120号

発行所／大阪電気通信大学友電会 (大阪電気通信大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
(友電会直通) TEL:072-824-3111 FAX:072-824-1197
(大学代表) TEL:072-824-1131 内線3266
郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任／友電会会長 猿渡 洋

編集責任／友電会事務局長 安 弘

編集／野田鐘一、藤田英治、尼丁正奇

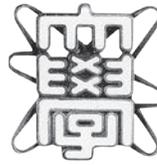
資料提供／学校法人大阪電気通信大学、大阪電気通信大学事務局他

寄贈先／大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館逐次刊行物部、その他

購読料／2年間 1,000円(卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に)

印刷／ダイコロ株式会社

大学学章



電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配してある。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希いがこめられてつくられた。

スクールカラー

「モスグリーン」。若き学徒の青春の息吹をイメージしたもので「若葉が映えて、深い緑に成長する」との意味を持つ。

編集室より

長年の懸案だった友電会の法人化が、スタートすることになりました。今年度友電会通常総会での承認を受けて、推進することになりますが、法人化を計画立案された1期生、青木政治氏(元NHK)に、当時の思いを寄稿して頂きました。(広報部)

友電会法人化で夢ある組織に

友電会法人化への取り組みは、昭和40年以降に琵琶湖畔に友電会「湖の家」を開設するなど様々な活動をする中で、次第に任意団体(見なし法人)での活動に限界や将来に対する不安を感じるようになり、より強固で夢のある組織に脱皮しようと昭和51年5月23日の友電会総会で法人化への推進を決議。

その準備として友電会規約も定款に改正されました。その後、昭和54年には大阪府庁への問い合わせで資金が必要とわかり資金計画を作成し、昭和61年6月には松本圭右(故人)、藤崎紘久、中西義一、観野福太郎の各氏ら役員による文部省を訪問しての情報収集も行ってきました。

最近になって、政府の公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針(平成15年6月27日閣議決定)により、準則主義(登記)によって簡便に法人格が取得出来るようになりました。この機会に友電会も組織を法人化して基盤をより強固に、今まで以上にダイナミックな活動が出来るようにしようではありませんか。(青木政治)



友電会ホームページに掲示板

友電会のホームページに「友電会掲示板」のコーナーがあります。会員の皆さんからの自由な意見を掲載、同窓の集いの広場になればと思っています。母校発展に寄与する建設的なアイデア、提案も歓迎です。卒業以来、母校から遠ざかっている会員の方は、是非、近況報告も兼ねた意見をお寄せ下さい。

座談会

「友電会の未来を語る」



開催日：平成26年4月8日
 場所：東京都新宿区 株式会社CIJネクスト 会議室
 出席者：中野 正三氏（株式会社CIJネクスト代表取締役会長）
 山崎 貞彦氏（日本マイクロシステムズ株式会社代表取締役社長）
 猿渡 洋氏（友電会会長）
 （司会）大平 富義氏（友電会副会長）

母校・大阪電気通信大学は平成26年3月に第50期生が卒業する節目の年となります。また、昭和40年（1965年）4月に友電会の前身である同窓会組織「大阪電気通信大学校友会」が創設されて以来、平成26年度で友電会は50周年目を迎えます。

そこで、この節目に発行する友電会誌総会号（120号）では、企業人として活躍され、友電会でも長く活動された中野正三氏と山崎貞彦氏を囲んで、新たな友電会の船出と未来を語る座談会を開催しました。



後列左：大平氏 右：山崎氏 前列左：猿渡氏 右：中野氏

学生時代

【大平】 8期の大平です。50年目の節目の年に当たって、今までの友電会と将来の友電会について、諸先輩方に大いに語っていただきたいと思います。今日は、大学の創設期のメンバーの皆さんに集まっていたきました。まず学生時代の思い出から語っ



ていただきたいと思います。

【猿渡】 私は2期で先輩は1期の方々だけでした。ワンダーフォーゲル部の勧誘がありまして、入部しました。ワンゲルは花形クラブで、50人くらい入りました、ハイキングに毛の生えたようなもんだと言われたんですけど、きついきつい。あっという間に10数人になってしまいました。勉強の思い出は、中野先生の電子回路Ⅱ、試験に落ちてましてね。追試を受けてやっと卒業できた。あれを理解したおかげで社会に出てから役に立っています。

【中野】 5期中野です。高校時代にやっていたので、クラブは卓球部。4年間にリーグ戦に8回出ました。キャプテン

～友電会50周年を記念して～

もやりました。クラブ活動が時間的には一番多かったかな。

授業は、先輩から情報ももらって、出席を取る時は必ず行きました。過去問も手に入って、楽しんで単位が取れた。全科目の過去問を集めて研究室の仲間と問題集にして、ほぼ原価で売ってました。出版会が我々に本を出させてくれたこともありました。研究室の仲間と大学祭で模擬店をやったことも忘れられない思い出です。

【山崎】 10期の山崎です。電通大を選んだのは、学生募集パンフレットで詰め襟の先輩が実験をしている写真を見て、真面目そうだし自分もやってみたいと思い進学しました。まだ学生運動の余韻があって、2回生の冬が浅間山荘事件。3回生の時の学内は全般的に元気がなくて、文系のクラブをのぞいても、のほほ〜とした感じでした。勉強は、電気磁気学と電子回路だけは頑張っって優を取りましたが、のめりこんで頑張ったことは特にないですね。

【大平】 私の学生時代は学生運動の真っ盛りでした。応援団になんとなしに入りました。1年生は100人くらいいて、4年まで残ったのは5人。学生ストライキで授業も休講だったので勉強の機会が少なかった。一番残念な世代。卒業式も記憶がありません。

就職活動の思い出と

採用する側から見た若者について

【大平】 就職活動を含めて、今は採用する立場ということで、学生に対しての就職に関する心構えを話していただけますか。

【猿渡】 私が就職した頃は、会社訪問などはなくて、卒業が近づいた2月に国際機械振動研究所(現IMV)が二次募集して



いと先生から紹介され、採用されました。あとで先輩に聞いたら、「君はワンゲルをやっている元気だったから採用した」と言われました。

面接する立場になって、面接時の話のメリハリ、何

をやりたいのか、何をやってきたのがきちと話せること、声がかいこと。人とうまくやっていけるかどうか、そのあたりの雰囲気を見ますね。

【中野】 就職事情はあまりよくなかった時代でしたが、いろいろあって、Com-Stuteという米国法人に入りました。入社して、コンピュータソフトウェアの仕事を知りました。

採用ですが、自分には見る目はないので、できるだけタッチしないようにしました。私が面接した人はみんな合格なんです。話しを楽しくしてくれる人、コミュニケーション

できる人がいいのかなと思います。長い人生、学生時代の学力の出来不出来だけでは将来伸びるかどうかはわからない。入ってから頑張ってくれればいいんです。

【山崎】 当時はオイルショックの影響がありましたが、電子回路が好きだったので、本当はアンプメーカーに入りたかった。しかし、その年は募集していないんですね。三菱電機の関連会社に入って、そこからいろいろあって、今の姿です。

今の会社を作って25年目。今の子は面接のQ & Aをきちと勉強してきていて、パターン化していてもしろくない。上手じゃなくてもいいけど話せる人、声が大きく明るければいいと思います。



【大平】 高等教育を受けているので最低のレベルはクリアしてる。それからプラス、大学で何を学んだかですね。私は就職試験を受けてなくて、クラブの先輩が「うちに来るか」と言われて、どんな会社かも詳しく知らないのに行った。親会社が上場企業でした。3年6ヵ月在職しましたが、自分で商売をやりたいだったので、脱サラしました。

友電会との関わり

【大平】 (6月に勇退されますが)猿渡会長から。

【猿渡】 転勤で東京に行った時、助かったのは友電会の東京支部の存在です。初代支部長が宮崎 孝さん。2代目がワンゲルの先輩の大塚さんと続き、活動しやすい雰囲気でした。関東支部となって、ランチの北関東の責任者になり、埼玉で活動してきました。これから卒業される同窓の皆さん、地方に行かれたら、是非、地元の支部と連絡を取って、参加していただきたいと思います。

【大平】 中野さん、山崎さんは評議員で活動されている。中野さんは理事もされたことがありますね。

【中野】 横浜で就職した時、宮崎 孝さんとか、居酒屋のお座敷でやるから来いと言われて行きました。あの頃は組織という感じでなくて、卒業した人が集まるという雰囲気だったように思います。

いつだったか、評議員をやってくれと言われて、中橋さんが会長になった時に、理事になってくれと言われてました。その後法人の評議員もやりました。

友電会の活動としては 今の学生に対するコミュニケーションが大事だと思う。卒業してからの活路を、我々が何かあったら手を差しのべることをやっていかないと。それと友電会の中だけで活動するのではなくて、もうちょっとオープン

座談会

にならないと。学生が来た時には必ず、関東なら関東の支部で歓迎会をやるとか、必要じゃないか。

【山崎】 四條畷学舎にコナミホールができた時の記念祝賀会に先生から来いと言われて行ったら、北森さんが「評議員になれ」と。中山さんとは組合で一緒なので、声をかけられて行ったのが運の尽きでした(笑)。

【大平】 私と友電会との関わりは、息子も会員。子どもの学生時代に後援会の世話役をしていたのが、ひょんなことから会長になりました。その関係もあって友電会の理事が応援団の先輩で「おまえ来い」と誘われて友電会の理事になりました。

企業家同友会と将来の友電会像

【大平】 OBの社長に案内状を出して、いま55社が企業家同友会の会員になっていただいた。しかし、半年に1回くらいの会合では横のつながりがなかなかできません。そこで、6月21日の友電会の総会時に同窓ビジネス大交流会を開催しようということになりました。

【山崎】 経営者はいろんな知恵と経験、突破力を持っています。これまで何度か集まって議論や会食もしたが、まだ結束力が弱いと思います。交流会で腹を割って交流を深めて強める。そうすれば友電会に対して、いい意味で違うパワーを発揮できるのではないかと思います。

【大平】 同窓会、友電会はこうあるべき…という思いがあれば話していただきたい。

【猿渡】 4年前に会長になった時に一番思ったことは、参加、出席すれば楽しい友電会、帰る時はパワーをもらって楽しく帰れるような友電会にしたいな〜と思っていました。道なかば、次の方々に託したいと思います。

【山崎】 はじめ元気よく行ったが、皆さんすごい議論なので、ちょっともう1回来たいなあという気が…。もう少しスマートにならないものかと思います。

【猿渡】 残念なのは、以前来ておられた方が来なくなる。細くてもつながって欲しい。足が遠のく方がいるのが残念です。

【中野】 創世記から評議員をやったりしていますが、以前は結果的に結論が出ていた。いまは結論が出ないまま終わっているケースが多い。そのあたりをどうするか、何をやらなきゃいけないか、法人化の意味合いをどう捉えるか、メリットがどういふところにあるか。単なるOB会という枠は枠がいいが、若い人が行ってメリットを感じられるようにしないと。

【大平】 企業家同友会を発足させようとしたのはそこなんですよ。若い人、ビジネスマンを集めると、同じ同窓という安心感がある。とりえず企業家を集め、次は総会でビジネス交流会をやる。総会の時に分科会で議論すれば横のつながり、ビジネスチャンスも生まれる、強力な同窓会組織ができるんじゃないか。そうやって卒業生が頑張れば当然大学に対していろんな面で貢献できる。その突破口に企業家同友会をしたい。

【中野】 仕事をしていて、ある技術をやるためには自分の会社だけではできないとか、人が足りなくなったとか、どこかから調達できないのか、そういう時に恐らく卒業生に頼めば安心ですよ。そういうふうなメリットを活かして、それが拡大していくと、若い人も入ってきやすくなるんじゃないか。同窓会活動は、活発に動いていることが外からも見えるようになることも必要ですね。

【大平】 場を提供するのが友電会とか企業家同友会の役目で、あとは自己責任で交渉してもらおうことだと思う。

【中野】 うちの会社ではできないんだけど、できることとか、個人的にはやっているが、組織的にもうちょっと幅広くできればいい。いろんな人に会えるのもいいし、いろんな分野にわたって活動できるといいですね。

【山崎】 いろんなものをつくったらいいと思います。

【大平】 懐かしく、また貴重なご意見をありがとうございました。



左：猿渡氏 右：大平氏



左：中野氏 右：山崎氏

第4回

企業家交流会を開催

友電会企業家同友会の第4回交流会が3月7日、母校・大阪電気通信大学寝屋川キャンパスのA号館大会議室で開催されました。猿渡 洋会長ら友電会役員と同友会会員合わせて約20人が参加、母校から福田國彌理事長、橘 邦英学長、中井正彦金融経済学部教授を迎えて意見交換・交流を行いました。



学園の現況を語り、支援を要請する福田理事長



挨拶する猿渡友電会会長

この日の会は川口明良副会長の司会で進行しました。まず福田理事長が学園の現況を紹介し、「学園の将来の繁栄のためには皆様のご支援が欠かせない」と卒業生への期待を述べました。理事長は、友電会側から出た金融経済学部について「日本は貯金ばかり



大学の現況を紹介する橘学長

で、資産の運用がしっかり出来ていない。金融経済学部は単に大阪電気通信大学だけでなく国の発展に貢献する目的で新設した。先生も実務に強い人材を招いている。来年度には定員を満たすところまできた」と、その意義を強調しました。

このあと意見交換会に入り、猿渡会長が「この機会に就職などで大学を支援出来ればいいな、橘渡しが出来て、成果が出てくればいいなと思います。お互い同窓として名刺



出席した会員の自己紹介

を交換して、参加した皆さんにもお役に立って、来て良かった、いい情報を得たと喜んでもらえればと期待しています」と挨拶しました。

続いて、参加した会員の自己紹介を行い、大平副会長が、6月の総会開催日にビジネスのための人脉づくりを目的とする名刺交換会と展示会を開くことを紹介し、「皆さんの知恵と体力を貸して欲しい」と、協力を要請しました。

橘学長が大学の現状について講演し、学長が推進している「新たなOECUブランドの創出」のための様々な取り組みを紹介、企業家同友会に協力を要請しました。



「資産運用の重要性」をテーマに講演する中井教授

また、金融経済学部の中井教授が「資産運用の重要性について～全天候型投資を目指して～」をテーマに講演し、「国家的な観点からも資産運用に取り組む人材、21世紀の金融立国を支える人材が求められている」と話しました。

消費税やデノミについての質問に、「財政の立て直しは増税だけではダメだが、消費税は早晚20%になる。それも相当なスピードでやらないといけないうらう」「インフレターゲットが出た段階でのデノミ論議は適切ではない」と答えました。

夕刻から、会場をZ号館に移して懇親会が開かれ、大学から橘学長をはじめ網屋雅信法人事務局長、池宮達雄大学事務局長らも参加して、引き続き意見交換と交流が行われました。

【企業家同友会参加者】(順不同)

小池隆彦(スカネット)、畝本正一(畝本国際特許法律事務所)、荒木敏豪(下田工業茨木)、山崎貞彦(日本マイクロシステムズ)、橋本昌典(情報システム監査)、山本秀憲(日本電測)、柿窪浩二(コムプロダクツ)、有岡 強(日昭電機製作所)、中山 修(オンテック)、蟬 正敏(ダイセン電子)、大平富義(リモデルハウス)、森 和明(富士コンピュータ)、辻 弥壽彦(アドバン理研)、奥田由春(インフォテック)、阿部 弘(エコシステムズ)、谷口一雄(テクノエックス)



池宮大学事務局長の音頭で乾杯

● 企業家同友会名簿 (平成26年4月現在)					
白井 宏 (E01) 大阪電子クラブ 代表取締役 大阪府大阪市浪速区	荒木敏豪 (E02) 下田工業茨木株式会社 代表取締役 大阪府茨木市	谷口一雄 (E02) 株式会社テクノエックス 代表取締役 大阪府大阪市東淀川区	観野福太郎 (E04) 株式会社IBK 代表取締役 東京都港区	山本秀憲 (E05) 日本電測株式会社 代表取締役 大阪府大阪市淀川区	中野正三 (E05) 株式会社CIJネクスト 代表取締役 東京都新宿区
山根文麿 (E05) 株式会社エフ・シー・エス 代表取締役 広島県福山市	廣田 貢 (I05) 株式会社明治機械製作所 代表取締役 大阪府大阪市淀川区	有岡 強 (F06) 株式会社日昭電機製作所 代表取締役 大阪府大阪市西淀川区	中山 修 (F06) 株式会社オンテック 代表取締役 大阪府吹田市	小林邦夫 (F06) 衣笠電機工業株式会社 代表取締役 滋賀県草津市	小池隆彦 (G06) スカネット株式会社 代表取締役 東京都千代田区
稲原廣法 (E07) 株式会社イナハラ 監査役 兵庫県神戸市	畝本正一 (E07) 畝本国際特許法律事務所 所長 東京都杉並区	島田 均 (E07) データコントロールズ株式会社 代表取締役 東京都台東区	本多昭文 (F07) エルソリューション販売株式会社 代表取締役 大阪府大阪市西区	蟬 正敏 (F07) 株式会社ダイセン電子工業 代表取締役 大阪府大阪市浪速区	伏見 均 (H08) 株式会社不知火電機 代表取締役 大阪府守口市
大平富義 (H08) 株式会社リモデルハウス 代表取締役 大阪府大阪市東淀川区	山田耕司 (E09) 東海化成品株式会社 代表取締役 大阪府八尾市	高尾哲郎 (F09) 株式会社上越第一コンピュータ 代表取締役 新潟県糸魚川市	野口光裕 (G09) 株式会社ニューリー・土山 代表取締役 滋賀県甲賀市	森 和明 (H09) 富士コンピュータ株式会社 代表取締役 兵庫県加古川市	浅岡 勝 (I09) 株式会社ミツフ建設 代表取締役 大阪府大阪市浪速区
山崎貞彦 (E10) 日本マイクロシステムズ 代表取締役 大阪府大阪市中央区	山岸彌平 (E10) ナンカイ工業株式会社 代表取締役 大阪府泉佐野市	北川英雄 (I10) 神港テクノス 代表取締役 大阪府箕面市	下村正洋 (I10) 株式会社ディアイティ 代表取締役 東京都江東区	杉井清秀 (F11) メタメディア株式会社 代表取締役 大阪府大阪市中央区	淡路敏夫 (G11) クリーン・テクノロジー株式会社 代表取締役 大阪府泉佐野市
大前祐二 (I11) 株式会社広島シンフォニー 代表取締役 広島県広島市	辻 弥壽彦 (I11) 株式会社アドバン理研 代表取締役 京都府八幡市	阿部 弘 (E13) 株式会社エコシステムズ 代表取締役 大阪府大阪市西区	橋本昌典 (E13) 情報システム監査株式会社 代表取締役 大阪府大阪市淀川区	吉本裕行 (F13) 株式会社ステップワン 代表取締役 兵庫県神戸市	北浦敏雄 (I13) 株式会社アルゴシステム 代表取締役 大阪府堺市
園田明雄 (E14) マノオ工業株式会社 代表取締役 大阪府八尾市	野田和利 (E14) 株式会社ノダRFテクノロジーズ 代表取締役 大阪府吹田市	三谷康之 (E14) 情報システム監査株式会社 常務取締役 大阪府大阪市淀川区	氷上好孝 (G14) ダックエンジニアリング株式会社 代表取締役 京都府京都市	森本富治 (H14) 三星工業株式会社 代表取締役 新潟県上越市	松尾将勝 (E15) 株式会社丸十 代表取締役 兵庫県加古川市
檜原雅之 (H15) 三京株式会社 専務 奈良県山辺郡	山田利明 (K15) 株式会社ハーテック 代表取締役 兵庫県伊丹市	柿窪浩二 (F16) 株式会社コムプロダクツ 代表取締役 大阪府大阪市中央区	島田慎太郎 (H16) 株式会社IDX 代表取締役専務 栃木県佐野市	福本耕治 (I16) 株式会社アドワン 代表取締役 大阪府大阪市北区	奥田由春 (K17) インフォテック株式会社 代表取締役 京都府京田辺市
河本 淳 (F19) 株式会社アビリティ 代表取締役 大阪府守口市	和田祥一 (H20) 株式会社近正 代表取締役 大阪府堺市	竹内嘉一 (H21) 株式会社日新システムズ 代表取締役 京都府京都市	竹田直人 (H26) 株式会社扶桑プレジジョン 代表取締役 京都府京都市	大上 響 (I29) ビーズ株式会社 代表取締役 大阪府東大阪市	吉田英彦 (I29) 株式会社オフィスヨシダ 代表取締役 大阪府交野市
藤田博久 (M36) 株式会社ステッド 常務取締役 大阪府大阪市北区					

思い出と感動の新しいフォトエッセイ
ライフグラフ

Lifegraph®

一冊からつくれる
あなたの「写真集」

※詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.daicolo.co.jp>

思い出メーカー
ダイコロ株式会社

大阪本社 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 ☎06-6944-6311
 枚方事業所 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近2-8 ☎072-867-3431
 東京・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡・松山

日本商業写真家協会
加盟の写真館で承ります。
<http://www.4.big.or.jp/~jcpa/>

テクサジャパン株式会社
We aim at a needed company.

大阪電子クラブ主宰
技術開発顧問 **白井 宏**

テクサジャパン株式会社
〒663-8126 兵庫県西宮市小松北町2-8-21
TEL:0798-40-7862 FAX:0798-39-8599
携帯:090-4568-8563 URL:www.texa-j.co.jp
Facebook:www.facebook.com/texa.japan
E-mail:odc4029@zeus.eonet.ne.jp

平成26年度 大阪電気通信大学

友電会通常総会・合同懇親会開催

平成26年6月21日(土) 11:40～

第3代会長 宮本氏、米国から帰国記念講演会

友電会は、平成26年6月21日(土)、「平成26年度通常総会」を母校寝屋川キャンパスエデュケーションセンター(J号館)で下記のように開催します。会友お誘いのうえ、ご家族でご出席をお待ちしております。

友電会総会議事録は、友電会HPで報告させていただきます。

平成26年3月に母校から第50期生が卒業し、また昭和40年(1965年)4月に友電会の前身である工学部同窓会組織の「大阪電気通信大学学友会」が創設されて以来、平成26年度で50周年を迎えます。そこで、平成26年6月に開催する友電会通常総会と懇親会は節目として「50周年記念総会」として、緑樹会(母校教職員同窓会)とクラブ同窓会との合同で開催することになりました。

また、総会での記念講演会には米国カリフォルニア州ロサンゼルス在住でマネージメントコンサルタントとして活躍中の宮本公明氏(F03)をお招きして、記念講演をしてもらうことになりました。宮本氏は母校卒業後、友電会第3代会長を務め、米国に渡り、日本企業の米国子会社の社長を経てカリフォルニア州ペーパーダイン大学ビジネススクールMBA(経営学修士)を取得後、サーティファイド・マネージメント・コンサルタント(CMC)資格をもって独立し、300社を超える日本企業に対しても適切な助言と専門サービスを提供する業務で活躍しています。

開催概要

◆ 緑樹会、クラブ同窓会、友電会と共催

- ・ テーマ:「飛翔」～50年の歩み更なる飛躍へ～
- ・ 日時:平成26年6月21日(土) 10:00～15:30
友電会総会 11:40～
受付開始 11:00～
- ・ 会場:寝屋川キャンパスエデュケーションセンターJ号館
- ・ 合同懇親会:緑樹会、クラブ同窓会、友電会3団体共催
- ・ 会費:3,000円
同伴者、学生、名誉教授、大学教職員は無料

平成26年度友電会 通常総会議案

- 第1号議案 平成25年度事業報告
- 第2号議案 平成25年度収支決算報告
- 第3号議案 平成25年度一般会計剰余金処分案
- 第4号議案 平成26年度事業計画案
- 第5号議案 平成26年度収支予算案
- 第6号議案 平成26年度役員案
- 第7号議案 平成26年度評議員案
- 第8号議案 定款の変更案

◆ 6月21日(土)のタイムスケジュール

・各団体 懇親会受付 11:00～

	会場・室名(J号館、ウイング)	
	J号館	ウイング
10:00	10:00-11:00 クラブ同窓会総会 J号館 J-312	
11:00		10:40-11:00 第1回全国支部長会 ウイング
		11:00-11:30 第2回理事会 ウイング
12:00	11:40-12:20 友電会総会 J号館 J-302	11:30-12:20 緑樹会年次報告会 J号館 J-306
13:00	12:30-13:20 記念講演会 J号館 J-305	
14:00	13:30-15:30 合同懇親会 J号館 1F	
15:30	閉宴	

記念講演会

CMCとして多くの企業へ提言

- 日時：平成26年6月21日(土)
12:30~13:20

- 会場：寝屋川学舎J号館 305号室

講演題目

「米国のビジネス界から 見た日本の課題」 ※仮題

《CMC経歴》

宮本公明氏は、米国で事業を行う日本のエグゼクティブおよび日本企業に対しコンサルティングサービスを提供するマネジメントコンサルタント(CMC)として、クライアントの業績改善に向けた経営上の施策に関するアドバイスを提供しています。コンサルティングサービスに関しては30年を超える実務経験と成功の実績を多く持ち、米国市場参入の為の実務アドバイスからオーガニゼーションナルデベロップメント、リーダーシップデベロップメント、エグゼクティブ・コーチング、チームビルディング、コーポレートターンアラウンド、エンployeeアセスメント、コンペンセーションプラクティス、ライトサイジング、およびエグゼクティブサーチ・コンサルティングなどの分野において多くの企業への助言を行ってきました。新規に米国に進出される企業、成長率が高くそれをさらに伸ばす企業、さらに適正な規模を設定する段階にある企業など、300社を超える数の日本企業に対し適切な専門サービスを提供してきました。宮本氏が経験した業界には、自動車、自動車部品、ハイテク、エレクトロニクス、精密機器、流通、食品飲料、およびコンシューマ製品などの製造販売業があります。専門分野に関する講演会を米国内の多数のビジネス団体やビジネススクールにおいて実施した実績を持っています。

マネジメントコンサルタントとなる前の宮本氏は、



- 講演者：宮本公明氏 (F03)

元友電会第3代会長
米国でマネジメントコンサルタント
として活躍中。

カリフォルニア州において日本の電子機器関連メーカーの米国子会社において10年以上にわたり、社長兼CEOを務めて多くの米国人エグゼクティブを直接採用マネージした経験を持っています。宮本氏は設立当初から同社の経営に携わり米国において同社を大きく成長させる戦略構築から実行までを担当しました。同氏はその他に、データクエジションシステムのデベロッパー兼メーカーであるユニバーサル・システムズ社の社長兼CEOも務めました。

宮本氏は、カリフォルニア州マリブのペパーダイン大学ビジネススクールにて**プレジデンシャル・キー・エグゼクティブMBA**（経営学修士）を、また日本の大阪電気通信大学にて**電気通信技術分野における学士号**を取得しており、2005年にはワシントンDCのIMC USAより**サーティファイドマネジメントコンサルタント(CMC)**の資格を取得しました。IMC USA (www.imcusa.org)による認定は、コンサルティングを業とする専門職の中でも優れた実績を持つ者だけに与えられるものであり、この資格を持つ者は全米の経営コンサルタントの中でも1%未満しか存在しません。優れたコンサルタントの証明である「CMC」は、世界各国の国際経営コンサルティング協議会(www.icmci.org)加入機関から能力の認定を受けた公認経営コンサルタントを示す資格として全世界で重視されています。



日米協会イベントでの挨拶



宮本氏と奥様ダイアナ氏

会員の動向

平成26年4月1日現在 4万7,058人



期/学科	E	G	H	I	J	N	Z	P	F	K	RV	A	L	Y	S	Q	W	T	MD	計	物故	
1 (S.40)	93	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	6	
2 (S.41)	193	-	-	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	281	14	
3 (S.42)	221	-	-	-	-	-	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	346	17	
4 (S.43)	125	-	-	-	-	-	-	-	138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	263	8	
5 (S.44)	84	49	49	53	-	-	-	-	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	350	9	
6 (S.45)	138	92	138	71	-	-	-	-	161	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	600	25	
7 (S.46)	190	85	136	89	-	-	-	-	180	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	680	11	
8 (S.47)	175	101	211	108	-	-	-	-	183	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	778	15	
9 (S.48)	216	190	210	196	-	-	-	-	219	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,031	17	
10 (S.49)	161	188	181	151	-	-	-	-	194	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	875	14	
11 (S.50)	178	178	165	194	-	-	-	-	196	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	911	15	
12 (S.51)	172	141	167	180	-	-	-	-	189	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	849	17	
13 (S.52)	200	187	209	164	-	-	-	-	210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	970	19	
14 (S.53)	162	161	163	162	-	-	-	-	148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	796	17	
15 (S.54)	160	159	186	201	121	-	-	-	170	123	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,120	10	
16 (S.55)	144	132	141	164	140	-	-	-	141	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,005	12	
17 (S.56)	123	133	144	161	128	-	-	-	118	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	948	19	
18 (S.57)	132	128	139	130	127	-	-	-	159	140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	955	9	
19 (S.58)	124	130	113	121	110	-	-	-	151	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	883	10	
20 (S.59)	110	97	120	118	139	-	-	-	123	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	822	5	
21 (S.60)	120	151	130	123	118	-	-	-	131	132	-	-	-	-	-	-	-	-	-	905	10	
22 (S.61)	142	134	131	147	130	-	-	-	129	122	-	-	-	-	-	-	-	-	-	935	10	
23 (S.62)	124	133	149	127	130	-	-	-	162	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	966	7	
24 (S.63)	96	142	121	116	146	-	-	-	136	133	-	-	-	-	-	-	-	-	-	890	4	
25 (H.元)	137	113	126	150	135	-	-	-	124	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	915	5	
26 (H.2)	124	107	124	108	113	-	-	-	110	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	796	5	
27 (H.3)	102	140	116	138	130	-	-	-	128	116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	870	4	
28 (H.4)	99	139	150	144	144	-	-	-	152	143	-	-	-	-	-	-	-	-	5	976	4	
29 (H.5)	136	133	109	131	126	-	-	-	128	138	-	-	-	-	-	-	-	-	30	931	5	
30 (H.6)	125	134	117	143	146	-	-	-	133	132	-	-	-	-	-	-	-	-	42	972	1	
31 (H.7)	145	160	139	149	131	-	-	-	148	151	-	-	-	-	-	-	-	-	63	1,086	2	
32 (H.8)	162	148	157	156	154	-	-	-	139	139	-	-	-	-	-	-	-	-	69	1,124	0	
33 (H.9)	137	136	148	157	153	-	-	-	161	150	-	-	-	-	-	-	-	-	76	1,118	4	
34 (H.10)	106	150	123	151	132	-	-	-	126	137	-	-	-	-	-	-	-	-	67	992	4	
35 (H.11)	129	120	120	9	132	-	-	-	192	127	132	-	-	-	-	-	-	-	60	1,021	1	
36 (H.12)	125	125	117	-	140	-	-	-	176	132	119	-	-	-	-	-	-	-	50	984	0	
37 (H.13)	113	142	121	-	126	-	-	-	217	139	137	-	-	-	-	-	-	-	80	1,075	0	
38 (H.14)	137	119	116	-	131	-	-	-	228	122	131	68	-	-	-	-	-	-	92	1,144	1	
39 (H.15)	99	121	99	-	132	-	-	-	199	138	110	112	-	-	-	-	-	-	95	1,105	1	
40 (H.16)	95	105	109	-	116	-	-	-	209	111	117	101	-	-	-	189	-	-	95	1,247	0	
41 (H.17)	117	80	120	-	91	-	-	-	183	116	74	84	-	95	-	-	172	-	99	1,231	3	
42 (H.18)	119	81	115	-	99	-	-	-	201	114	81	113	-	100	-	-	178	-	109	1,310	0	
43 (H.19)	99	80	103	-	102	-	-	-	183	118	72	91	-	95	-	-	157	123	-	118	1,341	0
44 (H.20)	107	75	86	-	109	-	-	-	168	93	81	119	-	100	-	-	136	106	-	100	1,280	0
45 (H.21)	96	75	101	-	97	-	-	-	165	96	86	71	-	149	-	-	140	130	80	104	1,390	0
46 (H.22)	80	74	100	-	90	-	65	169	69	57	2	-	120	33	-	124	127	60	101	1,271	0	
47 (H.23)	82	44	87	-	89	20	42	146	66	29	1	-	118	45	-	91	130	80	133	1,203	1	
48 (H.24)	67	45	91	-	97	27	39	117	57	5	-	-	87	23	64	91	117	63	137	1,127	0	
49 (H.25)	68	43	68	-	75	30	50	121	70	-	-	24	85	30	67	107	122	59	101	1,120	0	
50 (H.26)	75	64	56	-	81	43	63	135	69	-	-	30	60	28	63	85	112	78	104	1,146	0	
合計	6,464	5,464	5,921	4,212	4,360	120	259	2,809	6,583	3,901	762	54	1,009	159	194	1,470	967	420	1,930	47,058	341	

http://www.yudenkai.org

● 工学部

- E 電子工学科、電気電子工学科
- G 電子物性工学科、電子材料工学科、応用化学科
- H 電子機械工学科
- I 経営工学科
- J 精密工学科、知能機械工学科、機械工学科
- N 基礎理工学科
- Z 環境技術学科

● 情報通信工学部

- P 情報工学科

F 通信工学科

- K 応用電子工学科、光システム工学科、光・エレクトロニクス学科

● 工学部2部

- R 電子工学科
- V 機械工学科

● 金融経済学部

- A アセット・マネジメント学科

● 医療福祉工学部

- L 医療福祉工学科
- Y 理学療法学科
- S 健康スポーツ科学科

● 総合情報学部

- Q メディア情報文化学科、デジタルアート・アニメーション学科
- W デジタルゲーム学科
- T メディアコンピュータシステム学科

● 大学院

- M 前期課程
- D 後期課程

※総合計は、学部卒業生で大学院修了生は重複します。

第1号議案 平成25年度事業報告

- ・母校では平成26年3月に第50期生が卒業した。
- ・猿渡会長体制の2期目として、「友電会企業家同友会」に続いて「教育部会」を立ち上げて、母校に寄与できる事業に積極的に取り組み、支援協力体制を維持した。
- ・教育部会は11月に、母校で「人材育成と学校教育の役割について」のテーマで将来教職を目指す在学生との「教育懇談会」を開催して、魅力ある優れた教員になるための意見交換を行った。
- ・また、企業同友会による産学連携・企業間の交流活動を、今年も活発に行った。
- ・機関誌の友電会誌については、全会員に配付する「総会通知号(118号)」と「新卒生・新入生特集号(119号)」を5月と平成26年3月にそれぞれ刊行した。しかし、大口の広告が取れなかったため、10月号は発刊できず2回の刊行にとどまった。さらに、友電会誌総会号(118号)では今年度も大学および電通高校の入学募集案内をカラー版で掲載した。
- ・会誌発刊が年2回となったため、会誌補完と記事の速報性を図るため、友電会ホームページに記事を逐次掲載して広報の活発化を図った。
- ・同窓会組織の基盤である支部の活性化と新設を進める。本部・各支部の総会・懇親会で会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆をこれまで以上に深めていった。
- ・法人化について、昭和51年度(1976年度)総会で法人化計画が決議されてから、法改正により設立のハードルが低くなった平成21年度に法人化を進めたものの中断・凍結していたが、平成24年度に再結成された新法人化検討委員会が第4回理事会に「これまで中断・凍結されていた法人化を推進する」と答申した。これを受けて第6回理事会および第3回評議員会において、まず(仮称)法人化設置委員会を設立して、一般社団・財団法人の創設に向けて再スタートすることが承認され、これを平成26年度総会で報告することになった。

■平成25年度事業報告(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

■第5条第1項 研究発表会、講習会、座談・懇談会などを開催した

- 研究発表、講習会等
 - ・大学祭時に「エレクトロニクス展」を後援し、ロボット講習会などを機会あるごとに支援した。
- 講演会・座談・懇談会等
 - ・機会あるごとに、企業家同友会と教育懇談会を開催して懇談を行った。
 - ・総会時で記念講演会を開催した。
 - ・母校の求めに対応して、正規授業の「キャリア支援講座」へのOB講師を派遣した。

◆(平成26年4月～6月)・上記事業を機会あるごとに実施した

■第5条第2項 機関誌、その他の刊行

- ・会誌「ゆうでんかい」を2回発刊した。
- ・「学史編さん室」-母校、友電会の半世紀にわたる歴史を綴った。

◆(平成26年4月～6月)・会誌を5月に発刊した

■第5条第3項 大阪電気通信大学発展のための事業

- 母校発展のための事業
 - ・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力した。
 - ・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助(2月、3月)した。
 - ・「第34次海外教育研修団」を3月(約1カ月間)、カナダのUBC(カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学)に派遣した。
 - ・「後援会・友電会貸与奨学金制度」に出資して拡充し、「在学生短期貸付制度」を継続した。
 - ・「第37回卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催予定であったが、雨天中止となった。
- クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進した。
 - ・クラブ活動助成金を学生課を通して渡し、クラブ活動の活性化と発展に寄与した。
- 母校の環境整備の一環として緑化推進
 - ・その他、母校発展のための事業を推進した。

◆(平成26年4月～6月)・上記事業の継続と充実

■第5条第4項 会員相互の親睦と連絡

- 「友電会ネットワーク」
 - ・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページの充実化を図り、とくに友電会はもとより母校の情報を速報として掲載していった。
- 親睦と連絡関係の事業
 - ・平成25年度総会を6月に開催し、同時に懇親会を緑樹会、クラブ同窓会と共催して、親睦を深めた。
 - ・母校・学園、その関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図った。
 - ・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図った。
 - ・大学祭時に、大学主催のホームカミングデーに協力し、さらに「友電会サロン」を設置して、来学した会員の休憩・懇親の場を提供して会員相互の親睦を図った。当日夕刻には「友電会サロンパーティー」を開催して、大学と会員相互および親睦を図った。

◆(平成26年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にする

■第5条第5項 その他、目的を達成するための事業

- 会議
 - ・平成25年度総会を6月に開催した。
 - ・理事会定例6回、評議員会定例3回、臨時評議員会を1回開催し、会の運営、事業・活動を推進した。
 - ・三役会、各部会、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行った。
 - ・全国支部長会を開催し、支部活性化と新設を推進した。
- その他
 - ・支部との情報交換、母校など関係団体等との交流を通じて、会活動の充実と円滑な運営を推進した。

◆(平成26年4月～6月)上記会議等を機会あるごとに開催し、会の運営を図る

第2号議案 平成25年度収支決算報告

- 平成25年度は前年度からの繰越金が約38万円であったため、予算の10%の予備費を確保しようとする、従来通りの予算は立てられず、抜本的な事業見直しを図った。一方で、会費以外に会誌広告や総会会費などによって収入の確保を目指した。会費収入は、入学者数を1,200名と予想し2,400万円としたが、実際には50人多い2,500万円となった。
- 近年、急速に膨らんだ「会議・交通費」を、前年度と同様に例年よりも約10%減の262万円で予算化し、ほぼ予算内に収めることができた。
- 総会は学内で開催し、一人3千円の懇親会費を集めたが、9万9千円ほどの出費となった。
- 機関誌製作費では、総会、ホームカミングデー、大学祭、テクノフェアなどの取材や母校支援の一環として大学・高校の募集案内のカラー頁の追加によって予算より約90万円超過した。ただし、今年度から会誌に有料の広告を載せたことで、約53万円の収入が得られた。会誌は、総会号と3月号の年2回発刊した。
- 次年度の友電会50周年記念事業のために、友電会記念事業積立金の項目を設けて200万円を繰り入れた。
- 前年度より、会誌発刊数が3回から2回になり、またソフトボール大会の雨天中止、総会費用の削減、さらに事業や交通費を見直して大幅に削減したことにより、345万円ほどを次年度に繰り越すことができた。

■平成25年度収支決算報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

3月末 決算

科 目	平成25年度 予算(A)	決 算(B)	差額(B - A)
運用財産収入	50,000	62,847	12,847
会費収入	24,000,000	25,000,000	1,000,000
寄付・広告収入	540,000	530,000	-10,000
寄付・広告収入(母校緑化募金)	0	99,000	99,000
総会収入(懇親会)	300,000	374,000	74,000
会誌購読収入	30,000	85,000	55,000
雑収入	0	110,469	110,469
前年度からの繰越金	381,000	381,446	446
合 計	25,301,000	26,642,762	1,341,762

◆支出の部

科 目	平成25年度 予算(A)	決 算(B)	差額(A - B)
事務局費	7,740,000	7,568,391	171,609
給料諸手当(弁護士、会計士等)	3,000,000	2,860,757	139,243
事務費	1,500,000	1,321,935	178,065
諸雑費	50,000	56,979	-6,979
会議費・交通費	2,620,000	2,532,500	87,500
三役・法人評議員活動費	300,000	427,960	-127,960
部会・委員会活動費	270,000	368,260	-98,260
事業費	10,260,000	10,268,640	-8,640
総会費	1,000,000	1,099,175	-99,175
名簿製作費(台帳)	400,000	250,120	149,880
機関誌製作費	3,500,000	4,340,362	-840,362
学史編纂調査費	180,000	69,000	111,000
通信費	2,800,000	2,548,208	251,792
厚生費	540,000	343,250	196,750
(大学事業・関連事業)	270,000	187,000	83,000
(慶弔費)	270,000	156,250	113,750
支部運営助成費	1,290,000	1,056,000	234,000
(支部長会議費)	40,000	6,000	34,000
(支部開拓費)	90,000	0	90,000
(支部費)	1,160,000	1,050,000	110,000
クラブ活動助成金	250,000	250,000	0
HP関係費	300,000	312,525	-12,525
教育・研究助成費	2,400,000	1,348,798	1,051,202
母校発展促進費	200,000	0	200,000
教育・研究促進費	200,000	120,000	80,000
学内講演(研究)費	200,000	31,980	168,020
準会員助成費	1,800,000	1,196,818	603,182
基本財産繰入金	2,000,000	2,000,000	0
在学生奨学金	2,000,000	2,000,000	0
法人化積立金	0	0	0
法人化繰入金	0	0	0
友電会記念事業積立金	501,000	2,000,000	-1,499,000
予備費	2,400,000	0	2,400,000
次年度繰越金	0	3,456,933	-3,456,933
合 計	25,301,000	26,642,762	-1,341,762

第3号議案 平成25年度 一般会計剰余金処分案

・平成25年度の一般会計の剰余金は3,456,933円となった。剰余金は「平成26年度への繰越金」として、平成26年度の事業・活動資金とする。

特別会計

■平成25年度海外教育研修 特別会計収支決算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

前年度からの繰越金	9,478,272
利息・配当金	2,258
合 計	9,480,530

◆支出の部

事務費	630
研修同行費	263,190
会議費	9,000
歓送迎会費	16,358
次年度繰越金	9,191,352
合 計	9,480,530

■平成25年度英会話研修 特別会計収支決算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

前年度からの繰越金	2,062,650
研修申し込み手数料	0
合 計	2,062,650

◆支出の部

事務費等	0
次年度繰越金	2,062,650
合 計	2,062,650

■平成25年度 海外教育研修・英会話研修 特別会計貸借対照表

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

現金	35,035
普通預金	267,156
定期預金	10,951,811
合 計	11,254,002

◆負債・基本財産の部

海外教育研修積立金	9,191,352
英会話研修積立金	2,062,650
合 計	11,254,002

■平成25年度貸借対照表総括

(平成26年3月31日 単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	464,947	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	149,576,830	預り金	1,379,894
定期預金	210,951,811	友電会記念事業積立金	2,000,000
郵便貯金	225	基本金	123,067,984
在学生短期奨学金	2,000,000	法人化積立金	284,665,000
在学生奨学基金	68,500,000	海外教育研修積立金	9,191,352
		英会話研修積立金	2,062,650
		剰余金	3,456,933
合 計	431,493,813	合 計	431,493,813

■平成25年度一般会計貸借対照表

(平成26年3月31日 単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	429,912	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	149,309,674	預り金	1,379,894
定期預金	200,000,000	友電会記念事業積立金	2,000,000
郵便貯金	225	基本金	123,067,984
在学生短期奨学金	2,000,000	法人化積立金	284,665,000
在学生奨学基金	68,500,000	剰余金	3,456,933
合 計	420,239,811	合 計	420,239,811

■平成25年度一般会計財産目録

(平成26年3月31日 単位：円)

資産の部		負債の部	
1. 現金	429,912	1. 法人化準備預り金	5,670,000
事務局手元有り高		2. 預り金	1,539,894
2. 郵便貯金	225		
寝屋川郵便局			
3. 普通預金	149,309,674		
三井住友銀行/寝屋川	(51,998,049)		
京都信用金庫/寝屋川	(57,127,372)		
三菱東京UFJ銀行/守口	(40,184,253)		
4. 定期預金	200,000,000		
三井住友銀行/寝屋川	(190,000,000)		
京都信用金庫/寝屋川	(10,000,000)		
5. 在学生短期奨学金	2,000,000		
大学学生課に預け入れ			
6. 在学生奨学基金	68,500,000		
奨学金委員会に預け入れ			
資産合計	420,239,811	負債合計	7,209,894
純資産			413,029,917

監査報告

平成26年4月10日

平成25年度事業報告書および平成25年度収支決算書を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

監事 井平佳秀 ㊟
藤原公彦 ㊟
西尾博道 ㊟

第4号議案 平成26年度事業計画案

- ・平成26年3月に第50期生が卒業し、半世紀を超える歴史と伝統をもつ母校と共に友電会も記念の年となる。
- ・創設半世紀を迎えた友電会も、新時代に飛躍する姿勢で役員改選の年でもあり、新会長体制のもと「同窓の力を結集して親睦を図り、母校に貢献する」を基本方針に推進して会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆を深めながら、友電会も相互に緊密に協力して母校に寄与できる事業に取り組む必要がある。
- ・母校支援事業として立ち上げた、卒業生の企業家による「友電会企業家同友会」による産学連携・企業間の交流活動を活発化し、また平成25年度に立ち上げた「教育懇話会」も活発化して、今後入試と就職支援に繋げていき、大学への発展に寄与できる活動を推進する。
- ・就職支援活動を積極的に進めていくなかで、母校の正規授業の「キャリア支援講座」などへのOB講師の派遣等を充実し、母校と在学生の求めに対応した支援協力体制を維持していく。
- ・機関誌の友電会誌は大学のPRへの協力と、友電会活動のPRに欠かせない媒体として活用されているが、本年も「総会通知号」（5月発行）と「新卒生・新入生特集号」（3月発行）の年2回刊行体制とする。ただし、通常総会の報告や大学祭や友電会サロン告知、および大学主催のホームカミングデー行事への協力を考えれば、大口の広告が取れるなど予算に余裕があれば、10月発刊号（大学祭号）を加えた年3回発刊体制も考える。
- ・昭和51年の友電会総会で決議された法人化推進を踏襲して、法人化基金が積み立てられてきたが、法人化についてはハードルが高くて実現できなかった。しかし、平成20年の法改正でハードルが低くなったので法人化検討委員会が法人化計画を立案して試みたが、一時ストップして凍結したまま現在に至っていた。その後、理事会は平成24年度に法人化検討委員会を再設置して検討した結果、「法人化を推進する」との検討委員会答申を出した。これを受けて、平成25年度の第6回理事会および第3回評議員会で法人化を推進することが承認された。そこで、過去の総会での法人化決議を踏襲し、一時停止して凍結されている法人化を再スタートさせることを提案する。さらに、この実現に向けて法人化の規約・組織体制等を立案する仮称「法人化設置委員会」も立ち上げることを提案する。

■平成26年度事業計画案(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

■第5条第1項 研究発表会、講習会、座談・懇談会などの開催

●研究発表会

- ・大学祭時に「エレクトロニクス展」後援、機会あるごとに研究発表会等に支援。

●講演会・座談会等

- ・機会あるごとに座談会を開催する。
- ・記念講演会をはじめ、機会あるごとに講演会を開催する。
- ・母校の正規授業の「工学入門」「キャリア支援講座」へのOB講師の派遣。OB講演者の登録制度化し、母校の求めに対応していく。

◆(平成27年4月～6月)・上記事業を機会あるごとに実施

■第5条第2項 機関誌、その他の刊行

- ・会誌「ゆうでんかい」を発刊。
- ・「学史編さん室」-母校、友電会の「歴史」を綴っていく。

◆(平成27年4月～6月)・会誌(総会号)を5月に発刊

■第5条第3項 大阪電気通信大学発展のための事業

●母校発展のための事業

- ・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力。
- ・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助(2月、3月)。
- ・「第35次海外教育研修団」を3月(約1カ月間)、カナダのUBC(カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学)に派遣。
- ・「後援会・友電会貸与奨学金制度」に出資し拡充、「在学生短期貸付制度」を継続。
- ・「第37回卒研対抗ソフトボール大会」を9月ごろに開催する。

●クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進。

- ・クラブ活動助成金を渡し、クラブ活動の活性化と発展に寄与する。

●母校の環境整備の一環として緑化推進

- ・その他、母校発展のための事業を推進する。

◆(平成27年4月～6月)・上記事業の継続と充実

■第5条第4項 会員相互の親睦と連絡

●「友電会ネットワーク」

- ・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実する。特に友電会はもとより母校の情報を掲載していく。

●親睦と連絡関係の事業

- ・平成26年度総会を6月に。懇親会を「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催、親睦を深める。
- ・母校・学園、その他関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図る。
- ・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図る。
- ・大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し会員相互の親睦を図る。大学主催のホームカミングデー行事に協力して参加する。

◆(平成27年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にする

■第5条第5項 その他、目的を達成するための事業

●会議

- ・平成26年度総会を6月に開催する。
- ・理事会定例6回、評議員会定例3回開催し会の運営、事業・活動を推進する。
- ・三役会、各部会、各委員会を機会あるごとに開催し会の運営と事業・活動を行う。
- ・全国支部長会を開催し支部活性化と新設を推進する。

●その他

- ・支部との情報交換、母校など関係団体等との交流を通じて、会活動の充実と円滑な運営を推進する。

◆(平成27年4月～6月)上記会議等を機会あるごとに開催し会の運営を図る

第5号議案 平成26年度収支予算案

- ・会費を2万円に減額してから4年目となり、平成26年度の入学者は前年度並みとみられるが、会費収入は昨年と同程度の2,400万円とした。
- ・平成25年度予算は大幅に事業を見直し、前年度に対して全体に10%程度を削減した。その結果、繰越金を約345万円確保することができた。平成26年度も会費収入の10%強の260万円程度の予備費を確保する。
- ・平成26年度についても、総会は学内開催として3千円程度の有料化とするが、50周年記念事業として開催するので、総会予算を150万円とした。
- ・機関誌製作では、前年度が少なく見込んだ予算で臨み90万円ほど超過したが、今年度は実勢額に近い450万円の予算を組んだ。年2回の発刊とするが、年3回発刊する場合は広告費(大口)の獲得等を条件とする。
- ・平成26年度も母校大学・電通高校への募集支援のために大学案内をカラー版で掲載する。
- ・大学との協調関係(約束)から、教育・研究助成費240万円と基本財産繰入金(奨学金)200万円の計440万円は維持した。
- ・新たに入口支援対策となる教育懇話会への支援金として20万円を組み入れた。
- ・支部運営助成のうち、支部開拓費は1支部だけの開拓とし、支部費は1支部あたり8万円の前年並みとした。
- ・今年度は友電会設立50周年となるため、友電会記念事業積立金として100万円を計上した。

■平成26年度収支予算案

◆収入の部

(単位:円)

科目	平成25年度 予算(A)	平成26年度 予算	平成27年 4~6月
運用財産収入	50,000	50,000	10,000
会費収入	24,000,000	24,000,000	24,000,000
寄付・広告収入	540,000	380,000	0
総会収入(懇親会)	300,000	100,000	100,000
会誌講読収入	30,000	30,000	30,000
雑収入	0	0	0
前年度からの繰越金	381,000	3,456,000	0
合計	25,301,000	28,016,000	24,140,000

◆支出の部

科目	平成25年度 予算(A)	平成26年度 予算	平成27年 4~6月
事務局費	7,740,000	7,970,000	2,710,000
給料諸手当(弁護士、会計士等)	3,000,000	3,000,000	1,000,000
事務費	1,500,000	1,500,000	500,000
諸雑費	50,000	50,000	10,000
会議費・交通費	2,620,000	2,620,000	1,000,000
三役・法人評議員活動費	300,000	450,000	100,000
部会・委員会活動費	270,000	350,000	100,000
事業費	10,260,000	11,960,000	8,110,000
総会費	1,000,000	1,500,000	1,500,000
名簿製作費(台帳)	400,000	400,000	100,000
機関誌製作費	3,500,000	4,500,000	2,500,000
学史編纂調査費	180,000	180,000	100,000
通信費	2,800,000	2,800,000	2,000,000
厚生費	540,000	540,000	300,000
(大学事業・関連事業)	270,000	270,000	150,000
(慶弔費)	270,000	270,000	150,000
支部運営助成費	1,290,000	1,290,000	960,000
(支部長会議費)	40,000	40,000	10,000
(支部開拓費)	90,000	90,000	50,000
(支部費)	1,160,000	1,160,000	900,000
クラブ活動助成金	250,000	250,000	250,000
HP関係費	300,000	300,000	300,000
教育懇話会費	-	200,000	100,000
教育・研究助成費	2,400,000	2,400,000	650,000
母校発展促進費	200,000	200,000	50,000
教育・研究促進費	200,000	200,000	50,000
学内講演(研究)費	200,000	200,000	50,000
準会員助成費	1,800,000	1,800,000	500,000
基本財産繰入金	2,000,000	2,000,000	0
在学生奨学金	2,000,000	2,000,000	0
法人化積立金	0	0	0
法人化繰入金	0	0	0
友電会記念事業積立金	501,000	1,000,000	0
予備費	2,400,000	2,686,000	0
合計	25,301,000	28,016,000	11,470,000

予算につきましては、年間の予定額でありますので、千円単位で計上しております。従いまして、千円未満の端数が予想されるときは、収入は切り捨て、支出は切り上げて算定しております。

第6号議案 平成26年度役員案

●理事・・・17名

- ・安 弘 (F01) 現
- ・池本善一 (E02) 現 神戸支部長
- ・福田 武 (E02) 現 九州支部長
- ・川口明良 (F04) 現 法人評議員
- ・中島良造 (F04) 新任(元)
- ・藤本 明 (I06) 現 法人評議員
- ・稲原廣法 (E07) 現 法人評議員
- ・志村哲樹 (F07) 現 東海総支部長
- ・野田鐘一 (F07) 現
- ・山口文男 (H07) 現 関東総支部長
- ・大平富義 (H08) 現 法人理事

- ・山崎洋一郎 (H11) 現
- ・岡本清孝 (H11) 現
- ・廣谷 明 (F12) 新任 法人評議員

- ・辻 佳彦 (H13) 現
- ・藤田英治 (E22) 現
- ・柴垣佳明 (D33) 現

●監事・・・3名

- ・守上芳士 (E05) 新任
- ・井平佳秀 (I07) 新任
- ・尼丁正寄 (F08) 新任

●顧問・・・5名

- ・臼井 宏 (E01)
- ・猿渡 洋 (F02)
- ・宮本公明 (F03)
- ・中西義一 (E04)
- ・中山 修 (F06)

●法人評議員・・・1名

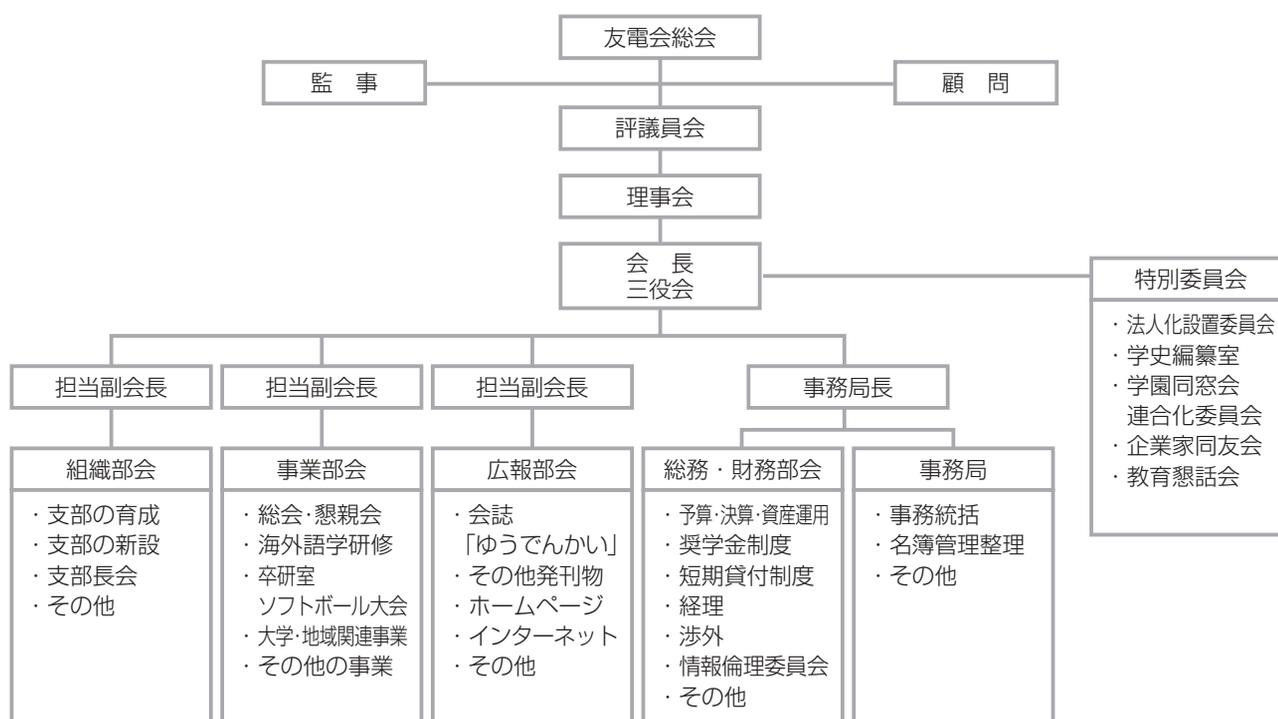
- ・観野福太郎 (E04)

■友電会支部と支部長

支部名	支部長	卒業学科	期
関東総支部	山口文男 (H07)	東海総支部	志村哲樹 (F07)
北関東支部	山口文男 (H07)	静岡支部	久保田陽一 (F05)
茨城支部	木村功一 (F09)	石川支部	辻 久也 (I13)
千葉支部	佐藤渉一 (I10)	びわこ支部	澤居比佐夫 (H17)
神奈川支部	守上芳士 (F05)	京都支部	段安義彦 (F06)
		奈良支部	松井俊樹 (I13)
		神戸支部	池本善一 (E02)
		三田支部	小西 巖 (F02)
		九州支部	福田 武 (E02)
		北米支部	高岸英人 (F17)

各支部の情報は友電会ホームページで <http://www.yudenkai.org/>

大阪電気通信大学友電会事務局 組織図



第7号議案 平成26年度評議員案

友電会評議員は、新任は4名を含む210名です。
氏名の後ろに△がある評議員は新任。(敬称略)

平成26年3月末現在

〔第1期生〕

青木政治 (E01)
大角武紘 (E01)
大塚敏兼 (E01)
白岩義則 (E01)
高妻泰作 (E01)
西原正明 (E01)
羽瀨完俊 (E01)
藤崎紘久 (E01)
堀中英昭 (E01)
宮崎孝 (E01)
臼井宏 (E01)
安弘 (F01)
國次茂 (F01)
野村康明 (F01)

〔第2期生〕

桜木親房 (E02)
池本善一 (E02)
上杉靖男 (E02)
谷口一雄 (E02)
福田武 (E02)
藤野雅也 (E02)
猿渡洋 (F02)
本田頌次 (F02)
吉田栄治 (F02)

〔第3期生〕

稲垣肇 (E03)
富田淳一 (E03)
石本時堯 (E03)
井上徹 (E03)
高木晴雄 (E03)
竹本信之 (E03)
成子一誠 (E03)
原一夫 (E03)
中島俊一 (E03)
野田哲治 (F03)
菅野和夫 (F03)
辻喜代克 (F03)
廣沢洋 (F03)
三橋長夫 (F03)
宮本公明 (F03)

〔第4期生〕

辻勝久 (E04)
北森弘樹 (E04)
中西義一 (E04)
観野福太郎 (E04)
藤原公彦 (E04)
大下真二郎 (F04)
川口明良 (F04)
中島良造 (F04)
野村恵章 (F04)
藤田順彦 (F04)

〔第5期生〕

木村正彦 (E05)
中尾稔 (E05)
中野正三 (E05)
守上芳士 (E05)
岩本吉男 (F05)大野一廣 (F05)
尾方康祐 (F05)
久保田陽一 (F05)
山口朝弘 (F05)
安田一明 (F05)
御崎正吾 (G05)
木村幸治 (G05)
香西順治 (G05)
坂上晃一 (G05)
高岡亨 (G05)
玉置寛 (G05)
堀内定夫 (G05)
堀井浩 (G05)
藪野美律 (G05)
池田清 (I05)
吉川博史 (I05)

〔第6期生〕

奥村義美 (E06)
吉岡睦 (E06)
段安義彦 (F06)
吉田祐三 (F06)
金谷武美 (F06)
小松周治 (F06)
田中稻夫 (F06)
中山修 (F06)
湯場崎直養 (F06)
大下正二郎 (G06)
北川昇 (H06)
大川恒一 (H06)
阪本和夫 (H06)
中田康夫 (H06)
松伏正隆 (H06)
横道一雄 (H06)
前田實 (I06)
荒木秋男 (I06)
国松敬三 (I06)
藤本明 (I06)

〔第7期生〕

稲原廣法 (E07)
五條純一 (E07)
宿谷幸男 (E07)
宮本常德 (E07)
畝本正一 (E07)
志村哲樹 (F07)
寺田豊 (F07)
西村一 (F07)
野田鐘一 (F07)
長谷川洋 (F07)
吉田博由 (F07)
中口武 (G07)
松本好史 (G07)
一谷醇 (H07)
丹羽弘己 (H07)
山口文男 (H07)
井平佳秀 (I07)
平岡臨 (I07)

〔第8期生〕

相羽政信 (E08)
石川智之 (E08)水谷元也 (E08)
尼丁正寄 (F08)
藤井修逸 (F08)
里内登 (F08)
大平富義 (H08)
鎌谷英一 (H08)
新垣忠克 (H08)
横木久治 (H08)
中出知伸 (I08)
宇野茂嗣 (I08)

〔第9期生〕

木村功一 (F09)
宮崎一幸 (F09)
栗栖敏朗 (F09)
大音博司 (G09)
岡川正寛 (H09)
森和明 (H09)
工藤英男 (I09)
平林一夫 (I09)

〔第10期生〕

井野川一 (E10)
北地憲治 (E10)
山崎貞彦 (E10)
赤木俊雄 (G10)
山崎洋一郎 (H10)
佐藤涉一 (I10)

〔第11期生〕

松田啓 (F11)
佐脇弘泰 (G11)
鬼原治紀 (G11)
小舟定行 (G11)
岡本清孝 (H11)

〔第12期生〕

内野正道 (F12)
廣谷明 (F12)
秋田良八 (H12)
恩智博司 (H12)

〔第13期生〕

朝田健嗣 (E13)
榊原秀之 (H13)
辻佳彦 (H13)
松井俊樹 (I13)
辻久也 (I13)

〔第14期生〕

高田憲幸 (F14)
山崎敏之 (F14)
倉中宏 (G14)
堀江健二郎 (H14)
細川雅巳 (I14)
田中二郎 (I14)

〔第15期生〕

森蔭剛久 (E15)
小寺澤隆司 (E15)
江畑栄二 (F15)宮條研次 (F15)
沖洋一 (I15)
團正則 (J15)
山下友彦 (J15)

〔第16期生〕

岡本宣正 (E16)
渡辺員行 (E16)
幸村常一 (H16)
島田慎太郎 (H16)

〔第17期生〕

高岸英人 (F17)
園田和之 (F17)
國友志保 (F17)
澤居比佐夫 (H17)
元花修 (H17)
松江宏 (I17)

〔第18期生〕

田中庸介 (E18)
生駒京子 (I18)
加藤常員 (I18)
海野徹 (K18)

〔第19期生〕

竹田治英 (F19) △

〔第20期生〕

奥田裕 (H20)
阪井誠 (H20)
中川雅弘 (H20)
中前浩也 (H20) △

〔第22期生〕

藤田英治 (E22)
竹中章 (J22)

〔第23期生〕

熊谷寿倫 (F23)
竹内和生 (I23)
三砂博一 (K23)

〔第24期生〕

澤井剣 (G24)
廣瀬修一 (G24)

〔第25期生〕

渡部孝 (G25)
松浦信夫 (H25)
井口兼彦 (H25)

〔第26期生〕

西尾博道 (F26)

〔第27期生〕

奥泉大輔 (H27)

〔第28期生〕

早野秀樹 (E28)
清水良 (F28)

〔第29期生〕

伏本和人 (I29)
井内友昭 (M29)
森和義 (M29)
松尾賢一 (M29)

〔第30期生〕

大野守 (M30)

〔第31期生〕

新川拓也 (M31)

〔第32期生〕

中田亮生 (D32)
櫻木嘉典 (E32)

〔第33期生〕

柴垣佳明 (D33)

〔第35期生〕

山村友律 (J35)

〔第36期生〕

金野洋明 (M36)

〔第39期生〕

澤田正雄 (P39)

〔第40期生〕

三上哲夫 (M40) △

〔第41期生〕

西川達也 (M41)

〔第44期生〕

村上豊裕 (G44)

〔第45期生〕

竹中浩之 (F45)

〔第49期生〕

辻琢磨 (D49) △

●新任 4名

竹田治英 (F19)
中前浩也 (H20)
三上哲夫 (M40)
辻琢磨 (D49)

●退任 2名

江守勉 (E02)
浅川和久 (E04)

●死亡退任 1名

村瀬収吾 (E03)

亡くなられた
会員の方々です平成25年度中に友電会事務局に
届出のあったの方々です。
ご冥福をお祈りいたします。松井泰弘 (E03)
村瀬収吾 (E03)
吉川興 (F04)
片岡繁 (H05)
岡崎善昭 (I05)上津則夫 (E07)
梅溪学 (I08)
賀来修三 (I08)
睦本清和 (K20)
山岡明義 (H21)黒川昭彦 (G21)
岩佐憲一 (F22)
藤原久司 (J23)
安積八千代 (H26)
田上孝雄 (K31)藤川貴広 (G34)
見満豊 (G47)

以上17名

第8号議案 定款変更案

友電会定款46条に従い、定款に対する2件について、以下の通り変更する。

①定款第14条(監事の監査)

・民法59条の廃止に伴い、第14条を「監事は友電会業務、財

産の運用、会計の処理等の監査を行う」と変更する。

②定款33条(総会成立条件)

・第33条の総会成立条件の会員現在総数の100分の1を、200分の1に変更して、「総会は、会員現在総数の200分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることは出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は出席者とみなす。」に改訂する。

大阪電気通信大学 友電会定款

第1章 総 則

第1条 本会は大阪電気通信大学友電会と称する。

第2条 本会は事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内に置く。

第3条 本会は理事会の議決を経て支部を設けることが出来る。支部設置規則は、この定款の細則として別に定める。支部には支部長を置く。

第2章 目的および事業

第4条 本会は大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする。

第5条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ①研究発表会、講習会、座談会等の開催
- ②機関誌、その他の刊行
- ③大阪電気通信大学発展のための事業
- ④会員相互の親睦と連絡
- ⑤その他、目的を達成するための事業

第3章 会 員

第6条 本会の会員は次の通りとする。

①正会員

学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部、大学院を卒業、または修了した者で、卒業時あるいは修了時までに所定の入会金および会費を納めた者

②準会員

学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に在籍している学生で、所定の入会金を納めた者

③特別会員

学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に専従する教職員である者

④賛助会員

本会の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人または団体

⑤名誉会員

本会の目的達成に多くの貢献をした者で理事会の決議を経て推薦された個人

第7条 会員は総会を組織し、総会の議決に加わる。

- 2、会員は本会の目的事業の遂行に積極的に協力するとともに、本会の会員としてふさわしくない行為をしてはならない。
- 3、会員は本会の行う事業に対し、優先的にその利益を受けることが出来る。

第8条 会員は次の理由によりその資格を喪失する。

①脱 退

②死亡および失跡宣言

③除 名

第9条 会員が次の各号の一に該当するときは総会の議決を経て、会長がこれを除名することが出来る。

①本会の会員としての義務に違反したとき

②本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為があったとき

第10条 既納の入会金および会費等はいかなる理由があっても、これを返還しない。

第4章 役員、評議員、顧問および職員

第11条 本会には次の役員を置く。

理事10名以上21名以内(うち会長1名、副会長3名、事務局長1名を含む)。

監事3名。

理事および監事は評議員会で選出し総会で承認を得る。

理事は互選で会長1名、副会長3名、事務局長1名を決める。理事は会長の指名により財務担当をはじめとする会務を分担する。

監事は理事を兼任出来ない。

第12条 会長は本会の業務を総理し本会を代表する。

- 2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

第13条 理事は理事会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項は議決し、執行する。

第14条 監事は友電会業務、財産の運用、会計の処理等の監査を行う。

第15条 本会の役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

2、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。

3、役員はその任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を行う。

4、役員は本会の役員としてふさわしくない行為があった場合、または特別の事情があった場合には、その任期中であっても理事会の議を経て評議員会の議決により、会長がこれを解任することが出来る。

第16条 役員は有給とすることが出来る。

第17条 本会には評議員を若干名置く。

2、評議員は評議員会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項を議決する。また理事会の諮問に応ずる。

3、評議員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

第18条 本会の評議員は次の通りとする。

①正会員のうちから卒業年度別に総会または理事会で選出された者

②支部長

第19条 本会には理事会の議決により顧問を若干名置くことが出来る。

2、顧問は会長がこれを委嘱する。

3、顧問は会長の相談に応ずる。

第20条 本会の事務を処理するため、事務局を設け職員を置くことが出来る。

2、職員は会長が任免する。

3、職員は有給とする。

第5章 会 議

(理事会)

第21条 理事会は毎年6回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または理事現在総数の3分の1以上、あ

るいは監事から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、ただちに会長は臨時理事会を招集しなければならない。

- 2、理事会の議長は会長とする。
- 第22条 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、理事現在総数の2分の1以上出席し、その出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 2、理事は理事会を欠席する場合、あらかじめ書面をもって意見を表明しなければならない。
- 3、理事の委任状は出席者とみなされない。ただし、支部長が理事を兼ねた場合に限り、当該支部の役員で、理事でない者が委任状を持参のうえ、代理として出席し、議決と執行に加わることが出来る。

(評議員会)

- 第23条 評議員会は毎年3回会長が招集する。ただし会長または監事が必要と認めたととき、または評議員現在総数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長はその請求のあった日から20日以内に評議員会を招集しなければならない。
- 第24条 評議員会の議長は会議のつど評議員の互選で決める。
- 第25条 評議員会の招集は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。
- 第26条 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員の意見を聞かなければならない。
- ①事業計画および収支予算案、ならびに事業報告および収支決算についての事項
- ②不動産の買入れ、または基本財産の処分についての事項
- ③その他、本会の業務に関する重要事項で会長において必要と認めたと事項
- 第27条 評議員会は評議員現在数の5分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は、出席者とみなす。
- 第28条 評議員会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会)

- 第29条 通常総会は毎年1回、会計年度終了後90日以内に会長が招集する。
- 2、臨時総会は理事会または監事が必要と認めたととき、ただちに会長がこれを招集しなければならない。
- 第30条 会長は会員現在総数の10分の1以上から会議に付議すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 第31条 総会は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。
- 第32条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。
- ①事業報告および収支決算ならびに事業計画および収支予算
- ②財産目録および貸借対照表
- ③その他理事会において必要と認めたと事項
- 第33条 総会は、会員現在総数の200分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることが出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。
- 第34条 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 第35条 総会の議事の要項および議決した事項は会員に通知する。
- 第36条 総会、理事会および評議員会の議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

第6章 資産および会計

- 第37条 本会の収入は次の通りとする。
- ①入会金および会費
- ②事業に伴う収入
- ③資産から生じる果実
- ④寄付金品
- ⑤その他の収入
- 第38条 本会の資産を分けて、基本財産および運用財産の2種類とする。
- 2、基本財産は、別紙財産目録のうち、基本財産の部に記載する資産および将来基本財産に編入される資産で構成する。
- 3、運用財産は、基本財産以外の資産とする。ただし、寄付金品であって、寄付者の指定するものはその指定に従う。
- 第39条 本会の資産は、理事会の決議によって会長が保管する。
- 2、基本財産のうち、現金は理事会の決議によって確実な有価証券を購入するか、または定額郵便貯金とし、もしくは確実な銀行に信託するか、あるいは定額預金として会長が保管する。
- 第40条 基本財産は処分し、または担保に供してはならない。ただし本会の事業遂行上、やむを得ない理由があるときは、理事会および総会の議決を得、その一部に限り処分し、担保に供することが出来る。
- 第41条 本会の事業遂行に要する費用は入会金、会費事業に伴う収入および資産が生ずる果実等の運用財産をもって支弁する。
- 第42条 本会の事業計画およびこれに伴う収入予算は毎年会計年度開始前に会長が編成し理事会の議決および総会の承認を受けなければならない。なお、事業計画およびこれに伴う収支予算を変更した場合も同様とする。
- 第43条 本会の決算は、会計年度終了後3ヵ月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および会員の異動状況書とともに監事の意見をつけて理事会および通常総会の承認を受けなければならない。
- 2、本会の決算に剰余金があるとき、理事会の議決および総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年に繰越すものとする。
- 第44条 収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事会および総会の議決を経なければならない。
- 第45条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 定款の変更ならびに解散

- 第46条 この定款は、理事会および総会のおのおの5分の3以上の議決を経なければ変更することが出来ない。
- 第47条 本会の解散は、理事会および総会のおのおの4分の3以上の議決を経なければならない。
- 第48条 本会の解散に伴う残余財産の処分は理事会および総会のおのおの4分の3以上の議決を経てから大阪電気通信大学学長の許可を受けて、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第8章 補 則

- 第49条 この定款施行についての細則は、理事会および評議員会の議決を得て別に定める。
- 第50条 昭和48年11月1日施行
昭和52年5月29日改正
昭和55年6月29日改正
昭和57年6月27日改正
平成3年6月30日改正
平成5年6月27日改正
平成7年6月25日改正
平成13年6月23日改正
平成16年6月26日改正
平成26年6月21日改正(予定)



平成26年度 O.E.C.U. Osaka Electro-Communication University
大阪電気通信大学 募集案内

資料請求・お問い合わせ：入試部
 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 TEL.072-824-1131(代)
 e-mail:nyushi@isc.osakac.ac.jp <http://www.osakac.ac.jp>

入試日程

試験種別	学 部(学科)	出願期間	試験日	試 験 会 場	合否発表日	入学手続期限	
AO入学試験	工 学 部 情報通信工学部 金融経済学部	郵送出願: 9月22日(月)～10月1日(水) 消印有効	10月11日(土)	本 学(寝屋川キャンパス)	10月18日(土)	一括: 10月30日(木)	
	本 学(四條畷キャンパス)						
得意科目セレクト 入学試験	工 学 部 情報通信工学部 医療福祉工学部	●インターネット出願: 10月1日(水)0:00～ 10月8日(水)20:00まで 出願書類送付期限: 10月8日(水) 消印有効	●郵送出願: 10月1日(水) ～10月8日(水) 消印有効	10月19日(日)	本 学(寝屋川キャンパス)	10月25日(土)	
専門学科・総合学科 特別入学試験	総合情報学部 金融経済学部						1次: 11月7日(金) 2次: 11月28日(金)
公募推薦入学試験 A・B日程	工 学 部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	●インターネット出願: 10月20日(月)0:00～ 10月29日(水)20:00まで 出願書類送付期限: 10月29日(水) 消印有効	●郵送出願: 10月20日(月) ～10月29日(水) 消印有効	A日程: 11月8日(土) B日程: 11月9日(日)	A・B日程:本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸・姫路・和歌山 A日程:広島・高松 B日程:岡山・徳島	11月19日(水)	1次: 12月3日(水) 2次: 1月9日(金)
一般入学試験	前期A・B日程	●インターネット出願: 1月5日(月)0:00～ 1月21日(水)20:00まで 出願書類送付期限: 1月21日(水) 消印有効	●郵送出願: 1月5日(月) ～1月21日(水) 消印有効 ●窓口出願: 1月22日(木)	A日程: 1月31日(土) B日程: 2月1日(日)	A・B日程:本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸・和歌山 A日程:東京・金沢・姫路・広島・高松 B日程:名古屋・岡山・徳島・福岡	2月11日(水)	1次: 2月20日(金) 2次: 3月2日(月)
	前期センター方式	●インターネット出願: 1月5日(月)0:00～ 2月1日(日)20:00まで 出願書類送付期限: 2月2日(月) 必着	●郵送出願: 1月5日(月) ～2月2日(月) 必着	本学独自の学力試験はありません		2月14日(土)	1次: 3月2日(月) 2次: 3月11日(水)
	後 期	●インターネット出願: 2月16日(月)0:00～ 2月24日(火)20:00まで 出願書類送付期限: 2月24日(火) 消印有効	●郵送出願: 2月16日(月) ～2月24日(火) 消印有効 ●窓口出願: 2月25日(水)	3月4日(水)	本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸	3月12日(木)	一括: 3月17日(火)必着
	後期センター方式	●インターネット出願: 2月16日(月)0:00～ 3月2日(月)20:00まで 出願書類送付期限: 3月3日(火) 必着	●郵送出願: 2月16日(月) ～3月3日(火) 必着	本学独自の学力試験はありません			
特別入学試験	帰国生徒 A・B日程	郵送出願: 10月20日(月)～10月24日(金) 消印有効	A日程: 11月8日(土) B日程: 11月9日(日)	本 学(寝屋川キャンパス)	11月19日(水)	1次: 12月3日(水) 2次: 1月9日(金)	
	外国人留学生 I期A・B日程						
	社会人 A・B日程	郵送出願: 1月5日(月)～1月15日(木) 消印有効	A日程: 1月31日(土) B日程: 2月1日(日)	2月11日(水)	1次: 2月20日(金) 2次: 3月2日(月)		
	外国人留学生 II期A・B日程						

※「外国人留学生」の出願は窓口での出願のみ受け付けます。(郵送での出願は受け付けません)

http://www.yudenkaikai.org

35,064時間 — 成長を、証明せよ。 —

大学での4年間は、あなたにとって、とても大切な時間。

およそ35,064時間。長いようで、きっと短い、その時間の中で、あなたが好きなことに会い、自分の成長を証明できるものを持って、めざす未来へと旅立っていけるように。

大阪電気通信大学は、「ときめき→実践→感動→発展」の4ステップを軸にした教育で、一人ひとりの可能性を伸ばしていきます。

新しい何かをはじめ「きっかけ」も、それを成し遂げるための「成長」も、ここで手に入ります。

卒業生・在学生の親族優遇入学制度

大阪電気通信大学(大阪電気通信大学短期大学部)を卒業した方の親族(2親等以内)、または現在在籍する学生の親族(2親等以内)が大阪電気通信大学に入学された場合、入学金相当額の特別奨学金を給付する制度を実施しています。

入学試験成績優秀者奨学制度

A scholarship system for academic excellence

一般入学試験[前期A・B日程]または一般入学試験[センター方式前期]における成績優秀者を対象に、学費を全額または半額免除する奨学金制度をもうけています。

一般入学試験[前期 A・B 日程]
成績優秀者

学費全額免除

総数 **50** 名

最大4年間

全学部対象

【対象入試】一般入学試験 前期A・B日程

【判定基準】各学科の第1希望合格者の上位5%。但し得点率が70%以上の者

【対象者】上記に基づく総数50名

【免除の詳細】学費(授業料・維持拡充費・実験/実習料)の全額免除(入学金・諸会費は除く)

【免除の期間】入学後4年間(継続審査あり)

一般入学試験[センター方式前期]
成績優秀者

学費半額免除

総数 **40** 名

最大4年間

全学部対象

【対象入試】一般入学試験 センター方式前期

【判定基準】各学科の第1希望合格者で得点率が60%以上の者

【対象者】上記に基づく総数40名

【免除の詳細】学費(授業料・維持拡充費・実験/実習料)の半額免除(入学金・諸会費は除く)

【免除の期間】入学後4年間(継続審査あり)

Pick Up OECU

01
挑戦

挑もう。
テクノロジーと
自分自身の可能性に。

02
実学

実践的な教育で、
社会に貢献できる
人材を育む。

03
資格

資格に強い理由がある。
70の対策講座で資格
取得を積極支援。

04
就職

1年次からの
キャリアデザイン。
徹底した就職サポート。

05
支援

頑張る人を応援する、
多彩な奨学金制度。

06
信頼

50年の伝統。
4万人の先輩たちが、
切り拓いた道。

07
創造

デジタルゲーム学科を拡張。
12年の実績と新たな挑戦。

Faculty of Engineering

工学部

電気電子工学科 / 電子機械工学科 / 機械工学科
基礎理工学科 / 環境科学科

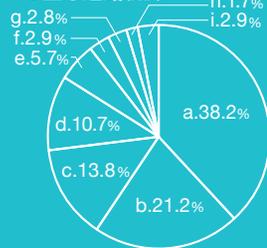
●学びの特徴

産業を支え、暮らしを支える、次世代のエンジニアを育む。

5つの学科からなる工学部では、自分の関心に合わせてより専門的な選択をすることができます。どの学科も、工学の基礎知識から最先端技術まで向学心を持って学べるカリキュラムで、第一線で活躍できるエンジニアを育成します。

学科詳細は
P.26から

●主な進路(内訳)



- a. 製造業 286人
- b. サービス業 159人
- c. 進学 103人
- d. 建設業 80人
- e. 卸売・小売業 43人
- f. 教育・学習支援業 22人
- g. 情報通信業 21人
- h. 公務 13人
- i. その他業種 22人

●主な就職先

【製造業】神戸製鋼所、アイシン精機、グローリー、エクセディ、サンデン、大阪機工、三精輸送機、東洋シャッター、ペガサスミシン製造、モリテックスチール、川崎油工【サービス業】総合警備保障、ダスキン、三菱電機ビルテクノサービス、西尾レントオール、日本メンテナスエンジニアリング【建設業】きんでん、日本電設工業、かんでんエンジニアリング、太平電業、パナソニックESエンジニアリング【卸売・小売】ジュンテンドー、コネクシオ【情報通信業】三菱電機メカトロニクスソフトウェア【教育・公務】大阪府教育委員会、枚方市教育委員会、学校法人 神戸村野工業高等学校、大阪府警察本部、大阪府教育委員会、京都府庁、京都府役所、京都府教育委員会、京都府消防局、神戸市教育委員会【運輸業】西日本旅客鉄道、ヤマト運輸、山陽電気鉄道、北海道旅客鉄道



ダムの崩壊事故を、
2度と起こさせない。
水門の研究で、人の命を守る。

Check!

学部の学びをもっと知りたい人へ、
学部パンフレット『Colorful』

その「？」が未来の入口
工学ワンダーランド!!

Pick Up Topics

- ハイブリッドカーに欠かせない「二次電池」って?
- 人工衛星は、どうやって地球を回ってるの?
- 数理曲線を学べば、世の中が違って見えてくる?



Faculty of Information and Communication Engineering

情報通信工学部

情報工学科 / 通信工学科

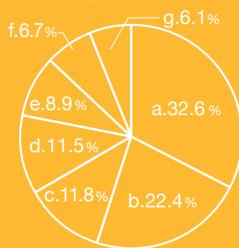
●学びの特徴

ソフトウェアや通信で、高度情報化社会をリードする。

ネットワークやソフトウェア開発など幅広い知識を学び、豊かな情報社会に寄与できる人材を育成する情報工学科。光通信やADSL回線などのブロードバンドを支える技術を実践的に学ぶ通信工学科。高度情報化社会を牽引するトップリーダーを育成します。

学科詳細は
P.31から

●主な進路(内訳)



- a. 情報通信業 102人
- b. サービス業 70人
- c. 建設業 37人
- d. 製造業 36人
- e. 進学 28人
- f. 卸売・小売業 21人
- g. その他業種 19人

●就職先一覧

【情報通信業】NTTデータ、トランスコスモス、NSD、京セラコミュニケーションシステム、日本コンピュータ・システム、テレビ和歌山、システナ、ソフトウェア・サービス、旭情報サービス、日本インフォメーション、CIJネクスト、アイエックス・ナレッジ【サービス業】総合警備保障、東洋テック、富士通ネットワークソリューションズ、独立行政法人 水資源機構【建設業】ミライト、日本コムシス、協和エクシオ、NHKアイテック、かんでんエンジニアリング、西日本高速道路ファンリティーズ、ドコモ・エンジニアリング関西【製造業】サンデン、アイコム、DXアンテナ【卸売・小売業】セブン-イレブン・ジャパン、イズミヤ【教育・公務】学校法人 堺塚山学院、学校法人 神戸村野工業高等学校、防衛省【運輸業】西日本旅客鉄道



登録作業をかたんに。
人に負担の少ない、
話者認証システムをつくる。

Check!

学部の学びをもっと知りたい人へ、
学部パンフレット『Colorful』

身近にあるけど
意外と知らない
「情報通信工学」の技術。

Pick Up Topics

- のろしからメールまで。通信技術の進化。
- いま、センサがおもしろい!?
- コンピュータが、生まれた頃。



Faculty of Biomedical Engineering

医療福祉工学部

医療福祉工学科 / 理学療法学科
健康スポーツ科学科

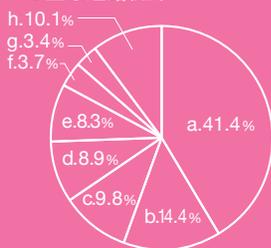
●学びの特徴

生命を救い、健康を守る、スペシャリストを養成する。

先端医療技術を用いる医療福祉の現場、リハビリテーションや予防医学、健康科学など、高度な専門性が必要とされる分野を対象に3つの学科を設置。臨床医学、工学、情報科学を複合的に学び、医療・福祉や健康科学のスペシャリストを養成します。

学科詳細は
P.33から

●主な進路(内訳)



- a.医療・福祉 135人
- b.卸売・小売業 47人
- c.製造業 32人
- d.進学 29人
- e.サービス業 27人
- f.建設業 12人
- g.運輸業 11人
- h.その他業種 33人

●就職先一覧

【医療機関】京都大学医学部附属病院、金沢大学附属病院、福井大学医学部附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、奈良県立医科大学、学校法人 兵庫医科大学、近畿大学医学部附属病院、独立行政法人 国立病院機構京都医療センター、独立行政法人 国立病院機構刀根山病院、独立行政法人 労働者健康福祉機構、日本赤十字社和歌山医療センター、財団法人 大阪府警察協会、大阪厚生年金病院、大阪市立市民病院、市立敦賀病院、関西電力病院【医療・健康福祉関連企業、公務・教育】日本光電、グリーンホスピタルサブライ、瑞光、ケア21、東レ・メディカル、ムトウ、大塚電子、ミナト医科学、ベネッセスタイルケア、宮野医療機器、ライトテック、大阪府警察本部

臨床工学技士として、
チーム医療を支えていく。
理想の働き方が見えた臨床実習。

Check!

学部の学びをもっと知りたい人へ、
学部パンフレット『Colorful』他にはない学びがここに。
医療福祉工学部
徹底ガイド

Pick Up Topics

- “医療福祉工学部”とは？
一般の医療系の学部と、
何が違うの？
- この学部で学べば、
どんな仕事ができるの？



Faculty of Information Science and Arts

総合情報学部

デジタルゲーム学科 / 情報学科

●学びの特徴

新たなエンターテインメントで、社会をもっと、豊かなものにする。

CGアニメーションなどの映像や音楽、デジタルゲームなどのエンターテインメント分野で、次世代を担う独創的なクリエイターを養成します。また、国際標準のカリキュラムに基づいた実践的な教育で、ユビキタス社会に通用する最先端の技術を持つエンジニアを育てます。

学科詳細は
P.36から

●主な進路(内訳)



- a.情報通信業 148人
- b.サービス業 75人
- c.卸売・小売業 51人
- d.製造業 49人
- e.進学 23人
- f.飲食店・宿泊業 17人
- g.建設業 15人
- h.その他業種 27人

●就職先一覧

【情報通信業】スクウェア・エニックス、カプコン、サイバーエージェント、フィールズ、トランスコスモス、インターネットイニシアティブ、NTTネオメイト、光通信、CIJネクスト、日本コンピュータ・システム、ミロク情報サービス、スキューズ、クレスコ、Aiming、エクサ、マーベラスAQL【サービス業】総合警備保障、住友電工システムソリューション、アドウェイズ、ディップ、VSN、ファンフィールド、NTTファネットシステムズ【卸売・小売業】LIXILビバ、エディオン、レッド Baron、パイオン、リカーマウンテン、ヤマハミュージックジャパン、富士ゼロックス京都【製造業】任天堂、ニプロン、日亜化学工業、タカラスタンダード、日本パイリン、前田金属工業【公務】防衛省、大阪府警察本部、豊島区役所

まだ誰も考えていない、
新しい発見のあるゲームを
つくりたい。

Check!

学部の学びをもっと知りたい人へ、
学部パンフレット『Colorful』興味を学びに変える！
身近な『デジタルエンター
テインメント』の世界

Pick Up Topics

- スマートフォンは紙になる!?
- ARでお腹いっぱい!?
拡張満腹感。
- ソーシャルゲームで
地域活性化!?



金融経済学部

資産運用学科



金融の知識を証明したい。
証券アナリスト、
3科目同時合格に挑む。

●学びの特徴

国際的な経済社会で活躍できる資産運用のプロフェッショナルへ。

金融サービスとしての資産運用は、その重要性を増してきています。金融のグローバル企業と提携し、これまでの経済学では学べなかった“実践型”思考、ソーシャルスキルを養いながら、世界経済で活躍できるプロフェッショナルを育成します。

学科詳細は
P.39から

●主な進路(内訳)



●主な就職先

【金融・保険業】リソな銀行、近畿大阪銀行、大阪厚生信用金庫、大福信用金庫、イオン銀行、大和証券、丸三証券、岡三証券、内藤証券、日本アジア証券、伊賀北部農業協同組合、ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング【卸売・小売業】パイオン、ヨドバシカメラ、コネクシオ、福西電機、カナデンテレス【飲食店・宿泊業】三嶋亭、アッシュエン지니어リング【製造業・サービス業・その他】西島製作所、ゼット、トモエメディア、キュービクス、日本ホールディングス、ライフステージ、介護老人保健施設暇生会遊々館

Check! 学部の学びをもっと知りたい人へ、
学部パンフレット『Colorful』

探してた、
自分が見つかる。

- 探してた、自分が見つかる!
●スタートはいろいろ、
ゴールも、いろいろ。
●見つけた夢の、その先へ。



※データは2012年3月卒業生～2014年3月卒業予定者(金融経済学部のみ2013年3月～2014年3月卒業予定者のみ)を基に掲載



Community and
Volunteer activities

新しいチャレンジを、次々と。

テクノロジーがめざましく進化し、社会がめまぐるしく動いている今、大阪電気通信大学もまた、常に新しいチャレンジに取り組み、前に進んでいます。学生たちの学びや社会を支え、より良い未来につながる活動をご紹介します。

〈ITテーブル活用グループワーク型学修プログラム〉



2013年春、本学は10台のITテーブルを導入し、全国に先駆けた新しい学修プログラムにチャレンジしています。ビジネスの現場でもよく用いられる「ブレインストーミング」や「KJ法」「マインドマップ」といった発想法。これらに最新のIT機器と学内で開発したアプリケーションを組み合わせることで、学生たちがより意欲的にグループワークに取り組める環境をつくり、個々の発想力を引き出します。ITテーブルは、頭の中のイメージをビジュアル化するのに適したツールであり、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション能力を高める効果も期待できます。キャリア科目での自己分析や社会分析、共同でモノづくりに取り組むときの企画やミーティング、また、学生がつくったアプリケーションを取り入れた授業など、活用の場を広げ、実践的な実学の学びをさらに活性化させていきます。

〈英語教育センター〉



あらゆる分野の仕事で英語の必要性が高まる中、各自の英語レベルに合った教育方法を開発しています。特に、コンピュータを活用した独自の英語教育は他の大学からも注目を集め、多くの大学関係者が本学を訪れて授業を参観、また他大学に招待されて講演を行うこともあるほどです。さらに図書館を活用した英語の多読のシステムも取り入れています。

〈リメディアル数学〉



工学系科目において数学はとても重要で、数学を使う機会が格段に増えます。また、資格試験や就職試験でも数学は多用されています。そこで、工学部・情報通信工学部の新生を対象に数学の基礎力を高めるための特別授業を実施。ただひたすら演習問題を解くような授業ではなく、数学を楽しみながら、今までとは異なる捉え方・感じ方を修得してもらうことをめざしています。

〈実学を支える環境 ——資格学習支援〉



多数の学生が資格取得講座を受講
めざす未来につながる資格を「見つけ、学び、取得する」までを徹底的に支援する大阪電通大の「資格学習支援」。国家資格取得講座をはじめとする豊富な講座など、手厚い支援体制を揃えた資格取得に積極的な大学です。

〈3D造形先端加工センター〉



最先端の3D加工技術が集結
3Dプリンタやマシンングセンタ、各種加工機など、最先端のモノづくりの現場で使われている機器を集結させた「3D造形先端加工センター」が、寝屋川キャンパスに誕生しました。最新の造形・加工技術にふれると共に、自分のアイデアがたちまち変わる感動を体験してください。ここから、モノづくりの新たな可能性が生まれていくことが期待されています。

電気電子工学科

将来の
活躍
フィールド

- 電気・電子技術者
- 情報処理技術者
- システムエンジニア
- 教職

研究室紹介

TEACHER's Voice

有機EL(エレクトロニクス)を用いた照明は非常に明るく、色の再現性にも優れ、直射日光の下でも見やすい携帯画面やレストランの料理をよりおいしく見せる照明など、多彩な活用が期待されます。その研究はまだ歴史が浅く、この先何が起るかわからない分野。型にはまらない自由な発想で、有機ELの可能性を探ってみませんか？

とみおか あきひろ
富岡 明宏 教授
(理学博士)

理化学研究所、東京大学工学部助手などを経て本学へ。
「有機ELの研究が盛んになったのはここ数年のこと。学生のみなさんにも新発見のチャンスがある刺激的な分野ですよ。」



照明を変え、暮らしを変えていく。
有機ELの可能性。

電子・電気技術の 幅広いフィールドで活躍する エンジニアを全力で育成。

私たちの生活は“電気”なくして成り立ちません。
高速鉄道も携帯機器も、電気電子の技術によって実現されています。
社会は今、この分野で未来を切り拓いていく
若い技術者・研究者をますます必要としています。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** 有力企業と協した連携講座によって、産業界で活躍できる技術者を育成し、即戦力となる人材を社会に送り出します。
- 02** 電気電子の専門分野をバランスよく学べるように工夫。カリキュラムに豊富な実験と演習を取り入れて系統的に知識を身につけます。
- 03** ハードウェア(製品)とソフトウェア(コンピュータ)の両方の専門知識を、互いに関連づけ複合的に理解できる学びを追求しています。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
電気数学	固体物理学 半導体工学	半導体デバイス 送配電工学	卒業研究
		パワーエレクトロニクス	電気法規と施設管理
	基礎電子回路	パワーエレクトロニクス応用	
基礎電磁気学	電気電子工学実験		
	電気機器	電気電子設計製図	
工業基礎実験	制御工学	ロボット制御	
		LSI設計工学	
電気電子工学入門		デジタル信号処理	
	デジタル電子回路	ハードウェア設計演習	
	画像・映像工学	コンピュータソフトウェア演習	
		知的財産権	
	情報工学・プログラミング演習		
	電気・電子回路		

※上表は開講科目の一部

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/工業/情報)
中学校教諭一種免許状(数学)

試験科目の免除がある資格

第二種電気工事士

取得をめざす資格

電気主任技術者、基本情報技術者

Pick Up
授業



電気電子工学実験

講義で習得した知識を実験で直接体験し、理解を深めます。実験用装置の取り扱い方法から測定結果の処理まで一連の作業を学び、「モノづくり」の楽しさを体感します。



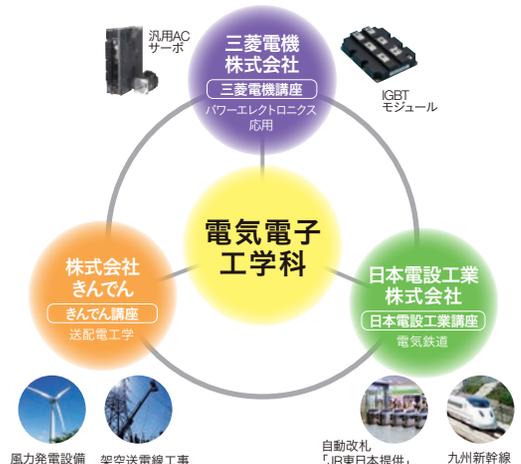
パワーエレクトロニクス

トランジスタを使い、太陽電池から発生する直流電力を家庭で使っている交流電力に変換したり、逆に交流からスマートフォン用の直流電力をつくらせる技術を学びます。

先端企業による連携講座

CHECK!!

「三菱電機講座」「きんでん講座」「日本電設工業講座」を開講。それぞれ、環境・エネルギー、総合エンジニアリング、電気鉄道技術分野の最先端企業による講義です。



電子機械工学科

将来の活躍フィールド

- 自動車・ロボット
- ホームエレクトロニクス
- 工作機械・生産設備
- 航空・宇宙

研究室紹介

TEACHER's Voice

従来の産業用ロボットは、作動中は人が近づけないように安全柵の中で動いていました。少子高齢化が進む中、これからはもっと身近なところで人と共存協働するロボットが求められていくことでしょう。この研究室では、人のために動く安全なロボットの研究・開発を通して、人への思いやりを持った「心のやさしいエンジニア」を育てています。

おん ほんひ
鄭 聖熹 准教授
(情報科学博士)

日本ロボット学会、日本機械学会、計測自動制御学会に所属。「それまで学んできた知識が、ロボットづくりを通して形になっていく。その楽しさを、ぜひ味わってください。」



人への思いやりを持ち、安全と機能を両立したロボットをつくれる人へ。

ロボット、製造ライン、自動車、カメラ…メカトロニクスであらゆる機械を自在に操る。

『メカトロニクス』とは、電気・電子と機械を融合した技術分野。私たちのまわりにあるほとんどの機械は、メカトロニクスで動いています。『機械』『電気・電子』『計測・制御』『情報・コンピュータ』『メカトロニクス』の4つの分野を学び、産業界で活躍できるメカトロニクスエンジニアをめざします。電気・電子のわかる機械技術者、機械のわかる電気・電子技術者を育てます。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 『機械』『電気・電子』『計測・制御』『情報・コンピュータ』『メカトロニクス』の分野をバランスよく学び、機械を自在に操る技術を習得します。
- 電子機械工学の基礎知識を獲得し、新しいことを自ら学ぶ能力を身につけ、問題解決の方法を習得します。
- 企業が求める技術者となるために必要な総合力・実践力と、柔軟な発想力を身につけることを目標とした教育を行います。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎工学		プレゼミナル	卒業研究
	熱工学	流体力学	
	材料力学	機械モデル論	
	機械運動学		
	図学及び製図	設計製図	
	工学基礎製図	材料力学	
	工作法	デジタル回路	
	電気回路		
電気回路演習	電子回路	電子回路演習	
	電気実験		
	センシング論		
		制御基礎論	
		システム制御工学	
	メカトロニクス		
		ロボット工学	
	光工学	工学英語	
物理学・実験		電子機械実験	

※上表は開講科目の一部

Pick Up 授業



ロボット工学

ロボットのつくり方と、動かすための理論の両方を、わかりやすく講義します。さらに、産業用ロボットアームを例にして、「思い通りに動かす」ための制御技術について学びます。



設計製図

機械をつくる工程で欠かせない、設計製図の書き方を実習します。ドラフターを用いた手製図と、CADを用いた設計製図の両方を実習することで、設計製図の基礎と応用能力が確実に身につきます。

最先端のモノづくり教育

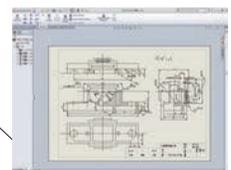
CHECK!!

製図の基本能力を向上するため、3次元CADを使った設計を学びます。そのCADデータをCAMソフトウェアに転送して、加工を徹底的にシミュレーション。さらに、3Dプリンタやマシニングセンタ、金属光造形複合加工機など、最新の工作機械を使って、実際の加工までを経験し、即戦力になれるエンジニアをめざします。



3次元CAD (ソリッドモデラ)

3次元CADによる設計



取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/工業)
中学校教諭一種免許状(数学)

取得をめざす資格

機械設計技術者、CAD利用技術者、電気主任技術者
陸上無線技術士、基本情報技術者、IT/バスポート

機械工学科



環境にやさしい、
低摩擦エンジンの実現をめざして。



- 製造業
- ロボット・電車
- 自動車・オートバイ関係
- 熱学・ナノテクノロジー関係

研究室紹介

TEACHER's Voice

エンジンが作動するときの「摩擦」を減らすことができれば、より壊れにくく、環境にもやさしいエンジンをつくることができます。この研究室では、関西で唯一、エンジンの「潤滑」に関する研究を行っています。実際のエンジンの分解・組立や性能試験、CADを使ったシミュレーションなどを通して、次世代エンジンの可能性を追求しています。

おざとしひろ
小笹 俊博 教授
(工学博士)

大手自動車メーカー関係の研究所などを経て本学へ。「エンジンの研究と言えば『燃焼』の技術が目されがちです。だからこそ『潤滑』の技術には、まだやるべき研究が多く残されているのです。」



ものをつくる、 その中核となるメカを 幅広く、深く学ぶ。

機械のない工場って、想像できますか？
いつの時代でも、機械は産業を支えるもっとも大切な技術です。
つまり、機械工学こそエンジニアリングの基盤であり王者なのです。
本学科では、機械工学における優秀な専門家たちが、
基本から高度な応用技術まで、学生一人ひとりに教授しています。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** 機械工学入門、機械創成工学演習、インターンシップなどで構成される「創成体験系」を導入し、学生の学修意欲を高めています。
- 02** 設計生産・環境・エネルギー・固体力学・制御情報の各系の専門科目を充実させ、機械設計やCADの資格取得サポートも万全です。
- 03** 最先端技術を追求する研究室が多く、スケールの大きなテーマや、学会でもトップクラスの研究に触れる機会に恵まれます。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
	CAD実習		
機械工学入門	機械要素設計		卒業研究
機械製図基礎	機械材料学		工学倫理
工業力学及び演習		機械創成工学演習	流体機械
	材料力学	機械工学実験	エンジン工学
図学基礎	材料力学演習	機械設計製図演習	交通機械工学
力学・演習	機械運動学	テクニカルイラストレーション	ロボット工学
基礎電気回路	機械運動学演習	機械要素設計演習	メカトロニクス
電気電子工学	流体力学		
	流体力学演習	計測工学	
	熱工学		
	熱工学演習	加工学	
	制御工学		
	制御工学演習	機械力学	
	電気機器学	機械力学演習	

※上表は開講科目の一部

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/工業)
中学校教諭一種免許状(数学/技術)

取得をめざす資格

機械設計技術者、CAD利用技術者、ITパスポート

Pick Up 授業



機械工学入門

さまざまな機械の構造を理解し、それらを動かす醍醐味を知ることは、機械工学を学ぶ入口。ロボットや自動車関係、エアホッケーの原理である静圧パッドなどの実習を行います。



CAD実習

3次元CADシステムを使い、コンピュータ上で設計を行うだけではなく、シミュレーションや解析、プロダクトサイクル管理など設計から製造までをつなぐシステムとして実践的に学びます。

機械創成工学演習

CHECK!!

たとえば、「ボールを投げる機械」を課題に、少人数グループで基礎的な力学を応用したものづくりに挑戦。企画、設計・製図、部品の調達、製作までを行い、さらに、1年の締めくくりとして作品のプレゼンテーションを実施します。ものづくりの入口である「発想」から出口である「製品の評価」まで、一貫して体験できます。



基礎理工学科

将来の
活躍
フィールド

- 数学・理科の教員
- 大学院進学・開発者・研究者
- 科学的思考力を持つプロジェクトリーダー
- 教育・情報産業のクリエイター

研究室紹介

TEACHER's Voice

地球はひとつの大きな磁石。「地磁気」を調べれば、地球周辺のさまざまな環境の変化を知ることができます。この研究室では、人工衛星や地上からの観測データを基に、宇宙の環境変動を調べています。また、ニュージーランドに設けた独自の観測システムにより、世界で誰も解析をしていないデータを使って研究を行うことができます。

おばな ゆき
尾花 由紀 講師
(博士(理学))

地球電磁気・地球惑星圏学会に所属。「この学科には教員志望の学生が多く、科学的思考に基づいて人にものを伝える訓練を行っています。そのひとつとして、研究室では手づくり教材の作成などもすすめています。」



地球周辺の宇宙空間で、何が起きているのか？
地磁気が教えてくれる。

科学のすごさ、深さ、
楽しさを体験して、
科学的思考力を養う。

人類の知的財産である『自然科学』を基礎からしっかり学びます。数学、物理学、化学などの専門知識を獲得すると同時に、それらを活かす理論や技法(モデリングやシミュレーション)を身につけます。ものごと=自然現象を“根っこ”から追究・分析する力と真の応用力を養い、先端科学技術から教育まで、幅広い舞台で活躍できる人材を育成します。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** 科学リテラシーを獲得します。科学的な思考をする上で大切な基本知識を学び“科学の読む・聞く・書く・計算”を身につけます。
- 02** 問題発見と解決能力の向上をめざします。獲得した知識を他者にわかりやすく伝えるコミュニケーションとプレゼン能力を磨きます。
- 03** “楽しく学ぶ”を大切に、科学のおもしろさを存分に伝えられる能力を養います。特に数学・理科の教員免許取得を強力にサポートします。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
微分積分・演習	微分方程式	応用フーリエ解析	
線形代数	離散数学	応用代数学/応用幾何学	
複素数の数学	確率・統計	数理解析	
	シミュレーション数学		
物理学1・演習/物理学2	電気回路/電磁気学	計測・データ処理	
物理学実験	量子物理・化学	光計測工学	
一般力学	現代物理学入門	物性科学	
	シミュレーション物理学	量子力学	
化学1	化学と生活	分析化学	
化学2	有機化学	機器分析	
	無機化学	シミュレーション化学	
		電気化学	
基礎理工学入門	サイエンス実験/化学実験/応用数学演習		基礎理工学特別講義
	基礎理工学ゼミナール		卒業研究

※上表は開講科目の一部

Pick Up
授業



シミュレーション数学

シミュレーションは、実験と並んで自然、社会現象を解析する強力な手法です。複雑な現象を数理モデル化し、その方程式を分析するためのアルゴリズムや、実践的プログラミングを学びます。



応用サイエンス実験

1・2年次はテキストに従って実験やデータ解析を行います。3年次からは、自分で実験手順を考え、データをまとめます。この実験では、実験科学における応用力を身につけます。

エッグドロップコンテスト

CHECK!!

少人数のチームに分かれ、A2のケント紙1枚を使って、校舎の4階から落下させても中に入れた生卵が割れない「保護装置」を設計・製作します。各チームでアイデア、製作技術、プレゼン能力を競い、楽しく学びます。



西はりま天文台宿泊研修

新入生を対象に1泊の宿泊研修会を実施。宇宙、星に関する講義と観望会を行います。自然科学への興味を深めるとともに、上級生も参加してレクリエーションや懇親会を盛り上げ、新入生が大学生活にスムーズに入る助けとなっています。



取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/理科)
中学校教諭一種免許状(数学/理科)



基礎理工学科Webサイト

<http://www.kisoriko.jp>
で詳しい紹介をご覧いただけます。

環境科学科

将来の
活躍
フィールド

- 機械・電気機器製造
- エネルギー産業
- 化学・化粧品
- 医薬品メーカー
- 食品関係

研究室紹介

TEACHER's Voice

たとえば、エアコンの設定温度を変えると、なぜ消費電力が変わるのか。身近な家電製品や太陽光発電、蓄熱などを題材に、理論と実験の両面から、熱エネルギーの有効利用について研究しています。風量、室内外の温湿度、コンプレッサーの回転数などを計測する技術や、実験の結果を基にシミュレーションを行う力も身につけていきます。

そえだ はるお
添田 晴生 講師
(博士(工学))

専門分野は、建築環境工学、熱工学、流体工学。「研究では、愛と厳しさを持って指導します。学生たちが成長し、笑顔で卒業していく姿を見るのが、一番のよろこびです。」



身近な機器の熱エネルギーを調べ、さらなる省エネにつなげる。

幅広いフィールドで、地球と人類が直面する環境問題に挑む。

さまざまな環境問題についての正しい理解と認識を高めるとともに、地球にやさしい化学物質の開発とエネルギーの有効利用技術およびバイオマテリアルの探求に関する『エコ化学』『バイオ化学』『エネルギー機械』を軸とした実践的教育を行い、環境意識が高く、多彩なフィールドで活躍できる人材の育成をめざします。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01 エコ化学コース**
新型二次電池や環境浄化に使われる光触媒などについて、それらを構成する物質を開発できる知識と技術を学びます。
- 02 バイオ化学コース**
植物や微生物の生産する物質を使った新しいバイオマテリアルの開発や健康食品の開発などに関わる知識や技術を学びます。
- 03 エネルギー機械コース**
自然エネルギーを電気に変える発電技術と得られたエネルギーの有効利用技術などに着目し、それを実現する各種機械のシステムについて学びます。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
地球環境の物理	水と大気の世界環境学	リサイクル論	卒業研究
地球環境の化学	環境科学実験	気象観測	
環境社会学	有機・無機化学	環境と電池	ナノ化学
物理学	化学実験	エネルギー化学	
化学	機器分析	エコ化学実験	
生物	電気化学		
物理学実験	有機・無機化学	化学生物学	数理生物学
生活化学実験	高分子化学	食品化学	
コンピュータテラシー	生化学	バイオマス利用学	
プログラミング演習	化学実験	バイオ化学実験	
	流体力学	エネルギー変換工学	設計工学
	熱力学	エネルギー機械実験	
	電気実験	機械力学	
	機械CAD		

※上表は開講科目の一部

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(理科/工業)
中学校教諭一種免許状(理科/技術)

取得をめざす資格

公害防止管理者(水質関係第一種)
エネルギー管理士、気象予報士
eco検定(環境社会検定試験®)、CAD利用技術者

Pick Up
授業

食品化学(バイオ化学コース)

バイオテクノロジーにより生命活動や生物が生み出す物質の特性などが解明され、食品や医療へと応用されています。食品の機能や健康との関わりや安全性について学びます。



エネルギー変換工学(エネルギー機械コース)

石油、天然ガスなどの化石燃料から、太陽光や風力などの再生可能エネルギーまで、一次エネルギーを電気・熱などの高次のエネルギーに効率よく変換する技術を学びます。

日吉ダム貯水池 実地調査実験

CHECK!!

中田亮生准教授の研究室が、京都府南丹市の日吉ダム貯水池で、水温や水流測定の実地調査実験を行いました。この実験は産官学共同研究の一環で、毎年夏季に実施しているものです。得られる各種データは、当該のダム湖に設置された曝気*(ばっき)装置の性能評価に使用され、その水質改善に有効に活用されます。

※曝気(ばっき)とは、水を空気にさらし空気を供給すること。酸素を供給して水中の微生物・有機物の分解を促進させる効果がある。



農芸化学奨励賞 受賞!

本学科の齊藤安貴子准教授が、農芸化学奨励賞を受賞。この賞は農芸化学の進歩に寄与する優れた研究と、将来を期待される若手研究者の会員に対し授与されるものです。論文の表題は「天然物合成を基軸とした小分子プローブ創成と化学生物学研究」。今回の受賞には学生の卒業研究での実験結果が重要な位置を占め、学生にとってもうれしい受賞となりました。



Department of Engineering Informatics

情報工学科

将来の
活躍
フィールド

- ソフトウェア開発
- システム・ネットワーク開発
- グラフィックス・マルチメディア
- 情報教育

研究室紹介

TEACHER's Voice

もし、本物のブランド品と偽物を見分けたり、野菜や果物の熟れ具合を判別できる装置があればとても役立ちます。この研究室では、人の目で見えないものを見る“テクノロジーの目”の研究に挑んでいます。物の外から情報を獲得する素子・センサの構造や使い方を研究し、形状、色、動き、材質などの情報を高精度に素早く取り出すことをめざしています。

きま ち あきら
来海 暁 教授
〈博士(工学)〉

研究室の学生には、いつも「時間と労力を使って、コツコツやりなさい」とアドバイス。「いかにうまくい仕組みをつくり、どう情報を取り出すか。これがセンシングのおもしろさですね。」



“テクノロジーの目”で、
人の目で見えないものを可視化していく。

武器はコンピュータ。
キーワードは情報。
しなやかな専門性を磨く。

コンピュータという素晴らしい道具を使いこなし、人間の知的活動のための『情報』を“発生・伝達・収集・蓄積・処理する”先進の理論と技術を追求めます。人工知能、パターン認識、視覚情報学、認知科学、インターネット、データベース、コンピュータグラフィックスなど、学びの対象は実に多様です。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** 1年・2年次で核となる情報工学入門、コンピュータ工学、基礎電気回路などをしっかり学び、情報工学に関する意識を高めます。
- 02** 豊富に開講されている専門科目群から自由に選べます。自分の興味や将来のキャリアを考えて、自分でつくるカリキュラムです。
- 03** 将来の進路に対応した『情報基盤技術系分野』『情報メディア系分野』『人間科学系分野』の複数の履修モデルを用意しています。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
情報工学入門	Cプログラミング	アルゴリズム設計論	卒業研究
情報工学概論	Cプログラミング演習	信号処理学	オートマンと計算論
Cプログラミング入門	コンピュータ応用演習	画像工学	情報特許論
Cプログラミング入門演習	論理回路	認知科学	コンピュータグラフィックス
コンピュータ基礎演習	基礎電子回路	人間工学	バイオ情報学
コンピュータ工学	電子基礎実験	情報工学実験	オペレーションズリサーチ
基礎電気回路	オペレーティングシステム	ソフトウェア工学	データマイニング
	コンピュータハードウェア	組み込みシステム論	光情報処理
	プログラミング言語学	情報セキュリティ工学	
	アルゴリズム基礎論	パターン情報処理	
	コンパイル基礎論	音声・言語情報処理	
	情報科学英語	人工知能	
		品質管理	
	ネットワーク工学		
	コンピュータアーキテクチャ		

※上表は開講科目の一部

Pick Up
授業



情報工学入門

情報工学は比較的若い学問ですが、取り扱う課題は極めて広範です。そこで、情報工学を学ぶための概論として基本技術といくつかのトピックスについて解説します。



コンピュータグラフィックス

コンピュータ内に仮想的な3次元世界を構築し、それをスクリーンに投影して2次元映像を得るための基礎技術を学習。CG制作を通してモデルのパラメータの意味や特性を理解します。

本学科は関西私立大学の中で、情報工学を専門に研究・教育するはじめての学科として1995年に設立されました。世の中を支えるエンジニアを社会に輩出しています。

CHECK!!

情報工学科 主な就職先 (過去5年)

西日本旅客鉄道、協和エクシオ、NTTネオメイト、ミライト、インテック、NECネットエスアイ、大阪信用金庫、ファミリーマート、サンデン、上新電機、船井電機、丸三証券、NTTデータ、総合警備保障、トランスコスモス、セブンイレブン・ジャパン、日本コンピューター・システム、コンテック、旭情報サービス、CIJネクスト、日本インフォメーション、パナソニックソリューションテクノロジー、東電通、立花証券、東洋テック、日本基礎技術、リコーテクノシステムズ、ワークスアプリケーションズ、AQインタラクティブ、SBIクレジット、NSD、立花エレテック、富士通ネットワークソリューションズ、古河AS、SRA、ペガサスミシン製造、アイエックス・ナレッジ、ソレキア、システナ、ジェーイーテクノロジー、タナベ経営、独立行政法人 水資源機構、大阪府教育委員会、神戸市教育委員会、滋賀県信用組合、防衛省、大阪府警察本部、和歌山県警察本部、学校法人神戸村野工業高等学校、財団法人 滋賀保健研究センター など

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/工業/情報)
中学校教諭一種免許状(数学)

関連する資格

応用情報技術者、基本情報技術者
CGエンジニア検定

通信工学科

将来の
活躍
フィールド

- 無線技術者
- 電気通信技術者
- システムエンジニア
- ネットワークエンジニア

研究室紹介

TEACHER's Voice

携帯電話や無線LANなど、私たちの周りには目に見えないさまざまな電波が飛んでいます。ソフトウェア無線技術を使えば、同じ装置上でソフトウェアを書き換えるだけで、さまざまな電波を受信することができます。将来はこうした装置を利用し、遠くにあるものを遠隔計測できるレーダーなどを開発していくことが目標です。

しばがき よしあき
柴垣 佳明 教授
(工学博士)

専門分野はレーダー気象学。
「この学科には、無線装置を操作するために必要な無線従事者の資格をめざす学生が多くいます。私たちも講習会などを開き、資格取得をバックアップしています。」



ひとつの装置で多彩な電波を測れる
ソフトウェア無線。

通信ネットワークの 将来を担う 次世代のエンジニアを育成。

『ブロードバンド』『インターネット』『マルチメディア』の3分野に代表される21世紀の通信ネットワーク技術。通信工学科では、これらの分野について幅広い教育を行い、次世代を担う技術者を育成しています。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** 携帯電話やインターネットによる情報伝達技術、コンピュータによる情報処理技術を体系的に学べます。
- 02** 光通信、移動体通信、衛星通信などのブロードバンド情報通信に関する講義により、通信技術者としての資格取得をめざします。
- 03** インターネットのサーバルータに関する実習、認証・暗号化の通信実験、画像処理、メディア工学の講義など多彩なカリキュラムが用意されています。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
情報通信工学入門	計測工学	伝送線路工学	卒業研究
	電子回路	パルス回路	電波法規
基礎電磁気学	電磁気学	電磁波工学	
		LSI工学	
基礎電気回路	固体電子工学		
	電気回路	情報伝送工学	
	情報通信理論	ネットワーク工学	
	基礎計算機工学	情報交換工学	
	計算機工学		
	ソフトウェア工学	光通信工学	
プログラミング基礎演習	プログラミング演習	プログラミング応用演習	
工学基礎実験	情報通信工学実験		
		マルチメディア工学	
		情報セキュリティ	
		光エレクトロニクス	
		移動通信工学	

※上表は開講科目の一部

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/工業/情報)
中学校教諭一種免許状(数学)
陸上特殊無線技士(第一級)
海上特殊無線技士(第三級)

試験科目の免除がある資格

陸上無線技術士(第一級)
電気通信主任技術者

関連する資格

工事担任者
基本情報技術者
ITパスポート

Pick Up
授業



情報通信工学入門

携帯電話やインターネットなど、ますます重要な社会基盤となっている情報通信ネットワーク。その主要な技術について、歴史や将来の動向も含めて基礎から学んでいきます。



情報セキュリティ

インターネットを安全に利用するためには、個人情報などのデータを暗号化する必要があります。現代の情報化社会に不可欠な暗号化やセキュリティ技術を学びます。

資格取得を徹底サポート

CHECK!!

第一級陸上無線技術士(国家資格)

無線従事者免許の最高峰。有資格者は官公庁や放送局、携帯電話会社など無線を使用するすべての業種において、非常にニーズの高い専門職が狙えます。通信工学科では所定の授業単位を修得すると4科目の試験科目のうち1科目が免除に。また、専門の教授による対策講座も開講しています。

電気通信主任技術者(国家資格)

電気通信ネットワークの維持・管理、工事を行う専門職。NTTなど通信関連分野を支える専門職に必要な資格です。所定の授業単位を取得することで4科目の試験科目のうち1科目が免除に。

第一級陸上特殊無線技士(国家資格)

携帯電話基地局や衛星通信などの無線通信設備の技術操作や保守に従事する際に必要となる資格。所定の授業単位を取得するだけで、卒業時にこの資格が得られます。

医療福祉工学科

将来の
活躍
フィールド

- 臨床工学技士
- 医療・福祉ロボット
- 病院・介護施設
- 医療機器・医療情報産業



環境にやさしく、殺菌や消毒に威力を発揮する機能水の研究に挑む。

研究室紹介

TEACHER's Voice

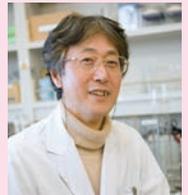
水道水を弱い直流電流で電解処理すると、強力な殺菌作用を持つ「機能水」に変化します。この機能水は、医療現場だけでなく家庭の衛生に大いに役立ちます。しかも、利用した後は元の水に戻すことができるので環境にもやさしい。目標は、家庭でも使えるコンパクトな装置を製品化し、世界の清浄・殺菌・消毒の現状に革命を起こすことです。

うみもと こういち

海本 浩一 教授

〈工学博士・薬剤師・臨床工学技士〉

専門は透析療法、医療過誤などの臨床工学。「しかし学生の研究テーマとしては機能水が人気で、いつの間にか主力になっています。既に国内特許もあり、国際特許の申請準備も入っています。」



生命を救い、人をケアする 臨床医工学・生命情報・ 健康福祉を学ぶ！

ハイテク医療・福祉機器の開発現場から医療機関や福祉現場で活躍できる高度な人材を育成する学科です。

医療福祉や医療機器産業は景気に左右されない超安定分野。今後、超高齢社会を迎え、予防医療や医療機器・福祉機器の専門知識を持った人材のニーズはさらに高まると予想されます。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

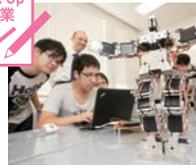
- 01** 医療・福祉機器の開発の基礎となる医学、工学、“モノづくり”を体験。ハイテク介護技術、人の役に立つデザイン、ヒト型ロボット製作を学びます。
- 02** 未来の医療を見据え臨床工学・情報学が学べる“ぜいたくなカリキュラム”。ハイテクに強い医療人(臨床工学技士)、医学知識を持つエンジニアを育成します。
- 03** いつでもどこでもマイペースで学習ができる「e-learningシステム」。資格取得にも効果絶大。臨床工学技士国家試験の合格率は過去10年間で90%です。

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
				卒業研究
医学系	解剖学・生理学 機能解剖学 基礎医学実習	生化学・薬理学・免疫学 臨床医学総論・病理学 臨床生理学・生体物性 医学概論と臨床工学	看護学と介護予防 臨床医学総論 生体計測装置学実習	臨床実習
臨床工学系	健康と化学	医用物理学・医用機器学 医学概論と臨床工学 公衆衛生学・医療関係法規	医用画像診断装置学 医用機器安全管理学実習 生体情報・画像処理実習	医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習
医療情報系	情報工学基礎論 コンピュータリテラシー プログラミング基礎演習	プログラミング応用演習 医療情報学・情報セキュリティ 基礎生体計測装置学	Webデザイン演習 データベース論 医療情報システム実習	医療統計学実習
福祉ロボット系	機械工学概論	リハビリテーション工学 バリアフリー設計論 組み込みソフトウェア演習	マイコン制御プログラミング演習 ヒト型ロボット製作実習 福祉住環境特別実習 身体運動機能再建工学 インターフェースデザイン	ロボット創造設計学
基礎工学系	電気回路学・電気基礎理論	電子回路学・電子工学実験 計測工学・システム工学 材料力学・流体力学	電気電子回路演習 制御機器工学	

※上表は開講科目の一部

Pick Up
授業



ヒト型ロボット製作実習1

医療・福祉機器を“使える”だけでなく、機器を“つくれる”技術力を身につけるため、デザイン、部品の加工からプログラミングまで、ロボットを自分たちの手でつくり上げます。



生体機能代行装置学実習1

「歩く」「呼吸する」などの人の体が持っている機能が不幸にして失われることがあります。その機能の代わりに果たす器具・機械(義肢・人工心肺など)の操作技術を習得します。

資格取得&就職に強い、臨床工学技士(国家資格)

CHECK!!

臨床工学技士

進路
決定率

100%

学科開設以来

平均
合格率

90%

2・3・5期生

合格率

100%

学科開設以来

累計
合格者数

250人

医療機関からの求人倍率10倍以上!

臨床工学を最先端の現場で。豊富な実習先!

京都大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附属病院、大阪医科大学附属病院、近畿大学医学部附属病院、大阪警察病院、西神戸医療センター、市立豊中病院、北野病院、日本赤十字社和歌山医療センター、大津赤十字病院、兵庫県立姫路循環器病センター、NTT西日本大阪病院、神戸市立西市民病院、宝塚市立病院、三菱京都病院、大阪府立急性期・総合医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、武田総合病院、岸和田徳洲会病院、桜橋渡辺病院 など

受験資格を取得できる資格

臨床工学技士

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/工業/情報)
中学校教諭一種免許状(数学)
※臨床工学技術養成課程と「情報課程」とを併修することは難しい場合があります。

関連する資格

ME技術実力検定、医療情報技師、
バイオ技術者認定、福祉住環境コー
ディネーター[®]、基本情報技術者

理学療法学科

将来の
活躍
フィールド

- 教育・研究・行政関係施設
- 病院・介護施設
- 健康産業・スポーツ施設
- 医療機器メーカー

研究室紹介

TEACHER'S VOICE

足首が歩行においてどんな機能を果たしているのかは教科書を開けば書いてあります。しかしそれを読むだけでは本当に理解したことにはなりません。実際に足首を固定し正常な歩行との比較を行うことで、はじめてその機能を理解できます。与えられた知識で満足するのではなく、実際に自分の身体を用いて実感することで、深く理解することが大切です。

おだくにひこ
小田 邦彦 教授
(理学療法士)

動作解析装置を用いた動作分析などが研究テーマ。「人の体には、まだわからないことが多くあります。だから、機器を使って計測した結果からひとつずつ科学的に明確にすることが大切なのです。」



『歩く』とはどういうことか？
動作解析装置で歩行の原理を探る。

医学と工学の両面から
理学療法を体得。
高度医療を支えるプロへ。

人の動作機能を回復させ、社会復帰をうながす理学療法士(PT)。医療技術や機器の高度化に伴いPTに求められる知識・技能もハイレベルになっています。医学と工学の両分野に通じるスペシャリストをめざし、実践力と応用力を養います。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01 演習や実習の時間が豊富。個々の対象者(患者・利用者)に合わせた、より臨床的な技術を習得し、高い技能を持つ理学療法士を育成します。
- 02 2年生から研究室に所属。先輩や担当教員との息の通った交流を通して、人間性を育み人にやさしい理学療法士を育成します。
- 03 早期から国家試験対策を開始。しっかりと知識に裏付けられた医療を提供できる理学療法士を育成します。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
生理学	運動系理学療法学演習		卒業研究
解剖学	神経系理学療法学演習		
基礎医学演習		呼吸循環系理学療法学演習	
機能解剖学演習		小児系理学療法学演習	
理学療法学概論		スポーツ系理学療法学演習	
障害学概論	老年系理学療法学演習		
運動学演習			
	臨床医学	臨床理学療法学演習	
	臨床心理学	実践理学療法学演習	総合技術特論
		義肢装具学演習	総合理学療法技術演習
	日常生活活動学演習		福祉環境デザイン論
	理学療法評価学演習		
	物理療法学演習		
	運動療法学		
		臨床実習	

※上表は開講科目の一部

受験資格を取得できる資格
理学療法士

Pick Up
授業



機能解剖学演習

機能解剖学は、臨床医学をはじめとした専門基礎科目や理学療法専門科目の基礎となります。運動器の構造や機能に関する知識を習得し、実習を通じて理解を深めます。



理学療法評価学演習

理学療法評価とは、対象者の持つ障害や問題点の改善を目的とする臨床的意思決定の過程です。問診・観察・検査測定・統合・解釈と続く一連の思考過程を理解し、体得します。

2014年3月
卒業者の合格率

理学療法士
(国家資格)

93%

学科開設以来
平均合格率

92%

就職に強い
理学療法士

学科開設以来
理学療法士の
進路決定率

100%

快挙!

理学療法を最先端の現場で。豊富な実習先!

京都大学医学部附属病院、高知大学医学部附属病院、和歌山県立医科大学附属病院、関西医科大学附属香里病院、国立循環器病センター、国立病院機構南京都病院、市立池田病院、大阪赤十字病院附属大手前整肢学園、大津赤十字病院、日本赤十字社和歌山医療センター、済生会和歌山病院、大阪警察病院、北大阪警察病院、医聖学研都市病院、協和会病院、純幸会豊中渡辺病院、平成記念病院 など

本格的「三次元動作解析装置」

体の所定の位置にマーカーを付け、複数のカメラで撮影することで、関節の位置や体の動きを三次元的に測定。本学では、多くのカメラで計測でき、歩行動作の分析や運動失調の状態の評価などに活用しています。



CHECK!!

健康スポーツ科学科

将来の
活躍
フィールド

- 保健体育教諭(中学/高校)
- エクササイズインストラクター
- スポーツ用品メーカー
- 公務員
- (地域健康、体育振興など)

研究室紹介

TEACHER's Voice

古くはエジプト時代から、病氣や怪我の治療に利用されてきたアロマセラピー。植物が作り出す精油の成分を使って心身のトラブルを緩和する効果は、リハビリテーションやスポーツコンディショニングの場面でも利用されつつあります。この研究室では、疲労やストレスに関して栄養摂取やアロマセラピーがもたらす効果を研究しています。

ただ
武田 ひとみ 教授
〈博士(学術)・博士(医学)〉

指導健康心理士、アロマセラピストなどの資格も持つ。
「まずは自分が興味を持てることを見つけてください。すると自分でも気づかなかった力が出てきますよ。」



アロマセラピーの効果を検証し、
疲労回復やストレス緩和に役立てる。

運動・栄養・休養の知識と科学的根拠に基づく健康教育、スポーツ指導の技術を習得。

『基礎医学』『栄養学』『工学』『生理学』『運動学』『教育学』など幅広い分野を学べるカリキュラムを編成。健康とスポーツを科学の目でとらえつつ、豊かな人間性を備えた人々の健康維持増進に貢献できるプロフェッショナルを育成しています。スポーツ選手の指導者、保健体育教諭、メーカーでの機器開発などの活躍の場があります。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** 運動・栄養・休養の各側面からの総合的な知識を持って、人々の健康維持増進に取り組める高度な専門知識と専門技術を4年間で学びます。
- 02** 力学シミュレーション演習や運動生理学実習などの演習・実習科目を通じて、自ら動き、考え、体感して、科学的分析方法の理論とスキルを身につけます。
- 03** 株式会社コナミスポーツ&ライフとの連携により、実習や研究の実践の場としてコナミスポーツクラブを活用できます。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
機能解剖学	神経筋生理学	スポーツ医学と救急救命演習	卒業研究
	運動生理学	スポーツコンディショニング演習	動作解析・シミュレーション実習
	生活習慣病・健康管理概論	精神医学	生体計測学・実習
	応用栄養学演習	運動療法学演習	リハビリテーション工学
	体力測定と評価	運動生理学・実習	
	健康づくり運動の理論と施策		
	器械運動		
	学校保健	スポーツ指導演習	
バレーボール	陸上競技		
ソフトボール	バスケットボール		
スポーツトレーニング	テニス		
エアロビクスダンス	創作ダンス	運動障害と予防	
	スキー・スノーボード	野外活動	
	体育心理学	プレゼミ	
	武道		
	健康運動指導実習		

※上表は開講科目の一部

Pick Up
授業



リハビリゲーム論

「痛い」「退屈」「面倒」などのイメージを抱きがちなリハビリにモチベーションを与えるため、ゲームの要素を取り入れる手法を学び、バーチャル・リアリティなど最新の技術も身につけます。



スポーツトレーニング

スポーツトレーニングに関する原理・原則とその効果を学習・実践しながら、個々に応じたトレーニング法やトレーニングを行う際の適正な計画を作成できる能力を養います。

日本最大規模のフィットネスクラブ
「コナミスポーツ&ライフ」と強力タッグ!

CHECK!!

人々が健康的な生活を送るためには、日常的な運動の習慣づくりが欠かせません。そのための指導を行う「健康運動指導士」や「健康運動実践指導者」を養成する課程では、実際に健康指導を行う施設で実習を行う必要があります。この学科では、株式会社コナミスポーツ&ライフと業務提携を結び、日本最大のスポーツクラブであるコナミスポーツクラブでの実習を通して、実践的な運動指導の技術を習得することができます。



取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(保健体育)
中学校教諭一種免許状(保健体育)、
スポーツリーダー

受験資格を取得できる資格

健康運動指導士、健康運動実践指導者、
ジュニアスポーツ指導員

講習・試験科目の免除がある資格

指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチ、教師、上級教師
スポーツプログラマー、アスレティックトレーナー、アシスタントマネージャーなど、日本体育協会認定の各指導者資格

Department of Digital Games

デジタルゲーム学科

将来の
活躍
フィールド

- ゲーム業界
- IT関連業界
- デザイン関連業界
- 家電・玩具メーカー

研究室紹介

TEACHER's Voice

自分が飛行機になり、空に浮かぶ風船を次々と割っていく。学生たちがKinect®を利用して制作した、コントローラを使わない仮想体感型シミュレーションゲームは、東京ゲームショーやアジア学生クリエイティブEX.(エキスポ)に出展したところ、ゲーム会社の方から高い評価を得ました。そこから、企業との連携プロジェクトも生まれています。

かどばやし りえこ
門林 理恵子 教授
〈博士(工学)〉

大手メーカーや研究機関を経て、本学へ。「自分がつくるゲームが、なぜおもしろいのか。説明できるまで考え抜いてください。その自問自答から新しいエンターテインメントが生まれるはずですよ。」



学生たちの制作した体感型ゲームが、
企業連携のきっかけに。

遊びの枠を超えて、 多様に広がるデジタルゲームの 可能性を拓きます！

テクノロジーとアートがドラマティックに出会うデジタルゲームの世界。コンピュータサイエンスの基礎、高度なプログラミング、3DCGやデザイン、アニメーションやサウンドなどの表現技術を総合的に学び、人々を楽しませる革新的なデジタル・コンテンツ(作品)や、生活をより豊かにする新たなツールを創造できる人材を育成します。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01 デジタルゲーム制作を軸に工学、ソフトウェア、デザイン、アニメーション、企画、シナリオ、マネジメントなど多彩な科目を展開。
- 02 必修の「Career」科目群に加えて、6つの領域に分類された科目群から2つを自由に選択。自分だけのカリキュラムが組み立てられます。
- 03 学年の枠や専門性の違いを越えてチームを結成し、グループワークによるゲームコンテンツ制作で実践的な技術を身につけていきます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(情報)

関連する資格

CGクリエイター検定、CGエンジニア検定
マルチメディア検定エキスパート、色彩検定®
基本情報技術者、ITパスポート

Pick Up
授業



ゲームインターフェース演習

実際の医療用器具を用いてゲームプレイ中の脳波を測定。その分析の複雑さを実際に体験することで、データに対する科学的処理の心構えと、科学的レポートの記述方法を習得します。



プロジェクト実習2

デジタルゲーム学科が対象とする専門領域の中から8つのテーマを設定。その中から1つのテーマを選択し、学年を横断したメンバー編成で実習を行い、目標に向けてチームで取り組む経験をしします。

プロスタッフとの共同制作を体験！

CHECK!!

大阪電通大学の学生がプロスタッフの協力で映像コンテンツを制作するプロジェクトです。テレビドラマ・映画制作、ニコニコ生放送での講座番組を配信、CG合成ワークショップ、アプリ制作など様々な活動を行っています。



東京ゲームショウに7年連続出展

CHECK!!

世界でも最大規模のゲームの祭典である「東京ゲームショー」に、2007年度から継続して学生作品の展示ブースを出展。その作品レベルの高さにゲーム業界の方々から非常に良い反応を得ています。その結果、多くの企業から人材募集やインターンシップ受け入れなどの協力をいただき、産学連携につながっています。また、ゲーム業界で働くOB・OGも多数ブースを訪ねてくれて、近況報告や業界の動向などの話題で盛り上がり。海外からの注目度も高く、さまざまな国際交流プログラムへと発展しています。



創造性を刺激する新カリキュラム

Department of Digital Games

総合情報学部 デジタルゲーム学科は、開設から12年間におよぶ教育研究の実績を礎に、2015年度から新たなカリキュラムを導入。これまでのデジタルアート・アニメーション学科の領域をデジタルゲーム学科へ加えて7つの科目群【ユニット】を編成し、目標に応じた4年間の道筋を【学びの標準モデル】として構築しました。

ゲーム開発モデル

ソフトウェア開発に向けたプログラミングの知識、ハードウェアやネットワークなどシステム構築の技術について学びます。ゲーム開発の最先端に触れることで、新たな遊びの創造に挑戦します。

カリキュラム

ゲーム開発モデルの例

	1年次	2年次	3年次	4年次
Career ユニット	ゲーム学	プロジェクト実習 2	プレゼミ	
	ゲームの心理学	キャリアプランニング	社会プロジェクト実習	
	プロジェクト実習 1	コミュニケーション技法	ゼミナール	
	アクティブラーニング論・演習		インターンシップ	
Development ユニット	基礎力学	データ構造とアルゴリズム	ゲーム開発演習	Webプログラミング・演習
	ゲームの数学 1 (幾何・線形代数)	3Dゲームプログラミング・演習	情報セキュリティ	
	アルゴリズム基礎論	C++プログラミング・演習		
	オブジェクト指向プログラミング演習 1			
System ユニット	ゲームの数学 1 (幾何・線形代数)	コンピュータアーキテクチャ	オペレーティングシステム	
	ゲーム工学概論	人間工学	ゲームインタフェース演習	
	デジタル回路基礎	デジタルインタフェース	ゲームセンサー論	
			ハードウェアプログラミング	
その他のユニット	コンピュータグラフィックス基礎論	ゲームシナリオ	ゲーム制作実習	卒業研究/卒業制作

アート&デザインモデル

デッサンや造形表現、デザインや音楽の理論を学び、オーディオ・ビジュアル表現の実践的な技術と感性を磨きます。多彩な演習課題や作品制作を通して、個性豊かな表現の可能性を追求します。

アート&デザインモデルの例

	1年次	2年次	3年次	4年次
Career ユニット	ゲーム学	プロジェクト実習 2	プレゼミ	
	ゲームの心理学	キャリアプランニング	社会プロジェクト実習	
	プロジェクト実習 1	コミュニケーション技法	ゼミナール	
	アクティブラーニング論・演習		インターンシップ	
Art & Design ユニット	グラフィックデザイン・演習	デザイン基礎	コマーシャルデザイン	
	デジタル造形	デッサン実習	サインデザイン	
	デッサンの基礎・実習	表現演習 1	プロダクトデザイン・演習	
	視覚表現論	映像制作基礎演習		
Graphics ユニット	コンピュータグラフィックス基礎論	2Dグラフィックス・演習 1	Webデザイン・演習 1	バーチャルリアリティ
	スクリプトプログラミング入門・演習	2Dグラフィックス演習 2	キャラクターデザイン	
		3Dグラフィックス・演習 1		
		3Dグラフィックス演習 2		
その他のユニット	プランニング入門・演習	ゲームデザイン	ゲーム制作実習	卒業研究/卒業制作

アニメーションモデル

アニメーション、CG、映像、Web。時間軸やストーリーを持ったコンテンツの制作技法について学びます。モーションキャプチャスタジオをはじめ、プロ仕様の環境で作品制作に取り組めます。

アニメーションモデルの例

	1年次	2年次	3年次	4年次
Career ユニット	ゲーム学	プロジェクト実習 2	プレゼミ	
	ゲームの心理学	キャリアプランニング	社会プロジェクト実習	
	プロジェクト実習 1	コミュニケーション技法	ゼミナール	
	アクティブラーニング論・演習		インターンシップ	
Animation ユニット	アニメーション概論	2DCGアニメーション・演習 1	音楽制作・演習	
	スクリプトプログラミング入門・演習	2DCGアニメーション演習 2	3DCGアニメーション演習 2	
	アニメーション技法	3DCGアニメーション・演習 1	モーションプログラミング演習	
		表現演習 1		
Graphics ユニット	コンピュータグラフィックス基礎論	2Dグラフィックス演習 2	Webデザイン・演習 1	バーチャルリアリティ
	スクリプトプログラミング入門・演習	3Dグラフィックス・演習 1	キャラクターデザイン	
	2Dグラフィックス・演習 1	3Dグラフィックス演習 2		
	視覚表現論			
その他のユニット	デッサンの基礎・実習	コンセプトメイキング	ゲーム制作実習	卒業研究/卒業制作

プロデュースモデル

ゲームの企画やシナリオ、マネージメントやマーケティングを学び、コンテンツビジネスのための知性と感性を磨きます。エンタテインメント性豊かな、プロデュース能力の開発をめざします。

プロデュースモデルの例

	1年次	2年次	3年次	4年次
Career ユニット	ゲーム学	プロジェクト実習 2	プレゼミ	
	ゲームの心理学	キャリアプランニング	社会プロジェクト実習	
	プロジェクト実習 1	コミュニケーション技法	ゼミナール	
	アクティブラーニング論・演習		インターンシップ	
Produce ユニット	問題解決の基礎	ゲームシナリオ	アンケート調査法基礎	イベントプロデュース
	プランニング入門・演習	マーケティング論	映像シナリオ	
		ゲームデザイン	ゲームマネージメント	
		ゲーム評価法・演習		
Graphics ユニット	コンピュータグラフィックス基礎論	2Dグラフィックス演習 2	Webデザイン・演習 1	バーチャルリアリティ
	スクリプトプログラミング入門・演習	3Dグラフィックス・演習 1	キャラクターデザイン	
	2Dグラフィックス・演習 1	表現演習 1		
	視覚表現論			
その他のユニット	サウンドデザイン・演習	人間工学	ゲーム制作実習	卒業研究/卒業制作

情報学科

将来の
活躍
フィールド

- 情報サービス・マネジメント
- 情報システム・社会システム
- ゲーム・アミューズメント
- 教職

研究室紹介

TEACHER's Voice

子どもから高齢者まで手のひらで簡単に使いこなせるコンピュータがあれば…。そんな願いから研究を始め、現在はスマートフォンを利用し、1台でどんなシチュエーションでも使える携帯用ナビゲーションを開発しています。車や自転車、歩行者など、速度や経路が全く違う環境でも、自動的に表示が切り替わり、わかりやすいだけでなく安全に導いてくれる。そんな優れモノをめざしています。

おおにし かつひこ
大西 克彦 准教授
〈博士(情報科学)〉

コンピュータに興味を持ったのは小学生の頃。「初めて作ったゲームが友だちに好評で、この世界にのめり込むようになりました。今もコンピュータは目覚ましく進歩していて、ワクワクさせてくれますね。」



ありそうでない!?
誰もが簡単に使えるコンピュータを開発。

スマートフォン、 ソーシャルネットワーキング 新時代の情報技術を切り拓く。



日々進歩する情報学を学ぶために、2つのコースを設置。JABEEに認定された『コンピュータサイエンスコース』では、情報システムやネットワークなどを扱う情報処理のスペシャリストを育成。『デジタルメディアコース』では、CGやWebなどのデジタルコンテンツのデザインやマネジメントを学び、高度情報化社会で羽ばたく人材を育成します。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 1年次からの情報社会科目とITキャリア形成科目、3年次での卒業研究で、就職活動の前に社会や経済に関する知見と実践力を身につけます。
- スマートフォンやロボットを題材とした情報システムの先端技術を取り入れた科目から、情報処理技術者に不可欠な知識や技術を習得します。
- 社会で活躍するための演習科目を多く配置。また企業と連携した演習科目もあり、実践力に磨きをかけます。

カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次
テクニカルライティング	問題解決法	卒業研究	特別研究
スタディスキル	テクニカルプレゼンテーション	キャリアプランニング	
C++プログラミング実習	情報システム実験	グループディスカッション	
デジタルメディアコース主要科目			
コンピュータと社会	グラフィックス技法	情報メディア論	データマイニング
ビジュアルデザイン演習	GUIデザイン演習	IT産業論	知識処理
IT活用	ITビジネスモデル	情報システムの構築・運用・管理	
	ウェブデザイン演習		
コンピュータサイエンスコース主要科目			
コンピュータアーキテクチャ	プログラム言語論	ロボティクス	グループプログラミング演習
Linux演習	論理設計・演習	Javaプログラミング演習	ソフトウェアシステムの検証
	アルゴリズムとデータ構造	組み込みソフトウェア開発演習	
	情報ネットワーク	オペレーティングシステム	

※上表は開講科目の一部

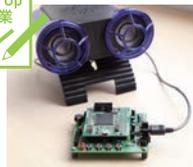
取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学/情報)
中学校教諭一種免許状(数学)
技術士補(情報工学)

関連する資格

応用情報技術者、基本情報技術者
ITパスポート、シスコ技術者認定

Pick Up
授業



組み込みソフトウェア開発演習

家電や自動車など、いまやあらゆる機器に内蔵される組み込みソフトウェア。その開発に必須の知識や技術を体験的に習得するため、マイコンのボードを用いて開発実習を行います。



情報システム実験

テーマのひとつでは、ロボットサッカー競技(Robo Cup)に出場したロボットを使い、ロボットの行動決定のプログラミングを学びます。最終課題では、ひとりずつプログラムを作成し、競技会を行います。

3年次で卒業研究を実施

CHECK!!

本学科では、卒業研究を3年次に行います。全員が研究室に配属され、指導教員のきめ細かい指導のもと、納得がいくまでプログラムを書いたり、心ゆくまで「モノづくり」に励むなど、これまでの勉強を活かして、応用、創意工夫を積み重ねながら、興味のある分野をさらに掘り下げていきます。この卒業研究をやり遂げることで、実践力や社会性をしっかり身につけることができ、それを踏まえて就職活動に臨むことができます。



Department of Asset Management

資産運用学科



- 金融機関
- 不動産業・営業
- サービス・小売業
- 経理・財務



**世界経済の変動をリアルタイムで体感！
市場の一手先を読む。**

研究室紹介

TEACHER's Voice

世界の経済・金融情報を瞬時に入手できる「Bloomberg」端末を使い、日々変動する東証一部約1,700銘柄の情報や過去データを収集。実際の金融機関で行われているように、今後の日本経済をリードしていく企業を解析します。経営や財務の問題を発見し解決する能力やビジネスの最前線で即戦力となるためのスキルが身につきます。

てらだ みつぐ
寺田 貢 教授

住友信託銀行に入社。公的資金運用部長、広島支店長、取締役を歴任。専門は多資産の最適化資産運用理論。「経済・金融界の最前線に挑む気持ちで資格と技術を身につけてください。」



**「お金」がなくては
社会は動かない
生きた知識を身につけよう！**

世界経済は、新たな局面を迎えています。
これは、若いみなさんにとって大きなチャンスです。体を流れる「血液」のように社会を循環する「お金」を知れば、社会の仕組みがわかります。
新しい時代を生き抜く「力」を身につけましょう。

学びのポイント

POINTS OF STUDY

- 01** まずは、なりたい自分を“見つける”。1・2年次の基礎ゼミナールで幅広い専門知識を修得しながら将来の目標を明確にします。
- 02** 次に、めざす目標に向かって自分を“磨く”。社会人として必要なコミュニケーション能力やマナー、実用スキルを養います。
- 03** そして卒業後は“多様性”に満ちた活躍の舞台へ。大手金融機関から食品関連の老舗まで、多彩な未来が待っています。

Pick Up
授業



ゼミナール

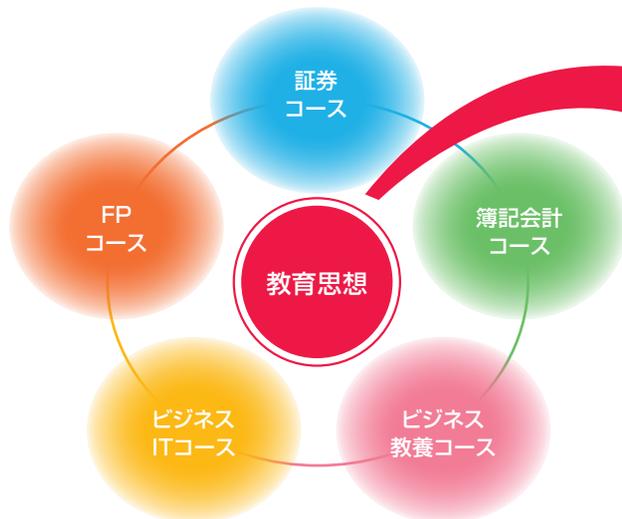
学生同士が積極的にサポートし合いながらお互いのスキルを高めていく、オープンな学びのスタイル。楽しみながら自主性を高め、知識と絆を深めることができます。



インターンシップ

企業との幅広いネットワークを活かし、証券会社や都市銀行などの金融機関からサービス業まで、多彩なインターンシップ先を提供します。実社会で活躍するための実践力が身につきます。

資産運用学科 5つの専門コースと3つの特色



自分を見つけ、磨くための**「基礎学力強化」**
と少人数教育を活かした**「基礎ゼミ」**

人との接し方を訓練し、たくさんの仲間をつくる
「ソーシャルスキル演習」

高い就職率の源は、実務経験豊富な教員による
「実学教育」「キャリア教育」「多様性教育」

取得をめざす資格

証券アナリスト、ファイナンシャル・プランナー、証券外務員一種/二種、公認会計士、税理士
簿記検定2級/3級、ビジネス会計検定、IT/サポート、情報処理技術者、TOEIC®



学校法人 大阪電気通信大学

大阪電気通信大学高等学校

普通科 / 進学コース / 健康スポーツコース

電子工業科 / 理数コース / 電子情報コース / 医療電子コース / デジタルゲーム開発コース

普通科
教育課程

今、求められているのは、子どもたちへの “知的 + 社会的” トレーニングです

進学コース・健康スポーツコース 共通

普通科 1 年

友達 づくりは 楽しく、学力 アップも 楽しく!

普通科のめざす教育

1

年生

高校生になる

しっかりした土台なしには、高校レベルの学習は実を結ばません。朝のトレーニングを通して、英語・数学・国語という基礎科目だけでなく、「聞き取り」「表現」といったコミュニケーション能力についても力を入れ、高校で学ぶための土台作りを実践しています。

さらに、宿泊研修・各種の学校行事・クラブ活動も重視し、集団生活や社会生活をおくる上でのマナーや常識などの社会的トレーニングも重要視しています。

2

年生

適性を発見する

2年生では、実際に大学の授業を体験することによって、自分自身の興味・関心・適性を発見し、間違いのない進路選択をめざします。

3

年生

進路を決める

子供たち自身の希望や能力・適性に合わせて、自分に適した科目群を選択履修します。そして全員が希望の進路に進めるよう、進学講座・面接指導・小論文指導などを個別にきめ細かく指導していきます。

01

学力 アップ!



DS授業

漢字検定試験の対策として、ニンテンドーDSを活用した授業を行います。



朝のトレーニング

朝のトレーニングを通じて基礎学力の定着をめざします。

朝だけでなく、トレーニングの結果によって、放課後にも個別指導を実施し、徹底して弱点の克服を図ります。



放課後進学講座

意欲のある生徒に対しては放課後に進学のための講座を実施しています。

勉強に対する前向きな気持ちをしっかりとサポートします。

02

仲間 づくり!



クラブ活動

高校生活を充実させるために欠かせないのがクラブ活動です。健康スポーツコースでは、全員が体育系クラブに所属しています。

03

集団 生活!



宿泊研修

4月中旬、滋賀県(マキノ)で2泊3日の宿泊研修を実施します。

研修では、皆で協力して作りたいかだでレースをします。そして、アウトドアクッキングで自炊をする等、友達と協力してこそ楽しめる行事がいっぱいです。

これから始まる高校生活に期待をふくらませて、大海原に漕ぎ出そう!

特色ある
授業内容が魅力



進学コース



2年生

高大連携

大阪電気通信大学や追手門学院大学との連携授業を実施します。大学での講義や実験・実習を通して、自分の興味・関心・適性を発見し、進路選択を明確にします。

3年生

習熟度別選択学習システム

理工系・文系に分かれた習熟度別選択学習システムを採用することにより、希望の進路・一人ひとりの習熟度に合わせたきめ細かい指導を行います。



理1 理工系大学進学をめざします。

理2 大阪電気通信大学進学をめざします。

文1 大阪電気通信大学文系学科をはじめ文系大学進学をめざします。

文2 文系大学・専門学校・就職など、幅広い分野に対応した学習をします。



スポーツを
『科学の目』でとらえる



健康スポーツ コース



他大学の施設見学



コナミスポーツクラブの施設を利用した水泳実習

2年生

高大連携

併設の大阪電気通信大学 医療福祉工学部 健康スポーツ科学科と連携し、トレーニング機器と専門器具を組み合わせた授業を実施することによって、スポーツを「科学の目」でとらえます。

充実した外部施設を利用した授業

3年生

併設の大阪電気通信大学 医療福祉工学部 健康スポーツ科学科を始め、健康科学系学部への進学をめざし、体育専門教科として幅広いスポーツ実技を実施するとともに、運動生理学や栄養学の基礎授業を行います。

また、スポーツを通してマナーや公衆道徳についても学び、スポーツだけでなく多種多様な知識を身につけ、幅広い方面で活躍できる人材の育成を図ります。

めざす
職業!!

- 中学・高校の保健体育の先生
- 各スポーツの指導者
- スポーツトレーナー
- インストラクター など



電子工業科
教育課程

充実したカリキュラムで君の夢を全力でサポート 理数コース(特進) 1年 2年 3年



難関大学進学に向け、数学・理科の学習の強化を図る。

現役4年制大学進学率100%

高校入試のときから理数コース志願者は別募集で理数コースの合格点は他のコースと異なります。合格点に満たない場合は第2志望のコースとなります。

0・7・8時間目以外は他のクラスと授業の科目は同じですから、2年生のコース編成時に若干の生徒の入れ替えがあります。

専門教科については1年生で、電気・電子・情報に共通する基礎知識・技術を習得し、2年生からは電子技術とコンピュータの学習をしながら大学進学をめざすコースで難関大学進学に向けて英語・数学・理科を強化しています。毎朝15分の早朝テストと7・8時間目に特別授業を行っています。放課後特別講座(有料)も実施しています。

コースの特長

- 国公立難関私立理工系大学への進学をめざす特進コース。
- 早朝15分と7・8時間目に特別授業を行っています。
- 国公立大学をはじめ、有名私立大学への合格実績があります。



4年制大学
進学率 2014年 100%

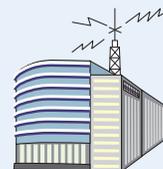
電子工業科を卒業すれば資格が得られるもの

『第三級陸上特殊無線技士』

操作できる範囲

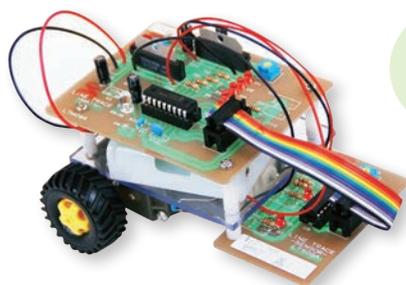
- ① 運輸関係会社などの社内連絡用の無線設備
- ② 銀行など金融機関の警備用の無線設備
- ③ 国や市町村役場の防災対策用の無線設備

電子工業科ですべてのコースで授業の中で通信工学・通信技術系の科目を履修しますので、卒業と同時に免許証が交付されます。



電子総合コース

電子工業科 1年



ライン
トレーサー

電子技術の学習と大学進学を両立。

理数コース以外は高校入試のとき、一括で募集します。それで1年生のときは電子情報、医療電子、デジタルゲーム開発コースをまとめて電子総合と校内では呼んでいます。1年生では学習する教科目はすべて同じでコースの区別はありません。2年に進級するとき、電子情報コース、医療電子コース、デジタルゲーム開発コースに分かれます。分け方は本人の希望、適性、成績を合わせて決められます。このとき、理数コースに入れ替えの条件が合っていれば理数コースを希望することもできます。

1年電子総合時間割例

第2、第4土曜日は学校休業日です。

	月	火	水	木	金	土
1	地理A	国語総合	電気基礎	工業基礎	情報基礎	数学A
2	体育	化学基礎	電気基礎	工業基礎	情報基礎	数学A
3	芸術	生物基礎	体育	数学I	国語総合	英語I
4	芸術	数学A	保健	英語I	化学基礎	英語I
5	電気基礎	英語I	国語総合	生物基礎	柔道	
6	電気基礎	地理A	H.R	国語総合	英語I	
7	数学I	数学I				



工業技術基礎

電子情報コース 2年 3年

エレクトロニクス・ロボット技術を主体とした電子工業科の基本的コース。



電子実習

コースの特長

- 電気・電子回路やコンピュータを学習しながら大阪電気通信大学の工学部、情報通信工学部への進学に有利なコースです。
- 電子工業科の特長を生かし、各種資格取得をめざします。
- 電気回路・電子制御の応用でロボット技術を学びます。

● 特別な専門科目

ロボティクス基礎(4単位)

電通高校オリジナルのロボットを製作・プログラミングして「エレクトロニクス」・「メカニズム」・「IT技術」を身につけます。自分だけのロボットで「作る喜び」と「動かす楽しさ」を感じて自発的に勉強に取り組むことができます。



医療電子コース 2年 3年

全国唯一の個性派コース。

21世紀の最重要テーマを高校から学ぶ。



大学 臨床工学実習室

工学技術の高度化により、心臓手術に必要な人工心肺装置などの生体機能代行装置や生命維持管理装置など、高度医療を支援する技術が医療の現場に導入されています。

高齢化社会の到来により、医療分野や福祉分野における工学技術の果たす役割はこれまで以上に大きくなっています。医療支援、健康支援、福祉支援など、医療福祉の支援技術を総合的に学べるのが、大阪電気通信大学医療福祉工学部です。

医療技術と健康福祉工学の
両方が学べる全国で唯一の学部、
大阪電気通信大学
医療福祉工学部への道

コースの特長

- 主として併設の大阪電気通信大学医療福祉工学部への進学に有利なコースです。
- 医用電子機器の原理と働きを学習し、医療福祉への基礎知識を習得します。
- 併設大学とともに他の理工系大学への進学をめざします。
- 電子工業科の特長を生かし、各種資格取得をめざします。
- 厚生労働省認定 福祉用具専門相談員講座を本校内で開講し、全員取得します。

● 特別な専門科目

『医用電子基礎』(4単位)

身近な医用電子機器の基本的な原理・機能について学習します。具体的には電子体温計、電子血圧計、心電計、X線撮影装置、電気メス、電動車イス等々の原理・機能について学習し、電子技術に関する基礎的な知識と技術を習得します。



電通大見学

電子工業科各コースで
受験できる各種検定試験

- アマチュア無線技士国家試験
- 陸上・海上特殊無線技士国家試験
- ITパスポート試験
- 基本情報技術者試験
- 情報技術検定試験
- パソコン利用技術検定試験
- 第二種電気工事士国家試験
- 実用英語技能検定試験
- 漢字能力検定試験
- 実用数学技能検定試験
- 福祉用具専門相談員

デジタルゲーム開発コース 2年 3年

日本初。高校でゲームを学ぶ。ここにしかない、ユニークなコース。



ゲームプログラミング基礎

全国唯一。 大阪電気通信大学デジタルゲーム学科への道



デジタルゲーム制作の現場において、即戦力となるワーカ―養成プログラムは、これまでも専門学校などで展開されてきました。しかし、デジタルゲームテクノロジーを核として、新たな産業領域を切り開いていく人材を育てるには、幅広い教養と専門領域の深化、さらには創造力や人間性が必要です。

併設の大阪電気通信大学デジタルゲーム学科は、大学として他に先駆けてスタートさせたもので、高等学校の本コースでは強く明確な目的意識を持った人材を育成します。この併設大学デジタルゲーム学科をはじめ、夢を実現できる理工系大学への進学をめざします。

● 特別な専門科目

『ゲームプログラミング基礎』（4単位）

「情報技術基礎」および「電子情報技術」の応用、発展として「ゲームプログラミング基礎」を設けます。ゲームの設計、制作を通して総合的なプログラミング技術を修得します。



ゲーム講座



大阪電通大でのゲーム講座



東京ゲームショー

● 2015年度入試の特待生制度

1 入学金の免除

- ① 入学生の兄弟が本校に在学中の場合は、**入学金を免除**します。
- ② 入学生が双子の場合は、1名分の**入学金を免除**します。

2 入学金の減免

- ① 入学生の父母・兄弟が本校の卒業生の場合は**入学金を半額**とします。
- ② 入学生の兄弟が大阪電気通信大学に在学中の場合は、**入学金を半額**とします。

3 入学生が次の各号の何れかを満たしてあれば、特待生の制度を受けることができます。

- ① 中学校において、次の5教科(国語、数学、英語、理科、社会)の内、3教科の評定合計値が、10段階評価の場合は23以上、5段階評価の場合は12以上であること。ただし、電子工業科に入学する者の教科は、数学、英語及び理科の3教科とする。
- ② 第1次入学試験の成績が、男子の場合は上位20位以内、女子の場合は上位40位以内であること。

平成25年度卒業生の進路状況

25年度卒業生の進路状況は、該当者355名に対し、347名(97.7%)が進路を決めて卒業した。残り8名の内訳は、自営1名、進学を目指し、学資を得る目的でアルバイトをする者2名、浪人し、来年度志望校を目指す者5名である。特に就職については希望者17名全員が決定し、社会人として新たな一歩を踏み出した。

主な合格・進路先等については以下のとおりである。

【主要大学の合格実績】

大阪電通大(197名)、大阪工大(20名)、近畿大(14名)、摂南大(13名)、大阪経法大(8名)、追手門大(6名)、大阪経大(5名)、大阪国際大(5名)、京都産大(4名)、立命館大(3名)、金沢工大(3名)、同志社大(2名)、龍谷大(2名)、大阪府大(1名)、大阪市大(1名)、甲南大(1名)、関西外大(1名)、立正大(1名)等々で、全体では42大学に344名が合格した。

学校法人 大阪電気通信大学

大阪電気通信大学高等学校

〒570-0039 大阪府守口市橋波西之町1-5-18

TEL(06)6992-6261(代) FAX(06)6991-4117

<http://www.dentsu.ed.jp/>

電通高校同窓会 コーナー

「会員の皆さまへ」 ご挨拶



大阪電気通信大学高等学校同窓会
会長 森 強



活動状況など報告する森強会長（平成25年度総会で）

友電会発行の会誌とHPで情報発信

大阪電気通信大学高等学校同窓会会員の皆さま、同窓会会長の森 強でございます。この度、大阪電気通信大学友電会様のご厚意で、友電会誌に高校同窓会の広報用ページを設けて頂くことになりました。今後は、会誌の発行に合わせて高校同窓会事務局から情報発信します。ご期待ください。



また、高校同窓会のHP（ホームページ）につきましても、友電会様のご厚意により、友電会のHPを活用させて頂くことになりました。具体的には、友電会様のHP内に高校同窓会の枠を設置する予定です。

高校同窓会の近況

平成26年度総会懇親会を5月17日（土）、守口市「ホテルアゴーラ」において開催致しました。多くの同窓に参加して頂き有難うございました。当日の様子は、友電会会誌編集の都合上、掲載できませんでしたが、HPに掲載する予定です。

総会では、役員改選を行いました。高校同窓会の役員について、規則に基づき、5月の総会において改選となりました。幹事につきましては、会長の権限で就任して頂けるように認められました。現在の役員・幹事の若返り交代を



挨拶する電通高校の藤田校長（平成25年度総会で）

念じております。友電会の会員様の中には、電通高校出身の方が多くおられます。皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会の事業として、近年、母校の生徒募集に協力しております。具体的な活動として、9月から10月に、関西圏にお住まいの会員に母校の学校案内と母校への志願のお願いの文章等送付しています。大阪府下の高等学校については、公立、私学の授業料差が緩和され、保護者の負担はなくなっています。お子様の高校進学を検討されている方は、母校も検討して頂くようお願いいたします。

また、会員相互の親睦と情報発信につきましては、ネットが活用できる見込みとなりました。若い方々のご参加を期待しています。

「大阪電気通信大学 クラブ同窓会」 平成26年度 通常総会 議案

平成26年6月21日(土) 10:00～

- 会場：寝屋川学舎エデュケーションセンター（J号館）

会友お誘いのうえ、ご家族でのご出席をお待ちしています。
詳細は裏表紙等をご覧ください。

第1号議案 平成25年度事業報告

<平成25年度 活動・運営基本方針>

- ①学生支援事業休止および休止への対応。
- ②組織縮小(幹事および顧問数の削減、京都・大阪・茨城支部の廃止等)。
- ③活動経費の極小化(学生を除き交通費支払い停止、各種資料郵送の廃止等)。
- ④ホームページの拡充による情報発信と経費削減対策。

<活動・運営基本方針への対応>

- ◆ 5月17日：学生支援事業休止に伴い学生部への説明・承認後、学生各団体・クラブへ通知。
- ◆ 5月29日：組織縮小・各顧問辞任に伴う礼状郵送。
- ◆ 3月末日：寄付金受領各位への礼状郵送。
- ◆ 6月2日：「平成25年度 通常総会」を開催(寝屋川キャンパス)。
- ◆ 10月1日：ホームページのFacebookへの切り替え。
- ◆ 11月2日：大学祭協賛「2014 トークショー」を開催(寝屋川キャンパス)。
- ◆ 4～3月：定例・臨時「幹事会」を開催(計6回：4月20日、6月22日、9月14日、11月2日、1月25日、3月8日)。
- ◆ 4～3月：「ホームページ」メンテナンスのための協力学生とのミーティング・共同作業(計7回：4月2日、5月17日、6月8日、8月7日、10月24日、2月10日、3月8日)。
- ◆ 4～3月：学生各団体・クラブおよび関係団体からの要請に対する支援(自治会吹奏楽団の寝屋川国際交流協会主催事業参画への幹旋および定期演奏会後援、高校同窓会総会出席)。
- ◆ 4～3月：学園・学生主催行事等・関係団体等の敬弔時等への出席。
- ◆ 4～3月：クラブ同窓会役員および関係者への寄付金要請。

第2号議案 平成25年度収支決算報告

※次ページに掲載

第3号議案 平成26年度事業計画案

<平成26年度 活動・運営基本方針>

- ①学生支援事業の再開(トークショーを含め、新規支援事業

第4号議案 平成26年度通常総会議案

- 第1号議案 平成25年度事業報告
- 第2号議案 平成25年度収支決算報告
- 第3号議案 平成26年度事業計画案
- 第4号議案 平成26年度収支予算案
- 第5号議案 平成26年度役員案 (各年次は入学年)

を検討)。

- ②組織フラット化および拡大(各団体・クラブOB会への参画勧誘等)。
- ③情報発信の強化(各団体・クラブOB会へのFacebook参画勧誘等)。

<活動・運営基本方針への対応>

- ◆ 6月21日：「平成26年度 通常総会」を開催。
- ◆ 4～3月：大学祭時に限定せず大学祭協賛事業同等の学生向けイベントを開催。
- ◆ 4～3月：定例「幹事会」および「三役会」を開催(計年5～6回)。
- ◆ 4～3月：臨時「幹事会」および「三役会」を開催(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：各OB・OG会参画勧誘強化。
- ◆ 4～3月：Facebookによる情報発信の強化。
- ◆ 4～3月：Facebookメンテナンスのための協力学生とのミーティング・共同作業。
- ◆ 4～3月：学生各団体・クラブとのミーティングを開催(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：学生各団体・クラブおよび関係団体からの要請に対する支援(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：学園・学生主催行事等、関係団体等敬弔時等への出席等(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：クラブ同窓会役員および関係者への寄付金要請。

第4号議案 平成26年度収支予算案

※次ページに掲載

第5号議案 平成26年度役員案 (各年次は入学年、年次順)

<今期は会則第9条(役員の任期)により改選期>

◇役員辞任

- ・幹事：野田哲治 (S37 剣道部)
- ・幹事：藤原公彦 (S39 ワンダーフォーゲル部)

◆幹事(再任)

- ・幹事：中野正三 (S40 卓球部)
- ・幹事：池田 清 (S40 少林寺拳法部)
- ・幹事：野田鐘一 (S41 日本拳法部)
- ・幹事：平岡 臨 (S42 少林寺拳法部)
- ・幹事：志村哲樹 (S42 剣道部)
- ・幹事：大音博司 (S42 柔道部)

- ・幹事：宿谷幸男（S42 空手道部）
- ・幹事：水谷元也（S43 応援団）
- ・幹事：岡本清孝（S44 柔道部）
- ・幹事：木村功一（S44 軽音楽部）
- ・幹事：森 和明（S44 電子計算組織研究会）
- ・幹事：船越 亨（S47 柔道部）
- ・幹事：内野正道（S47 柔道部）
- ・幹事：細川雅巳（S48 少林寺拳法部）
- ・幹事：岡川正寛（S48 柔道部）
- ・幹事：宮條研次（S50 ワンダーフォーゲル部）
- ・幹事：元花 修（S52 少林寺拳法部）
- ・幹事：金野洋明（H06 柔道部）
- ・幹事：村上豊裕（H16 柔道部）
- ・幹事：竹中浩之（H17 柔道部）

◆監査役（再任）

- ・大塚敏兼（S36 ワンダーフォーゲル部）
- ・沖 洋一（S50 電子計算組織研究会）
- ・新川拓也（H01 大学祭実行委員会）

◆学生幹事（再任）

- ・常任自治委員会委員長・副委員長
- ・体育会本部本部長・副本部長
- ・文化会本部本部長・副本部長
- ・大学祭実行委員会委員長・副委員長
- ・生協学生委員会委員長・副委員長

◆顧問（再任）

- ・高岡大造（学生部部長）

以上

■ 平成25年度収支決算報告 <平成25年4月1日～26年3月31日>

(単位：円)

科 目		決 算	予 算	増 減	備 考
収入の部	運営助成金	0	0	0	
	優秀クラブ活動表彰式褒賞金助成	0	0	0	
	寄付金	225,000	200,000	25,000	幹事・他による寄付
	前期繰越金	11,227	11,227	0	
合 計		236,227	211,227	25,000	
支出の部	会議費	0	0	0	
	交通費	14,000	30,000	-16,000	協力学生ミーティング・各事業等
	事務通信費	2,000	3,000	-1,000	郵送・弔電等
	クラブ活動援助金(学生部)	0	0	0	
	大学祭協賛事業費	16,000	0	16,000	トークショー経費
	HP関係費	138,898	130,000	8,898	協力学生アルバイト・サーバ賃借・通信費
	懇親会費	0	0	0	
	慶弔費	30,000	20,000	10,000	学生各団体・関係各団体祝い金等
	雑費	5,000	28,227	-23,227	総会開催経費等
	次期繰越金	30,329	0	30,329	
合 計		236,227	211,227	25,000	

<監査役による監査報告>

大阪電気通信大学クラブ同窓会 平成25年度監査報告書

大阪電気通信大学クラブ同窓会の平成25年度事業報告ならびに平成25年度収支決算報告を監査の結果、何れも会則に従い適正かつ真摯に執行されていることを認めます。

大阪電気通信大学クラブ同窓会

会長 平岡 臨 殿

平成26年4月19日

大阪電気通信大学クラブ同窓会

監査役 大塚 敏兼 (印)

監査役 沖 洋一 (印)

監査役 新川 拓也 (印)

■ 平成26年度収支予算案 <平成26年4月1日～27年3月31日>

(単位：円)

科 目		今期収支予算案	前期実績	増 減	備 考
収入の部	寄付金	200,000	225,000	-25,000	幹事・他による寄付
	前期繰越金	30,329	11,227	19,102	
	合 計	230,329	236,227	-5,898	
支出の部	会議費	0	0	0	
	交通費	30,000	14,000	16,000	協力学生ミーティング・各事業等
	事務通信費	5,000	2,000	3,000	郵送・弔電等
	大学祭協賛事業費	80,000	16,000	64,000	大学祭協賛事業同等の事業経費
	HP関係費	60,000	138,898	-78,898	協力学生アルバイト・サーバ賃借・通信費
	懇親会費	0	0	0	
	慶弔費	30,000	30,000	0	学生各団体・関係各団体祝い金等
	雑費	25,329	5,000	20,329	総会開催経費等
	次期繰越金	0	30,329	-30,329	
合 計		230,329	236,227	-5,898	

平成25年度 大阪電気通信大学友電会

支部 だより

奈良支部 20周年記念総会・講演・研修旅行

～奈良県十津川村・十津川温泉で開催～

平成25年度友電会奈良支部総会が、創設20周年記念総会・講演・一泊研修旅行として、2月15日(土)、16日(日)に奈良県・十津川温泉で開催されました。

総勢20人はJR奈良駅前に朝10時前に集合。奈良交通水耕園を見学後、前夜からの大雪が残る駅前をバスで出発し、夕刻に深い山間の日本一広い村にある十津川温泉に到着しました。約2年半前の十津川豪雨災害の状況についての講演を役場職員から聴いたあと、記念総会と懇親会を盛大に楽しく終えることができました。



記念写真(十津川温泉 ホテル昴で)

奈良から和歌山県新宮市まで通じる国道168号は、道幅が狭く、すべて深い急峻な渓谷の中にあって、途中には緩やかな部分に集落が点在、その中に源泉が豊かに湧く十津川温泉がありました。

国道168号は近鉄大和八木駅から新宮市までの167kmを6時間半かけて奈良交通バスが走っており、日本一長い路線バスとして有名です。今回は脇に雪が積もった国道を奈良交通からチャーターしたバスに乗り、奈良交通営業所長の中前浩也氏(H20)の軽妙な案内ガイドを交えての楽しいバス旅行でした。途中、700年ほど前の鎌倉時代の南朝後醍醐天皇の皇居があった西吉野の「賀名生(あのを)の里」を見学し、また平成23年秋に紀伊半島を襲った台風12号の水害で大きな被害を受けた山腹崩壊の跡を見ながらの旅でした。

◆ 奈良支部総会

十津川温泉到着後、すぐに平成25年度友電会奈良支部総会／懇親会が開催されました。

総会は、吉岡氏の司会で進められ、まず議長に藤田順彦氏(F04)が指名されて平成25年度活動報告と決算報告、さらに平成26年度活動計画と予算および役員案が松井俊樹支部長(I13)から報告説明され、承認されました。

◆ 記念講演会



十津川水害を報告する十津川村役場総務課長の東氏



総会の司会をする吉岡 睦氏(E06左)と松井支部長(右)

記念研修講演は十津川村総務課長の東 武氏による平成23年9月に紀伊半島を襲った台風12号による水害の状況報告が生々しい写真を示しながら30分ほどありました。

今後の復興計画を話し、さらにライフライン、建物被害、人的被害、支援の有り難さ、反省点、今後の復旧と災害対策など多くの教訓について話されました。

第23回友電会びわこ支部総会のご案内

～ 湖国しがの歴史探訪 甲賀の歴史を探る ～

● 総会日程

- ・日 時 2014年(平成26年)7月27日(日) 午前10時～午後5時
- ・会 場 ダイヤモンド滋賀ホテル
甲賀市土山町黒川1711 ☎0748-68-0211
- ・会 費 おひとり様 6,000円
お連れ合い様・ご家族様からはお金は徴収致しません。
- ・申し込みメ切 7月1日(火)
友電会事務局 E-mail:yudenkai@yudenkai.orgまで
- ・問い合わせ 詳細は、友電会事務局までご連絡ください。連絡を受け次第支部からご返事致します。

びわこ支部 支部長 澤居比佐夫

2014年度の総会ハイライト

『昔の道具を使って丸薬づくり体験』&生バンド演奏

琵琶湖の南部に位置する甲賀市は、東国と京(都)を結ぶ政治的・軍事的に重要な交通路でした。徳川家康は、東海道五十三次を整備し、甲賀市には「土山宿」と「水口宿」が設けられました。甲賀市には甲賀流忍術が伝わっていました。忍者たちは薬草を育て、独自で加工し、さまざまな生薬を生み出していたといわれています。今回は、忍者の暮らしていた所に思いを馳せ、丸薬づくりを計画しています。会場を鈴鹿山麓に移し、大自然に包まれたリゾート地で総会・懇親会と友電会員のザ・ブルーサンダーボーイズによる演奏を予定しています。

東海総支部 新春ボウリング大会・新年会

明治22年（1889年）に同じ規模の災害が起こり、これを契機に2,500人程の村人が北海道に移住して現在十津川町ができており、そこからも救援を受けたという。急峻な山に囲まれた過疎の町では、連絡の途絶えた災害時には村民の結束と助け合いが必要であること、とくにアマチュア無線が非常に役に立ったと話していました。

◆ 懇親会



松井奈良支部長の挨拶

講演会後の懇親会は、松井俊樹支部長から20周年記念支部総会の企画について早くから準備し、このような企画ができたこと、また災害地への見舞い研修を兼ねたので県から補助が出た

ことについて関係者に感謝するとの挨拶があったあと、安弘友電会事務局長の乾杯で歓談の宴が始まった。最後は全員で大学歌の合唱と一本締め手拍子で宴を締めくくり、懇親会を終わった。

◆ 帰りのツアー

帰りは、険しい国道168号から熊野街道を走り、その昔京都の貴族・公家達も険しい山を越えて詣でた熊野本宮大社に行き、全員で参拝



熊野三山の一つ熊野本宮大社前での参拝記念写真

した。昼食は田辺市でとり、白浜海岸をバスでぐるっと巡って帰路につきました。午後5時頃には奈良大和八木駅に着いて楽しい旅を終え、各自土産と奈良交通から提供された水耕栽培の生野菜を手に持って解散しました。



ボウリングに興じる参加者

大阪電気通信大学友電会・東海総支部は2月22日（土）、名古屋市スポーツ名古屋で新春ボウリング大会を行い、その後、札幌ビール浩養園で新年会を行いました。10人が参加しました。

昨年、親睦を深めるイベントとしてボウリングを行ったところ大好評で、今年から「新春ボウリング大会」と名付け、恒例行事とすることにしました。優勝は山下友彦（J15）さん、第2位は藤田英治（E22）さん、第3位は宮條研次（F15）さんでした。

ボウリング終了後、札幌ビール浩養園で新年会を行いました。副支部長の榊原秀之（H13）さんの乾杯の音頭でスタートし、会話が弾んであっという間の2時間が過ぎました。



新年会

平成26年度 神戸支部総会・懇親会の開催案内

大阪電気通信大学友電会の神戸支部は「平成26年度友電会神戸支部総会」を、7月26日（土）、神戸三宮にある「ホテル神戸東急イン」で開催します。当日は母校・大阪電気通信大学名誉教授の須崎 渉先生による『半導体レーザよもやま話』と題する講演と、トランペット奏者・神崎さおりさんのコンサートも開いて、ご家族共々楽しめる会としますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

日 時：平成26年7月26日（土）
13時30分～17時（13時～受付）

会 場：ホテル神戸東急イン
（JR、阪神、阪急、地下鉄 三宮駅下車、東へ徒歩5分）

会 費：会員 6,000円、同伴者、家族は無料



【須崎 渉名誉教授 略歴】

1961年京都大学工学部電子工学科卒業、三菱電機入社。主に半導体レーザの研究開発・実用化に従事し、LSI研究所（88年から光マイクロ波研究所）光デバイス開発部長、技術研修所半導体工学教室室長を歴任。94年同社を退職し、大阪電気通信大学工学部電子工学科教授に就任。2009年3月定年退職後、名誉教授。現在、応用物理学会および電子情報通信学会フェロー。



【神崎さおりさん 略歴】

中学時代よりトランペットを始め、現在社会人ジャズビッグバンドなどで活躍中。ピアニスト安藤義則先生経営のグレートブルーのジャズライブに出演。当日の演奏予定は、What a wonderful world、星に願いを、Summer Time、Bitter Sweet Samaba、セントルイスブルースなど。



カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)

友電会主催の「第34回海外教育研修制度」は情報工学科のヒルド・ミハエル教授を随行団長として24名が、3月1日、関西国際空港からカナダ・バンクーバーに出発して、約4週間にわたりカナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)でホームステイをしながら語学研修を無事終えて3月30日帰国しました。以下、ヒルド・ミハエル先生の随行報告を要約して記述しました。



▲ 関空を出発する研修団

■ 結団式



団長のヒルド・ミハエル教授

参加する学生らによる結団式は2月19日、寝屋川キャンパスの大会議室で行われ、橘 邦英学長、引率のヒルド・ミハエル団長(情報工学科教授)、友電会の池本善一事業部長らが出席しました。引率のヒルド団長は「前向きな姿勢で外国の文化に触れてほしい」と挨拶し、これに研修参加学生を代表して医療福祉工学科2年、三宅隆一郎君が学生らしく明るく元気に語学の研修と国際感覚の修得を目指すことを宣誓しました。



橘学長に宣誓する三宅君

研修団一行の24名は3月1日朝、参加学生の家族や友電会の池本事業部長と柴垣理事らに見送られて、関西国際空港からカナダ・バンクーバーに向かいました。

■ バンクーバー観光と研修開始

▶ ELI 研修方針

バンクーバーに到着後、学生は2時間ほどのバスツアーに参加



スタンレー公園

し、バンクーバー市内で主な目印となる場所や建物、スタンレー公園やグランビル・アイランドを見学した後、学生たちはそれぞれのホストファミリーに迎えられた。

学生たちは約4週間UBC内にある「English Language Center」(ELI) において、リスニング・テスト、オーラル・テストを受けた後、語学研修が始まりましたが、まず「English for the Global Citizen」(グローバルな国際人の英語)という本学学生が参加する語学コースの参加者全員を対象とする歓迎昼食会がありました。

このコースの目標は、「English for the Global Citizen」というもので、学生達の言語学習を改良し、それに加えて、ELIが定義する「グローバルな国際人」としての自らの役割を理解させることでした。

▶ 語学コースの授業について

月曜から木曜まで、語学コースは3時間半の午前のセッションおよび2時間15分間の午後のセッションから成っていました。コースで取り上げられたテーマには「異文化間コミュニケーション」「食糧の政治」「人権」「消費主義」などがありました。

コースは、学生が英文を読むこと、英文を書くこと、英語で話すこと、英語を聞き取ることの練習ができるようにプログラムされており、各クラスでは、学生が多くの質問に答え、グループディスカッションやロールプレイングに参加することになっていました。受動的に授業を受けるのではなく、非常に積極的に授業に取り組む必要があるものでした。

教室外の活動も多く行われ、中には現地の原住民文化について学び、UBCのキャンパス内でカナダの原住民の歴史を展示する「民族学博物館」を見学すること、またキャンパスの通りで通行人にインタビューを行い、回答を記録することなどもありました。英語で発表するには、かなりの勇気が必要であり、このような場で英語で意見を表明できるようになったことに感動しました。

▶ 週末の活動はスキーなどに

自由時間、本学学生たちは次のようなさまざまな活動に取り組み楽しんでいました。

土曜日はバンクーバーの約50km北方に位置しているウィス



海外教育研修 報告



バンクーバー島巡りの船上



ビクトリア市内観光

ラスキー場でスキーを楽しみ、ブリティッシュ・コロンビアの首都「ビクトリア市」の見学やアイスホッケーのナイトゲームをバンクーバーのアリーナで観戦もしていました。



バンクーバー島で

これらの自由時間の活動をするために、自然にグループが形成され、最初は本学学生たちばかりが、時間の経過に伴って、他大学からの留学生も含めて次第に新しい友人を増やしていき、さらに、人々に英語で挨拶し、食物や飲み物を注文する際の自信が次第に上がってきたことを見て嬉しく思いました。

▶ 成果と発表について

語学コース最後の金曜日に、それぞれの学生グループは、この4週間で学んだことに関して幅広いテーマでポスターを作成し、英語でプレゼンテーションを行いました。英語に自信のなかった学生たちも含め、全員が英語による発表ができたことは、喜ばしいことでありましたが、閉会式と昼食でコースは終了しました。

参加学生はホストファミリーとともに暮らすという刺激的な経

験で満たされた4週間を過ごした語学研修の旅から、これまでの自国での勉強や生活からは得られなかった新しい「何か」を獲得しており、それには彼らの人生において、いつまでも続く影響力があると確信しています。



研修を終えバンクーバー国際空港から帰国の途につく

英語コースの主任教員 Sylvia Ozbaltさんおよびコースの有能な教員全員に対して感謝いたします。INETSの山下氏は、学生に常にあたたかく接していただき、この語学研修の成功に大きく貢献してくださいました。また、この語学研修を長年にわたり主催していただいている友電会のメンバーの皆様には、心からの感謝の気持ちで一杯です。

関西国際空港に無事到着した研修団



中学校技術家庭科教材 プログラムによる計測・制御の学習に最適!

自律型ロボット製作キット
ティ・ジェイ・スリー・ビー

TJ3B

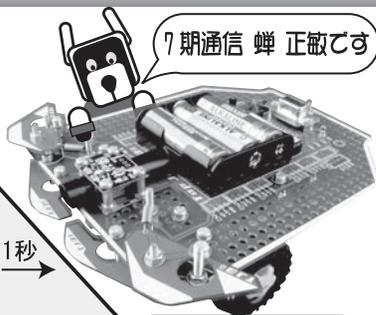
C-Style

1秒前進プログラム例



アイコンを選ぶだけで簡単プログラミング

7期通信 蝉 正敏です



<http://www.daisendenshi.com>

大阪 日本橋 株式会社タイセン電子工業 TEL 06-6631-5553

株式会社 オンテック

ONTEC CO.,LTD.

プリント回路関連事業

- プリント基板設計事業
- プリント基板製造事業
- プリント基板実装事業
- EDMS事業

システムソリューション事業

- エンベデッド事業
- ビデオコミュニケーション事業
- 特機事業

本社

〒564-0062
大阪府吹田市垂水町3-20-27
TEL 06-6338-8581
FAX 06-6338-8593

<http://www.ontec.co.jp>

最 終 講 義



最終講義 01

工学部 電気電子工学科 橘 邦英 教授

「本学での3年間の教員生活をもとに」～OECU型教育モデルの構築を目指して～



私が京都大学の大学院にいたのは、ちょうど学園紛争が始まった頃で、教授は、今の理事長の福田國彌先生でした。博士課程を終えたとき、先生の研究室の助手は満杯で、東芝の総合研究所電子部品研究所に入りました。

京都大学では電子物性工学専攻教授となり、2009年まで在籍しました。同年にオーム社から出版された「マイクロプラズマ」と「大気圧プラズマ」には、それまでの研究の集大成として関わることができました。

京大定年後は愛媛大学プラズマ・光科学研究推進室で「オレンジ・プラズマ・フロンティア in 愛媛」というプロジェクトに関わり、医療や水産業などの地場産業におけるプラズマや光の新しい応用の開拓を目指しました。

11年に大阪電気通信大学に赴任し、12年に学長に就任。「変える・変わる」OECU-V作戦を提唱しています。OECUはOriginal・Education and・Career-design・Utility System for Victorious Recovery…基礎学力の確保など4つの課題と4ステップ(ときめき→実践→感動→発展)の実学教育、右脳を活用した実学教育。①(手)手が動かせる②(頭)絵が描ける③(心)コミュニケーションができる…実学の3つの力をつけて欲しいと思います。

最後に、座右の銘として、教育というものの神髄は「若き心に宿る天性の好奇心を呼び覚ます技芸」に他ならない。「少年老い易く学成り難し」— この40年の感慨です。

【略歴】

1968年京都大学工学部機械工学科卒業。73年京都大学大学院工学研究科博士課程機械工学第二専攻単位修得退学、東京芝浦電気(株)、京都大学教授、愛媛大学教授などを経て11年大阪電気通信大学工学部電気電子工学科教授。12年4月学長に就任、任期は16年3月まで。

最終講義 02

工学部 電気電子工学科 越川 孝範 教授

「電子ビーム・イオンビームに魅せられて」



私は広島県呉市で生まれ、京都で育ちました。大阪大学の大学院(応用物理学専攻修士・博士課程)では、マイナーなテーマの二次電子の研究に取り組みましたが、これが電子ビームとの最初の出会いでした。当時、外国人がよくやって来て、観光案内の役目がまわって来ましたが、外国人とのコンタクトに慣れ、これが後に大変役に立つことになりました。

縁あって大阪電気通信大学に赴任しましたが、当時、菅田栄治先生にお世話になりました。ただ、新学科が設立されたばかりで、「部屋なし・予算なし・装置なし」…研究室は大阪府立大から来た宮越先生と同居でした。

間もなく79年4月から1年間、フンボルト財団の給費生としてドイツClausthal工科大学(E.Bauer研究室)で研究員生活を送り、研究所めぐりをしましたが、装置が充実

しているのには驚きました。これまでやって来た研究とは違ったことを経験する機会となり、その後の研究のテーマに大きな影響を与えました。

1990年代には、大型予算による低エネルギー電子顕微鏡(LEEM)などの研究が始まりました。2001年には光電子顕微鏡の分解能向上の研究、そして高輝度高偏極SPLEEM開発プロジェクトへと進みます。

趣味はスキー、ソフトボール、山歩きなど。オーストリアで3,500m級の山に登ったこともあります。最近では日本古代史、古事記、日本書紀など、歴史に関する本を読むようになりました。わが国の成り立ちはどうなっていたのかということを見ると、自分は何をやって来たのかと考えてみるようになりました。

【略歴】

1969年大阪大学工学部応用物理学専攻卒業。71年大阪大学工学研究科応用物理学専攻修士課程、74年同博士課程修了、大阪電気通信大学短期大学部非常勤講師。75年同工学部応用電子工学科専任講師。77年助教授、82年教授。

母校・大阪電気通信大学を3月末で定年退職する4教授が、2月から3月にかけて寝屋川キャンパスで最終講義を行いました。

最終講義

03

工学部 電子機械工学科 木村 一郎 教授

「人、運、恥…」～42年を振り返って～



卒業後入った会社を、1年で辞めたのは面白くなかったから。20歳代であればやり直しがきくと思って、大学院に進学しました。大学院を終えて当初は大学に残ることは考えていませんでしたが、結局、残ることにしました。

それで、フルイディクス(機械的な可動部を持たず流体のみで流れを制御する機械素子)の研究を始めるわけです。大阪電気通信大学に移ってから、国際会議で盛んに発表しました。手を挙げたのに英語が出てこないというような失敗もありましたが、恥をかくことを恐れてはいけません。積極的に質問するには準備が必要です。何でも勉強してやろう…と取り組めたのは、計測工学出身の強みだったのかもしれませんが。

共同研究について若い先生に一言。研究内容によって

違うけれども、本学のように教員ごとに研究室が独立している場合は、積極的に共同研究を進めることが必要だと思います。

計測工学科の幅広さのお陰で、面白さのままに研究を進めてきましたが、これも学生諸君のお陰でもあると思います。電子機械工学科の皆さんは、社会に出たら嘘でもいいから「電気も機械もわかります」と言って欲しい。後で一生懸命勉強したらいいのだから。

そこで、タイトルのお話ですが：

人：ほとんどの人に感謝している。

運：運は準備が必要。まわってきた時に取れるかどうかだ。

恥：恥をかくことを恐れるな。タフであれ。

【略歴】

1968年神戸大学 工学部計測工学科卒業、光洋精工(株)入社。72年神戸大学大学院工学研究科計測工学専攻修士課程修了。同大助手、助教授を経て93年大阪電気通信大学工学部電子機械工学科教授。

最終講義

04

人間科学研究センター 小田 康徳 教授

「公害問題史と近代地域史研究」～研究生活を振り返る～



私の公害問題史の研究は1971年に関西大学大学院に移ったのが始まりです。小山仁示先生の「歴史をやらぬか」との思いもよらぬ問題提起に「おもしろいですね」と言ってしまったんです。そこで、大阪をやるうということになって、

図書館で新聞を調べることから始めました。

地域研究史への関わりは、73年に博士課程に進むと同時に和歌山市史編纂室嘱託に採用されてからです。和歌山に下宿して、旧村役場の膨大な行政文書を調べることから始めましたが、休みの日は自転車で走りまわり、道を覚え、言葉を覚え、地元の人と気持ちが通い合うことの大切さを知りました。

81年に大阪に居を移し、大阪市史料調査会で「明治前期大阪編年史」の再編纂事業に従事しました。朝から晩まで

新聞を調べましたが、これは大阪電気通信大学に来てからも、お願いして続けました。

「資料を通して事実を知る」…これが、長い研究生活で得た原則であり、大事にしなければならぬことだと思います。いままでやってきたことを1冊の本にまとめた記録が、きのう届きました。書き残したこともあります。自分という人間の現時点における客観的総括のための材料をまとめて提供することも必要と考えたからです。



【略歴】

1970年大阪大学文学部史学会国史学専攻卒業。73年関西大学大学院文学研究科日本史学修士課程修了、76年同博士課程所定単位取得退学。和歌山市史編纂室、大阪市史料調査会などを経て、84年大阪電気通信大学講師。95年教授。

友電会 50年の歩み

新世代と共に 新たな未来に向かおう



友電会 学史編さん室

室長 中西義一

■ 大学の使命を果たしてきた卒業生

今春、第50期生が卒業、友電会は50周年を迎えました。母校で培われた建学精神を礎として、卒業生はこの半世紀、国内はもとより世界で活躍、あらゆる分野で「大学の社会的使命」を果たしてきました。

母校の建学精神は、「技術者の養成は 要するに人間性の育成である」（初代学長、故道田貞治先生）。この精神を引き継ぎ、発展させ、「学風」を育ててゆくのは、教職員と共に、大学の主体である「学生」です。その歴史を伝えることは、卒業生である私達同窓の役割でもあります。

■ 歴史をひも解くのは母校愛を育む礎

それは、▽草創期の建学の理想、▽学園発展の原点とその軌

跡、▽教育の推進と教学での先生方の努力、また、▽独創的研究の発露たる学問業績、▽自治活動やクラブ・サークルに通じた学生意識の高揚であり、▽卒業生の就職進路、▽産学共同や地域社会への貢献などで、大学の社会的使命達成への源流です。そのことが、私達の土台を検証する道へとつながることになるわけです。

歴史をひも解くには、なによりも、私達同窓の「友電会の成り立ちと、活動」、その礎となった「学園、大学の変遷と飛躍」の記録が必要です。それが「母校の未来への提言」につながり、ひいては「母校愛」を、さらに育む礎になります。

■ 未来を拓く姿を示そう

歴史“history”の語源は、探求“historia”だそうですが、友電会学史編さん室ではこの数年、「私達の土台、母校・友電会の関連資料の収集」しつつ、「将来へ向けた動画記録を残すべき」との発想で、資料と記録を少しずつ確保してきました。今回は友電会の歴史に限定しました。

輝かしい歴史と伝統を振り返り、友電会の本質を再認識すると共に、新世代の同窓と共に、未来を切り拓く姿を世に示していきたいと願っています。

大阪電気通信大学友電会 歴代会長



初代会長 岡部信郎(故)



二代会長 松本圭右(故)



三代会長 宮本公明



四代会長 中西義一



五代会長 白井 宏



六代会長 中橋克征(故)



七代会長 中西義一



八代会長 中山 修



九代会長 羽瀨完俊



十代会長 猿渡 洋

友電会のシンボルマーク

友電会のシンボルマークは「電子の雲」

校友会として発足した同窓会は、愛称の友電会を正式名称に決定。同時に会のシンボルを決めた。母校の学章、飛燕をモデルに「中心に真珠(原子核)」をおき、そのまわりをめぐる「3本の銀の楕円(電子雲)で囲んだ」マーク。

このことは「建学の精神は同窓が守るという気概」をしめしている。



▶1965年度(昭和40年)

- ・工学部初の卒業生(電子93名、通信31名)
- ・同窓会組織「大阪電気通信大学校友会」として発足(「大阪電気通信大学友電会」に改称)
- ・初代会長に岡部信郎氏(故)が就任
- ・会報第1号「遊電会」(愛称)を発刊
- ・第1回友電会総会が成立

▶1966年度(昭和41年度)

- ・会報第2号「友電会」を発刊
- ・学生自治会の歌「燕翼歌」が完成
- ・友電会会長ほか役員辞任。友電会空白の時代

▶1967年度(昭和42年度)

- ・第2代会長に松本圭右氏が就任
- ・学生の学術交歓隊が欧州12カ国を訪問

▶1968年度(昭和43年度)

- ・友電会のシンボルマーク“電子軌道のマーク”に決定
- ・この年から卒業記念品としてシンボルネクタイピンを贈呈
- ・大阪電気通信大学大学歌「浪速の東」制定
- ・友電会名簿(ファイル形式)を発刊
- ・会報(新聞形式)「ゆうでんかい」第1号を発刊

▶1969年度(昭和44年度)

- ・会報(新聞形式)「ゆうでんかい」第2号を発刊
- ・友電会総会を大阪市内で開催するが不成立。懇親会に変更
- ・電子物性工学科(49名)、電子機械工学科(49名)、経営工学科(53名)の3学科初の卒業生

▶1970年度(昭和45年度)

- ・第1回東西電気通信大学“電々戦”開催

▶1971年度(昭和46年度)

- ・淀都4大学戦(体育会)加盟

▶1972年度(昭和47年度)

- ・卒業生代表「学校法人評議員」に関する見解を正式に大学理事会に申し入れる

▶1973年度(昭和48年度)

- ・友電会拡大評議員会を開催、友電会定款を制定
- ・第3代友電会会長に宮本公明氏が就任
- ・大学祭期間中に母校でOBと学生との懇談会開催。約400名参加
- ・学校法人評議員に友電会代表として3名を送る

▶1974年度(昭和49年度)

- ・友電会関東支部設立。設立総会に約100名出席
- ・会誌「ゆうでんかい」を復刊。第3号を発刊
- ・友電会関東支部が支部名簿・支部会誌(新聞形式)発刊

▶1975年度(昭和50年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第4号を友電会創立10周年記念号として発刊
- ・友電会創立10周年記念「全会員名簿」を発刊。会員数約7,000名

▶1976年度(昭和51年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第5号発刊。約150ページの増大号

▶1977年度(昭和52年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第6、7号を発刊。現在の会誌の形態になる。年2回刊となる
- ・大学祭時に「第1回エレクトロニクス展」(後援)開催。(現在も継続)
- ・卒研生向けの第1回友電会定期講演会(就職関係)開催。(現在も継続)
- ・第1回友電会杯卒研室対抗球技大会(ソフトボール大会)開く。(現在も継続)

▶1978年度(昭和53年度)

- ・第4代会長に中西義一氏が就任
- ・会誌「ゆうでんかい」第8、9、10号を発刊。年3回刊となる
- ・海外教育研修制度を導入。入学時に加入し、約3年間費用を積み立て、3回生の2月から3月にかけて約1ヶ月間、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学に留学
- ・在学生短期貸付制度を設ける
- ・「友電会ハムクラブ」発足

▶1979年度(昭和54年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第11、12、13号を発刊
- ・大学祭時に来学の友電会会員のための「友電会サロン」を学内に開設。親睦会を開催。約70名が出席
- ・精密工学科(121名)、応用電子工学科(123名)の2学科初の卒業生
- ・学校法人評議員に友電会代表4名(前期は5名)を送る

▶1980年度(昭和55年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第14、15、16、17号を発刊。年4回となる
- ・友電会創立15周年記念「全会員名簿」を発刊
- ・会創立15周年記念総会を大阪市・中津の東洋ホテルで開催。約200名が出席
- ・会創立15周年記念講演会を総会時に開催。講師に薬師寺高田好胤管長招く
- ・友電会ハムクラブ主催の「第1回ハムコンテスト」開催

▶1981年度(昭和56年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第18、19、20、21号を発刊
- ・友電会東海支部設立
- ・第1回海外教育研修団出発。63名の学生が参加
- ・学校法人評議員の友電会代表5名(前期は4名)を送る

▶1982年度(昭和57年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第22、23、24号を発刊
- ・友電会中国支部設立
- ・友電会法人化原案を作成

▶1983年度(昭和58年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第26、27、28号を発刊
- ・友電会法人準備金積み立て開始
- ・後援会と協同で在学生奨学金制度を発足
- ・学校法人理事、同評議員の友電会代表5名を送る

▶1984年度(昭和59年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第29、30、31号を発刊
- ・弁護士、公認会計士選任



友電会 50年の歩み

・東海支部ハムクラブ発足

▶1985年度(昭和60年度)

- ・第5代会長に臼井 宏氏が就任
- ・会誌「ゆうでんかい」第32、33、34号を発刊
- ・友電会創立20周年記念「全会員名簿」を発刊
- ・学校法人理事1名、同評議員3名の友電会代表を送る

▶1986年度(昭和61年度)

- ・第6代会長に中橋克征氏が就任
- ・会誌「ゆうでんかい」第35、36、37、38号を発刊
- ・「母校の現状と未来を語る」をテーマに、学長・理事長を中心に友電会役員と座談会を開催
- ・「母校の教育・研究のあり方」をテーマに、友電会会員で他の大学の先生を招き、理事長・学長を囲んで座談会を開催
- ・「母校に対する提案、後輩のために」をテーマに、第23期卒業生による座談会開催
- ・今年度より卒業謝恩パーティーを開催(後援、前年度までネクタイピンを記念品として贈呈)

▶1987年度(昭和62年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第39、40、41、42号を発刊
- ・昭和62年度総会をJR大阪駅前の大阪ヒルトンホテルで「母校創立25周年記念パーティー」を兼ねて開催。出席者は310名と過去最高となった
- ・母校の創立25周年記念募金に全面的に協力
- ・四條畷キャンパスが完成
- ・「第1回友電会会長杯ゴルフコンペ」を開催
- ・卒業謝恩パーティー後援
- ・母校の創立25周年記念誌「翔ぶ」の編集企画に参画
- ・同窓会東京事務所(友電会関東支部事務所)を開設
- ・海外教育研修制度の報告誌「心のカナダ」発刊
- ・学校法人理事1名、同評議員5名の友電会代表を送る

▶1988年度(昭和63年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第43、44、45号を発刊
- ・昭和63年度総会をJR大阪駅の大阪ターミナルホテルで「母校創立25周年記念パーティー」を兼ねて開催
- ・「母校の発展」をテーマに、校友会と共催でパネルディスカッションを開催

▶1989年度(平成元年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第46、47、48号を発刊
- ・平成元年度総会をJR大阪駅前の大阪ヒルトンホテルで「母校創立25周年記念パーティー」を兼ねて開催。過去最高の約600名が出席
- ・「大阪電気通信大学クラブOB会」を設立。友電会総会時に設立総会を開催
- ・第1回友電会支部長会を開催
- ・海外教育研修制度10周年記念事業を開催。カナダで謝恩パーティー

▶1990年度(平成2年度)

- ・友電会創立25周年

- ・平成2年度友電会総会を、名門大洋フェリー「ニューペガサス」(約1万トン)を貸り切り、大阪湾をクルージングしながら、「友電会創立25周年記念パーティー」を兼ねて開催。過去最高の約840名が出席
- ・会創立25周年を記念して「平成2年度版全会員名簿」を発刊。会員数は約20,000名となる。従来の50音順、研究室別に加え、クラブ別、地区別の索引を設ける

- ・会創立25周年を記念して、OBが勤務する企業を対象に、在学生とOB、OB相互のコミュニケーションを図る情報誌「活躍する大阪電通大OB」を創刊

- ・同情報誌の発刊を記念して、記念講演会・パーティーを開催。同情報誌に掲載の企業に在籍するOB約200名、在学生約100名(4回生)が出席、コミュニケーションを図る

- ・会誌「ゆうでんかい」第49、50号を発刊

- ・第2回支部長会を開催

▶1991年度(平成3年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第51、52、53、54号を発刊

- ・情報誌「91活躍する大阪電通大OB」(第2号)を発刊

- ・学校法人理事1名、同評議員を友電会代表として5名送る

- ・平成3年度総会を「母校創立30周年記念パーティー」を兼ねて開催。JRの専用列車を貸し切り、ミステリー列車「大阪電通大号」として運行。目的地の近江舞子で開く。約400名が出席

- ・第3回支部長会を開催

- ・卒研室対抗球技大会を「第15回記念大会」として開催。小林研が優勝
- ・母校学園創立50周年記念事業に参加。寄付金および記念品(時計)を贈呈

▶1992年度(平成4年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第55、56、57、58号発刊

- ・情報誌「92活躍する大阪電通大OB」(第3号)発刊

- ・同情報誌に掲載の企業に勤務するOBと在学生との交流会を開催。OB約100名、在学生約100名が出席

- ・「平成4年度総会」を母校四條畷キャンパスのキャンパスプラザで園遊会形式で開催。約300名が出席

- ・「母校緑化運動」展開(初年度)。総会で記念植樹。四條畷キャンパス体育館前にシダレ桜植樹

- ・総会で寝屋川キャンパスに福利厚生施設建設(建設費約1億円)が承認される。建設に着手

- ・第4回支部長会開催

- ・第16回卒研室対抗球技大会で小林研が3連覇成し遂げる

- ・「新潟支部」発足

- ・「びわこ支部」発足

- ・関東支部「茨城ランチ」発足

- ・東海支部が5年ぶりに総会を開催

- ・大学院(前期課程)第1期生卒

▶1993年度(平成5年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第59、60、61、62号発刊

- ・情報誌「93活躍する大阪電通大OB」(第4号)発刊



- ・「OBと在学生との交流会」を寝屋川キャンパスの図書館小ホールで3日間にわたって開催。OB約80社、約160名が参加。4回生と短大2回生を中心に約300名参加
- ・淀都5大学戦、第30回記念大会。最終戦となる。母校の主催
- ・P号館横に建設していた福利厚生施設「WING」(カフェレストラン)完成
- ・平成5年度総会は「WING」の完成を記念して、「WING」とその周辺のグラウンドで開催。約300名が出席。母校に寄贈
- ・第5回支部長会を開催
- ・「奈良支部」発足
- ・「石川支部」発足
- ・学校法人理事、同評議員の改選。会を代表して理事1名、評議員5名送る。

▶1994年度(平成6年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第63、64、65号発刊(阪神淡路大震災により、3回刊とする。1発刊分は、大震災の義援金に振り向ける)
- ・情報誌「'94活躍する大阪電通大OB」(第5号)4月に発刊
- ・「OBと在学生との交流会」を寝屋川キャンパスの図書館小ホールで2日間にわたって開催
- ・平成6年度総会を大阪市内のホテルで開催。約200名出席
- ・第6回支部長会開催(6月)

[大震災関係]

- ・65号は大震災特集号として、会員、在学生、教職員の被災状況等について掲載した
- ・被災在学生を対象とした特別奨学金制度を設ける
- ・被災学生19名に特別奨学金15万円ずつ贈る

▶1995年度(平成7年度)

- ・会創立30周年を迎える。会員数は25,000名に。大震災を鑑み式典は取りやめる
- ・会誌「ゆうでんかい」第66、67、68号発刊
- ・情報誌「'95活躍する大阪電通大OB」(第6号)4月に発刊
- ・平成7年度総会は阪神淡路大震災を鑑み母校・寝屋川キャンパスで自粛して交流会を開催(6月)
- ・「姫路支部」発足
- ・支部長会開催(6、9月の2回開催)
- ・「友電会 JCBカード」を設ける

▶1996年度(平成8年度)

- ・平成8年度総会を会創立30周年記念式典を兼ねて6月に開催。(30周年の平成7年度は阪神淡路大震災を鑑み式典を取りやめる)
- ・会誌「ゆうでんかい」第69、70号発刊
- ・情報誌「'96活躍する大阪電通大OB」(第7号)4月に発刊
- ・パソコン通信による「大阪電通大・友電会ネットワーク」開設。7月サービス開始
- ・「神戸支部」発足
- ・第20回記念卒研室対抗ソフトボール大会を開催
- ・支部長会開催(6、9月の2回開催)

▶1997年度(平成9年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第71、72、73号発刊
- ・情報誌「'97活躍する大阪電通大OB」(第8号)4月発刊
- ・平成9年度総会を四條畷キャンパスで開催
- ・大学祭時に「ゲームクリエイターは語る」のテーマでパネルディスカッション開催。学生、高校生等1,000名来場
- ・第21回卒研室対抗ソフトボール大会を開催
- ・支部長会開催(3回)

▶1998年度(平成10年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第74、75、76号発刊
- ・情報誌「'98活躍する大阪電通大OB」(第9号)4月発刊
- ・平成10年度総会をシーバル須磨で神戸支部共催のもと開催
- ・第7代会長に中西義一氏が就任
- ・福利厚生施設「WING」にパソコンルームを学生に開放
- ・第22回卒研室対抗ソフトボール大会を開催
- ・インターネットのホームページ(会独自)を開設
- ・支部長会開催(3回)

▶1999年度(平成11年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第77、78、79号発刊
- ・情報誌「'99活躍する大阪電通大OB」(第10号)4月発刊
- ・平成11年度総会を寝屋川キャンパスで開催
- ・母校の21世紀記念事業に協力
- ・「同窓会21世紀記念事業委員会」を発足
- ・第23回卒研室対抗ソフトボール大会を開催
- ・支部長会開催(2回)

▶2000年度(平成12年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第80、81、82号発刊
- ・情報誌「'2000活躍する大阪電通大OB」(第11号)6月発刊
- ・平成12年度総会をホテルヒルトン大阪で開催
- ・第8代会長に中山 修氏が就任
- ・「第21回海外教育研修」カナダのUBCへ。さらに、現地UBCにて「21周年記念式典」を開催
- ・支部長会開催(2回)

▶2001年度(平成13年度)

- ・会誌「ゆうでんかい」第83、84、85号発刊
- ・平成13年度総会をびわこ湖上で、びわこ支部共催のもと開催
- ・第25回卒研室対抗ソフトボール大会を開催
- ・支部長会を開催(2回)

▶2002年度(平成14年度)

- ・友電会総会を拡充進む四條畷キャンパスで開催(6月23日)キャンパスの見学会兼ねる懇親会を在学生の父母の会「後援会」、母校・教職員のOB会「緑樹会」と共催
- ・会誌「ゆうでんかい」第86、87、88号発刊(86号から現在の形態のA4判となる)

▶2003年度(平成15年度)

- ・友電会総会を京阪電車・守口駅前の「ロイヤルパインズホテル」で開



友電会 50年の歩み

1965年度(昭和40年) ▶ 2013年度(平成25年度)

催(6月21日)、懇親会を母校・学園の発展を願って4同窓会が共催、学園教職員OB会「緑樹会」、高等学校同窓会、短大同窓会「校友会」、友電会の4団体

- ・会誌「ゆうでんかい」第89、90、91号発刊
- ・21世紀にふさわしい同窓会組織を創造することを目的とした「新生友電会構想委員会」が会長の諮問機関として発足(11月)
- ・「クラブ同窓会」(クラブOB会を改名し、再スタート)が発足(11月5日)

▶2004年度(平成16年度)

- ・友電会創立40周年。会員数は3万5,870人となる友電会総会を母校・四條畷キャンパスで開催(6月26日)、懇親会を学園教職員OB会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体共催会誌「ゆうでんかい」第92、93、94号発刊

▶2005年度(平成17年度)

- ・友電会総会を母校・高宮キャンパスの新築実験棟で開催(6月25日)、懇親会は寝屋川キャンパスの中庭で開催、学園教職員OB会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体共催
- ・会誌「ゆうでんかい」第95、96、97号発刊
- ・「新生友電会構想委員会」の答申を受け、「新生友電会推進委員会」が発足(11月)
- ・平成17年4月25日朝、兵庫県尼崎市で発生したJR福知山線快速電車脱線事故で、母校学生2名の尊い命が奪われる

▶2006年度(平成18年度)

- ・友電会総会をJR大阪駅北口から5分の「大阪弥生会館」で開催(6月24日)、学園教職員OB会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体共催
- ・第9代会長に羽瀨完俊氏(E01)が就任
- ・会誌「ゆうでんかい」第98、99、100号発刊
- ・「卒研室対抗ソフトボール大会」を第30回記念大会として9月に開催

▶2007年度(平成19年度)

- ・友電会総会を高宮キャンパス(総会)と新築の寝屋川キャンパス新学生ホール(懇親会)で開催(6月23日)、懇親会は学園教職員同窓会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体で共催
- ・第9代会長に羽瀨完俊氏(E01)が就任
- ・会誌「ゆうでんかい」第101、102、103号発刊
- ・「卒研室対抗ソフトボール大会」が第31回目を迎へ9月に開催
- ・「海外教育研修団」第28次を8月にカナダUBCに派遣

▶2008年度(平成20年度)

- ・友電会総会を寝屋川キャンパスC号館で総会、新学生ホールで懇親会を開催(6月21日)、懇親会は学園教職員同窓会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体で共催
- ・会誌「ゆうでんかい」第104、105、106号発刊
- ・「卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催。第32回目
- ・「海外教育研修団」第29次を2月にカナダUBCに派遣
- ・母校・寝屋川キャンパスの新学舎「ニューエデュケーションセンター」完成。記念に友電会からハイブリット時計塔「風かもめ」を寄贈

▶2009年度(平成21年度)

- ・友電会総会を、寝屋川キャンパスJ号館4階で総会、J号館1階食堂で懇親会を開催(6月27日)、懇親会は学園教職員同窓会「緑樹会」、「校友会」(短期大学部同窓会)、「クラブ同窓会」、「友電会」の4団体で共催
- ・11月1日、第10代会長に猿渡 洋(F02)氏が就任。前会長は体調不良のため退任
- ・会誌「ゆうでんかい」第107、108、109号発刊
- ・「卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催。第33回目
- ・「海外教育研修団」第30次を2月にカナダUBCに派遣

▶2010年度(平成22年度)

- ・友電会総会を寝屋川キャンパスJ号館3階で総会、J号館1階食堂で懇親会を開催(6月26日)、総会の合同懇親会(クラブ同窓会、緑樹会と共催)で元学長・南 茂夫先生の春の叙勲祝賀会を開催
- ・「卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催。第34回目
- ・「海外教育研修団」第31次を2月にカナダUBCに派遣
- ・会誌110号を5月に、111号を3月に発刊

▶2011年度(平成23年度)

- ・母校・寝屋川駅前に4月、7階建ての駅前学舎竣工
- ・環境科学科開設
- ・友電会総会を緑樹会、クラブ同窓会の3同窓会合同として寝屋川駅前キャンパスで開催(6月25日)、友電会より竣工記念品を贈呈、震災の地・岩手から菅 和夫氏を招待
- ・母校・26名の学生ボランティア隊が岩手宮古市への支援作業に向かう、宮古工業高校などを訪問
- ・友電会主催「第35回卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催。
- ・学園創立70周年記念祝賀会を10月1日創立記念日に阪急インターナショナルで開催
- ・「海外教育研修団」第32次を2月にカナダUBCに派遣
- ・会誌112号を5月、113号を10月、114号を3月に発刊

▶2012年度(平成24年度)

- ・友電会総会を大阪駅前のホテルグランヴィアで開催し、懇親会は緑樹会、高校同窓会、クラブ同窓会の4つの合同として開催(6月23日)、津波の語り部として岩手県立宮古工業高校の生徒を招待し、高校生による講演会を開く、大阪電通高校と交流
- ・「卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催。第34回目
- ・就職支援として産学連携を目指して「企業家同友会」を6月に発足
- ・「海外教育研修団」第31次を2月にカナダUBCに派遣
- ・会誌115号を5月、116号を10月、117号を3月に発刊

▶2013年度(平成25年度)

- ・友電会総会を寝屋川キャンパスJ号館3階で総会、J号館1階食堂で懇親会を緑樹会、クラブ同窓会の合同で開催(6月22日)、母校・金融経済学部中井正彦教授による記念講演会
- ・4月、母校入口支援として、中学・高校OB教員による教育部会を発足
- ・「海外教育研修団」第33次を2月にカナダUBCに派遣
- ・会誌118号を5月に、119号を3月に発刊



トピックス PIX

高校教員交流会並びに大学教育等に関する意見交換会

平成26年3月29日(土) 於 駅前キャンパス

高等学校で教鞭をとっている母校・大阪電気通信大学のOB・OGの先生方を招いて、先生同士の交流や大学教職員との意見交換を行う「高校教員交流会並びに大学教育等に関する意見交換会」が3月29日、駅前キャンパスで開催されました。

大学初めての試みで、この日は20人を超えるOB・OGが参加しました。まず駅前キャンパス1階101教室で、松浦秀治工学部長が「OB教員がホームカミングデーのような形で毎年集まっていたきたい」と挨拶し、「大阪電気通信大学が目指す実学教育について」をテーマに講演しました。

次いで駅前キャンパスを皮切りに寝屋川、四條畷両キャンパスに移動して、教育環境と設備が充実・変貌した母校を見学してまわりました。

見学会のあと、寝屋川キャンパスZ号館3階で、橘 邦英学長をはじめ教職員も出席して交流・意見交換会が催されました。

橘学長に続いて、OBを代表して滋賀県立彦根工業高校元校長の廣谷 明氏が「このような交流会を持って深く感謝します。年度末の忙しい中を、これだけたくさんの方々が集まれた、この力を心強く思います。子どもたちが学んでよかった、この大学に入ってよかった、卒業してよかった、そういう大学にした



松浦秀治工学部長が講演



交流会で滋賀県立彦根工業高校元校長・廣谷 明氏が挨拶



Y学科



3Dセンター



自由工房

い、しいては日本の国の経済を支える人材を育て上げるため、連携をより強くしていきたい。最先端の設備を見させていただきましたが、大いに大学を活用させていただき、よりコミュニケーションを深めましょう。離れていても、こよなく大学を愛しながら、今日の集いをこれからの一歩として、いろんな意見を交換しながら、皆さんの知恵や力を、ここで出し合っただけだったらと思います」と挨拶しました。

母校卒業生、東証一部上場企業の社長に就任 ～平成25年度の2人に続き最近では3人目～



母校・大阪電気通信大学工学部応用電子工学科（北濱研）を昭和63年（1988年）3月に卒業した古塚孝志氏（49歳、K10期）が、東証一部上場企業・（株）ロック・フィールドの社長に就任されます。就任予定日は平成26年7月29日。昨年のサンワコムシスエンジニアリング（株）・山崎博文氏（F10期）と（株）カナデン・宮森 学氏（I09期生）に続き、最近では東証一部上場会社社長としては3人目となります。

（株）ロック・フィールドの資本金は55億4千4百万円。事業内容は総菜の製造販売で「神戸コロッケ」で有名です。

【略歴】1988年入社。2007年執行役員・静岡ファクトリーマネージャー。10年執行役員 生産本部長。13年7月から常務取締役生産本部長。兵庫県西宮市出身。

学位授与式

電通大生の誇りを胸に1,146人が巣立つ
父母や友達、後輩らと喜びを分かち合う

平成26年3月22日(土) 於 四條畷キャンパス・コナミホール

母校・大阪電気通信大学の2013年度学位授与式が3月22日(土)、四條畷キャンパスのコナミホールで行われ、5学部、大学院合わせて1,146人が思い出のキャンパスを巣立っている。

～食の安心・安全を支える～

「食品中の放射性セシウム測定装置」
FD-08Cs100 シリーズ

「蛍光X線を用いた食品中の重金属測定装置」
FD-03,FD-08Cd

の開発を通して社会に貢献しています



テクノエックスはJSTの開発委託を受け大阪電気通信大学と共同で「複雑形状食品の放射能検査装置」の開発しています

Techno 株式会社 テクノ エックス



橘学長から学位の授与

きました。大学院博士後期課程の6人に博士学位が授与されました。

式は、午前10時、工学部・医療福祉工学部から始まり、

次いで情報通信工学部・総合情報学部・金融経済学部、午後の大学院の3回に分けて行われました。まず橘 邦英学長から各学科の代表に学位が授与され、橘学長の告辞、福田國彌理事長の祝辞のあと、学業優秀賞の受賞者39人が表彰されました。

学部の式の合間には、この日卒業した留学生14人が来日した家族とともに福田理事長、橘学長らに感謝の言葉を述べました。

【卒業生数】

工学部	382名	情報通信工学部	204名
医療福祉工学部	151名	総合情報学部	275名
金融経済学部	30名	大学院修士課程	98名
大学院博士課程	6名		

入学式

満開の桜が新入生1,500人を歓迎

平成26年4月4日(金) 於 四條畷キャンパス・コナミホール



コナミホールでの入学式

2014年度の大阪電気通信大学大学院・大学の入学式が4月4日(金)、四條畷キャンパスのコナミホールで行われ、

満開の桜が約1,500人の新入生を迎えました。

式は午前10時から情報通信工学部・医療福祉工学部、工学部、金融経済学部、総合情報学部、大学院の4回に分けて行われました。橘 邦英学長が告辞、福田國彌理事長が祝辞を述べ、各学部の新入生代表が橘学長に宣誓しました。

【入学者数】

工学部	480名	情報通信工学部	267名
医療福祉工学部	200名	総合情報学部	349名
金融経済学部	101名	大学院修士課程	72名



入学した留学生たち

今年度の学術交流協定による留学生は中国・北京科技大学から21人、韓国・湖西大学校1人、

アムステルダム応用科学大学2人の合わせて24人で、金融経済学部資産運用学科、総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科、デジタルゲーム学科に入学しました。

また、入学式に先立つ4月3日、四條畷キャンパスのKOZUKIホールで留学生歓迎会が開催されました。

福田國彌理事長、橘 邦英学長らが歓迎の挨拶を述べ、

留学生を代表して北京科技大学の張婧瑶さんが日本語で「これから過ごす日々の中で自分の国とは違った新たな経験をして、得られるものがあると思います。厳しく、時には温かくご指導くださいますよう、よろしく申し上げます。これから私たちは必死に勉強します」と挨拶しました。



挨拶する張さん

6人に博士学位

大学院博士課程を修了した6人に、博士学位記が授与されました。

【博士(工学)】

藤田良平、西 恵理、
中江徳彦、小西有人

【博士(情報学)】

森石峰一、織田弘樹



後列左から藤田、西、中江、小西、森石、織田(敬称略)

代表取締役社長/CEO

山崎 貞彦

E-mail : yamazaki@jams.co.jp
プロフェッショナルCFO(日本CFO協会会員)
FP2級中小企業事業主(日本FP協会)

通信・制御・画像分析技術とマイニングサービスで社会に貢献する
日本マイクロシステムズ株式会社

本社管理部門/ICTS事業部/KCS事業部/FS事業部
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目1番14号 高麗橋山本ビル2F
Phone : 06-6227-4002 Fax : 06-6227-1960

システム開発センター/IV事業部
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目1番14号 高麗橋山本ビル3F
Phone : 06-6227-4003 Fax : 06-6227-1960

名古屋営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目2番32号 錦アクシスビル7F
Phone & Fax : 052-973-2110



適用部門:システム開発センター

学生さん! 企業訪問等で来京の折は事前に御遠慮なく
コンタクトしてください!
サポート & サービスをさせていただきます。

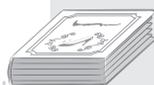
大阪電気通信大学 法人評議員会

常任議長 **観野 福太郎**

〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-9-701
TEL : 03-5770-5105 FAX : 03-5770-5106
携帯 : 090-7003-6126 Mail : kanno.ibk@gmail.com

お知らせ

母校への本返し



OECU古本募金



母校・大阪電気通信大学は、このほど「古本募金」を始めました。不要となった書籍等の寄付を呼びかけています。

「OECU古本募金」は、卒業生・在学生・保護者・教職員・一般の方々から書籍を募集。その買い取り金額を教育・研究に必要な書籍の購入費に充当する取り組み。書籍の他に見終えたDVDやCDも含まれています。

送付方法は、段ボール箱に書籍等を詰め、電話またはWEBで申込み送付。書籍等が5点以上であれば送料は不要。

● 申込問合せは下記まで

学校法人 大阪電気通信大学
法人事務局総務部総務課 募金係
電話 072-824-1131
<http://www.osakac.ac.jp/>

OECU古本募金

母校への本返し

募集開始のお知らせ

この度、学校法人大阪電気通信大学では、教職員・在学生・卒業生や一般の方々よりご提供いただいた本籍（DVD・CD含む、雑誌除く）の売却代金を学校法人大阪電気通信大学の教育研究に供する「OECU古本募金」の募集をはじめました。古本を利用した社会につきましては、2010年に東京大学が始めたもので、本学は関西で6校目の導入となります。引越等不要になった本あるいは読まなくなった本等がございましたら、当活動の利用をご検討いただきたくお願い申し上げます。

ご自宅では段ボール箱に書籍を詰め、電話またはWEBで申し込みをするだけで、お気軽に寄附していただけます。（本籍が5点以上であれば、送料もかかりません。）

お申込みは WEB からでもできます。

学校法人大阪電気通信大学
法人事務局総務部総務課 募金係
TEL 072-824-1131 URL:<http://www.osakac.ac.jp/>



卒業生のみなさま、お帰りなさい。

平成26年度 大阪電気通信大学ホームカミングデー開催のご案内

学生時代の思い出がたくさん詰まっている寝屋川キャンパスにて、卒業生のみなさまをお迎えする「大阪電気通信大学ホームカミングデー」を、今年も開催します！

ホームカミングデーとは、卒業生のみなさまと本学の絆を深め、卒業生同士や在学生と親睦を深めることを目的としたイベントです。

カミングデー当日は大学祭期間中（11月1日（土）～11月3日（月・祝））で、昔懐かしい「屋台」が軒を連ね、みなさまのお帰りをお待ちしております。ご参加を心よりお待ちしております。

<開催日> 平成26年11月1日（土）

<場 所> 大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス

※詳細につきましては、決まり次第、本学HP等でお知らせします。



お問合せ

大阪電気通信大学
大学事務局庶務課

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号

TEL：072-824-1131（代表）

FAX：072-824-0014

HP：<http://www.osakac.ac.jp/>

E-mail：shomu@isc.osakac.ac.jp



代表取締役

辻 弥 寿 彦

株式会社 アドバン理研

〒614-8128 京都府八幡市下奈良野神40番地の1

TEL(075)972-3838 FAX(075)983-4400

E-mail: tsuji@adriken.co.jp

URL: <http://www.adriken.co.jp/>

携帯: 090-2598-7955



株式会社 ニューリー・土山

代表取締役社長

野 口 光 裕

●E-mail/noguchi@newly-t.com

〒528-0211 滋賀県甲賀市土山町北土山979番地

TEL.0748-66-1681(代) FAX.0748-66-0915

URL.<http://www.newly-t.com/>

2013
年度

退職者送別会

平成26年3月6日(木)
於：ホテルニューオータニ大阪

2013年度の母校・大阪電気通信大学の退職者送別会が3月6日、大阪市中央区のホテルニューオータニ大阪で開催されました。送別会には退職者15人のうち11人が出席し、福田國彌理事長、橘 邦英学長や教職員をはじめ、友電会、後援会、緑樹会など来賓も含めて約200人が退職者の前途を祝いました。

送別会は、午後6時に開会。世話人を代表して草本康司郎・英語教育センター教授の挨拶で始まり、デジタルアート・アニメーション学科・倉地宏幸准教授と広報部広報課・山崎裕加さんによる司会で進められました。

来賓の橘 邦英学長と福田國彌理事長が「長い間のおつとめおつかれさまでした。これからもご支援をいただきますよう、よろしく願います」と挨拶しました。

退職者を代表して木村一郎教授が挨拶に立ち、「皆さまのおかげで21年間楽しく仕事をして過ごすことが出来ました。ますますのご発展をお祈りするとともに、皆さまのご健康、ご多幸、ご活躍をお祈りします」と、思い出と今後の計画を語りました。



上善恒雄総合情報学部長による乾杯の発声で宴に入り、歓談の輪が広がりました。最後に花束と記念品の贈呈、記念撮影、大学歌斉唱が行われ、8時過ぎ盛大な拍手の中、主賓の退職者が退場して閉会しました。

■ 退職者名簿 (順不同、敬称略)

<出席者> 木村 一郎 (電子機械工学科)
越川 孝 範 (電気電子工学科)
宮尾 正 夫 (英語教育センター)
小田 康 徳 (人間科学教育センター)
千原 國 宏 (医療福祉工学科)
三宅 安 江 (図書館事務室)
神保 行 男 (実験サポート課)
東浦 准 治 (メカトロニクス基礎研究所事務室)
池之上 昇 (実験サポート課)
湯原 廣 (実験サポート課)
海野 隆 史 (四條畷就職課)

<欠席者> 吉松屋 四郎 (数理科学センター)
梅田 三千雄 (情報工学科)
山崎 純 一 (英語教育センター)
住吉 絵里香 (寝屋川就職課)



IT 機器・通信機器の販売・サービス&サポート保守
システム機器・オフィス機器の販売

営業職・技術職 社員募集中

キヤノンの複合機をメインにOA機器等の導入やネットワーク構築などオフィスの効率化の提案。コスト削減に繋がる提案。
お客様のさまざまなニーズに合わせこれからのオフィス環境を提案。
貴大学出身者が現在12名在職しております。

- 特徴とは
1. メーカーにとられない独立系の専門商社！
 2. 営業・技術・メーカーとの連携の強さ！
 3. 学歴・年齢・男女関係なく、実力を最大限評価！
 4. 研修制度(社内、社外研修)の充実！



株式会社 **イナハラ**

昭和46年度卒業生
監査役 稲原廣法

〒651-0086 神戸市中央区磯上通4-1-26 TEL. 078-231-4088
URL: http://www.inahara.co.jp 採用問い合わせ ▶ 総務部 前田

相生学院高等学校
夢の実現と勉学が両立できる通信制高校。
プロスポーツ選手・有名大学進学者多数！

情報技術学院
即戦力となる SE・プログラマーを養成する学校を運営。

スマートフォンアプリ開発
大人も子供も喜ぶゲームアプリの企画開発を行います。



ソフトウェア開発
システム開発の提案・設計からサポートまで。

アウトソーシング
大手企業との提携によるソフト開発のアウトソーシングを行います。

オークション代行販売
あなたに代わりオークション販売代行をします。

FCS 富士コンピュータ株式会社

相生学院高等学校 UDJT 情報技術学院
東京・大阪・神戸・明石・加古川・姫路・相生

兵庫県加古川市加古川町稲屋790-1

http://www.fujicomp.co.jp 079-427-1111



平成26年度 大阪電気通信大学

友電会 通常総会 合同懇親会開催

平成26年6月21日(土) 11:40~

於 寝屋川キャンパス エデュケーションセンター(J号館)



Neyagawa
Campus

エデュケーションセンター

平成26年度 友電会通常総会

【開催概要】

テーマ 「飛翔」 ~50年の歩み更なる飛躍へ~

▶日 時：平成26年6月21日(土) 10:00~15:30

受付開始 11:00~ 友電会総会 11:40~

▶会 場：寝屋川キャンパス エデュケーションセンターJ号館

▶合同懇親会：緑樹会、クラブ同窓会、友電会3団体共催

▶会 費：3,000円 (同伴者、学生、名誉教授、大学教職員は無料)

* 記念講演会



《 講演者 》

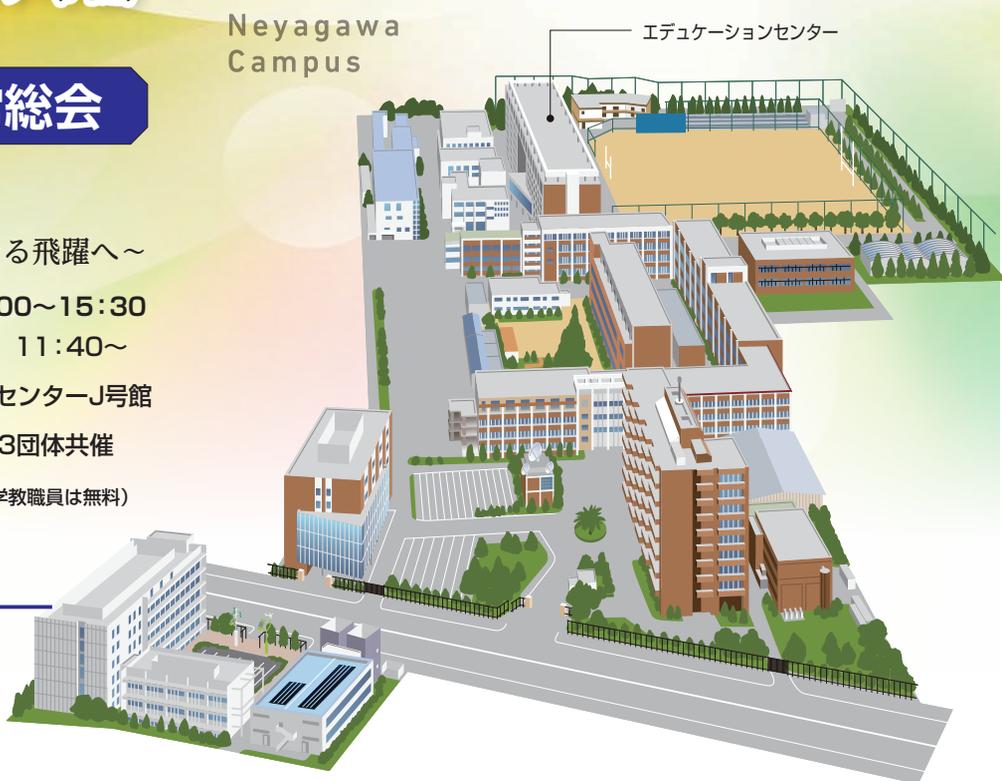
宮本 公明 氏 (F03)

元友電会第3代会長
米国でマネージメントコンサルタント
として活躍中。

会 場：寝屋川キャンパスJ号館 305号室
12:30~13:20

テーマ：「米国のビジネス界から見た日本の課題」 ※仮題

《 概要 》 「アベノミクス」効果で回復の兆しをみせる日本経済。
CMC(サーティファイドマネージメントコンサルタント)の
視点で、その動向を語ってまいります。(経歴は10頁参照)



◆ 出欠連絡と委任状送付のお願い

総会への出欠をお知らせ下さい。欠席される場合は、同封の委任状に
必要事項をご記入の上、返信をお願いします。

郵送での返信は6月17日(火)までに投函して下さい。FAX・メールの
返信は6月20日(金)まで。ただし、メールによる出欠委任状の返信は友電
会ホームページからのみ有効です。

友 電 会 <http://www.yudenkai.org/>

お知らせ 友電会平成26年度通常総会議事録は、総会終了後、すみやかに友電会ホームページで報告致しますので、ご覧下さい。

友電会50周年記念事業「同窓ビジネス大交流会」開催案内

「同窓人脈の発掘のために」「新ビジネス展開のために」「電通大OBの底力発信のために」を目的として開催します。出展企業・個人事業主様を募集します。奮って出展願います。また、企業でご活躍の同窓はビジネスチャンスの場としてご活用下さい。

● 日時：平成26年6月21日(土) 13:30~15:30

● 場所：大阪電気通信大学J号館1階

● 主催：大阪電気通信大学友電会企業家同友会

● 後援：大阪電気通信大学・大阪電気通信大学友電会

■ 募集概要

- ・友電会懇親会と同時開催です
- ・時間は、総会セレモニー終了と同時に出展ブースの活動を開始、合同懇親会終了まで
- ・出展ブースは1社90cm四方程度の机と企業名シートを準備しますので、企業パンフレットや小型出展物の陳列が可能です
- ・出展費用1,000円
- ・出展申込は、①企業名、②申込者氏名、③連絡先(住所、電話、メールアドレス)をご記入の上、ファックスで友電会事務局へ
- ・締切は平成26年6月19日(木)



申込問合せ先

友電会事務局 電話：072-824-3111 FAX：072-824-1197 Eメール：yudenkai@yudenkai.org